

ANNUAL REPORT 2015-2016, UGSAS, TOTTORI UNIV.

年 報

平成 27 年度



TOTTORI
UNIV.



SHIMANE
UNIV.



YAMAGUCHI
UNIV.

平成 28 年 9 月

鳥取大学大学院連合農学研究科

目 次

第1部 教育活動

第1章 学生定員と受入状況

1 学生の在籍状況（全体）	1
2 外国人留学生在籍状況	1
3 社会人学生在籍状況	1
4 学生名簿	2

第2章 学生の研究活動（公表論文等）

1 生物生産科学専攻	5
2 生物環境科学専攻	16
3 生物資源科学専攻	23
4 国際乾燥地科学専攻	31

第3章 学位授与者

1 入学者に対する在学3年間での学位授与者数及び学位取得率	36
2 課程修了者	37
3 論文提出者	38

第4章 就職状況（学位取得者の就職先）

1 課程修了者	39
2 論文提出者	39

第5章 共通セミナー（日程表）

1 平成27（2015）年度前期連合一般ゼミナール日程表	40
2 平成27（2015）年度後期連合一般ゼミナール（英語）日程表	41
3 平成27年度各専攻特論開講表	42
4 平成27年度「科学コミュニケーション」日程表	43

第2部 教員の研究活動

第1章 公表論文

1 生物生産科学専攻	45
2 生物環境科学専攻	52
3 生物資源科学専攻	60
4 国際乾燥地科学専攻	68

第2章 招待講演	
1 生物生産科学専攻	77
2 生物環境科学専攻	79
3 生物資源科学専攻	80
4 国際乾燥地科学専攻	82
第3章 学術賞等の受賞	84
第4章 研究助成	86
第5章 その他の教育研究活動	95
第3部 組織・運営	
第1章 主指導教員の教育研究分野一覧	103
第2章 委員会	
1 研究科委員会（委員及び審議事項等）	105
2 代議委員会（委員及び審議事項等）	107
第3章 平成27年度連合農学研究科教員	
1 有資格教員（教授・准教授・講師・助教）一覧	111
2 担当教員を補助する教員（助教）一覧	112
第4章 その他	
1 組織	113
2 予算規模	114
3 行事	115
第4部 在学生へのアンケート	117
第5部 国際学会・国際研究集会 発表学生援助 報告集	129
「学生及び教員の研究活動」の掲載基準	141

第1部 教育活動

第1部 教育活動

第1章 学生定員と受入状況

1 学生の在籍状況（全体）

専攻	連合講座	鳥取大学	島根大学	山口大学	合計
生物生産科学	農業生産学	3	8	9	20
	森林資源学	7	3	0	10
	経済・経営学	7	0	0	7
生物環境科学	生産環境工学	1	2	0	3
	環境科学	7	9	0	16
	国際乾燥地農学	0	0	0	0
生物資源科学	生物機能科学	5	10	3	18
	資源利用化学	2	2	2	6
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	17	5	0	22
合計		49	39	14	102

(注) ※102名には、27年9月修了者8名及び27年10月入学者12名を含む。
 ※生物機能科学には、名称変更前の資源生物科学の学生数も含む。

2 外国人留学生在籍状況

専攻	生物生産科学			生物環境科学			生物資源科学			国際乾燥地科学			合計									
	農業生産学	森林資源学	経済・経営学	生産環境工学	環境科学	国際乾燥地農学	生物機能科学	資源利用化学	国際乾燥地科学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	計						
中国	1	1	1	1	3		1	1	1	3		10	3	1	14							
バングラデシュ		1					3	2				0	4	2	6							
タイ			1	2		1						4	0	0	4							
インドネシア		1	2								2	2	2	1	5							
エジプト		1						1			1	1	1	1	3							
スーダン							1				1	2	0	0	2							
韓国											1	0	1	0	1							
マレーシア						1						0	1	0	1							
ヴェトナム			1				1				1	2	1	0	3							
エチオピア				1							3	4	0	0	4							
ネパール							1					0	1	0	1							
ケニア											1	0	1	0	1							
ナイジェリア											1	1	0	0	1							
ボツワナ											1	1	0	0	1							
ギニア				1								1	0	0	1							
キューバ											1	0	1	0	1							
ラオス				1								1	0	0	1							
小計	1	2	2	5	0	6	0	1	0	4	3	0	0	0	1	5	0	29	16	5	50	
計		5	5	6		1	7		0	8	2		16									
合計				16			8			10		16										

3 社会人学生在籍状況

構成大学	生物生産科学			生物環境科学			生物資源科学			国際乾燥地科学			合計			
	農業生産学	森林資源学	経済・経営学	生産環境工学	環境科学	国際乾燥地農学	生物機能科学	資源利用化学	国際乾燥地科学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	計
鳥取大学	0	2	0	1	1	0	1	0	2							7
島根大学	4	1	0	0	5	0	1	1	0							12
山口大学	5	0	0	0	0	0	0	0	0							5
合計	9	3	0	1	6	0	2	1	2							24

※生物機能科学には、名称変更前の資源生物科学の学生数も含む。

4 学生名簿

連 合 講 座	入 学 年 度	氏 名	配属大学	主 指 導 教 員 名	備 考
農業生産学	2 1	田中 颯子	鳥取大学	福田 善通	
	2 2	馬 杰	島根大学	松本 真悟	私費留学生
	2 3後	橘田 浩二	山口大学	山内 直樹	社会人学生
	2 4	☆ 平田 翔	山口大学	執行 正義	
	2 4後	大畑 和也	島根大学	板村 裕之	社会人学生
	2 4後	若生 忠幸	山口大学	執行 正義	社会人学生
	2 4後	★ MD. FUAD MONDAL	島根大学	浅尾 俊樹	国費留学生
	2 4後	★ MOSTAFA ABDELWAHED NOURELDEIN ABDELRAHMAN	山口大学	執行 正義	国費留学生
	2 5	小林 夏樹	山口大学	山本 晴彦	社会人学生
	2 5	☆ 鎌田英一郎	山口大学	高橋 肇	
	2 5後	池尻 明彦	山口大学	高橋 肇	社会人学生
	2 5後	渡邊美貴子	山口大学	高橋 肇	社会人学生
	2 6	JIANG MINGFENG	鳥取大学	田村 文男	私費留学生
	2 6	藤井 美希	鳥取大学	板井 章浩	
	2 6	梅野 康行	島根大学	松本 敏一	社会人学生
	2 6	末廣 優加	島根大学	板村 裕之	
	2 6後	NUR AENI ARIYANTI	山口大学	執行 正義	国費留学生
	2 7	栴川 貴紀	島根大学	小林 伸雄	
	2 7後	加古 哲也	島根大学	小林 伸雄	
	2 7後	金森 健一	島根大学	浅尾 俊樹	
森林資源学	2 2	千布 拓生	鳥取大学	日置 佳之	社会人学生
	2 3	小菅 良豪	島根大学	伊藤 勝久	社会人学生
	2 3	★ 都 日 娜	鳥取大学	長澤 良太	私費留学生
	2 5	橋本 沙優	島根大学	小池浩一郎	
	2 5	大津 裕貴	島根大学	小池浩一郎	
	2 6	桐林 真人	鳥取大学	山本 福壽	社会人学生
	2 6後	NGUYEN QUANG VIET	鳥取大学	長澤 良太	国費留学生
	2 6後	LISSA FAJRI YAYUSMAN	鳥取大学	長澤 良太	国費留学生
	2 7	BURAPAPOL KANSUMA	鳥取大学	長澤 良太	私費留学生
	2 7	DANDY ADITYA NOVRESIANDI	鳥取大学	長澤 良太	国費留学生
経済・経営学	2 2	DUANGKAMON SUWANNARIT	鳥取大学	小林 一	私費留学生
	2 2	★ 田立 紀子	鳥取大学	能美 誠	
	2 5	☆ TOLNO EMMANUEL	鳥取大学	小林 一	国費留学生
	2 5	☆ YOHANNES MICHAEL FESSEHA	鳥取大学	松田 敏信	国費留学生
	2 5後	SILIPHOUTHONE INPONG	鳥取大学	古塚 秀夫	国費留学生
	2 5後	UTARANAKORN PANATDA	鳥取大学	小林 一	国費留学生
	2 7	LI MINGYUAN	島根大学	松田 敏信	私費留学生
生産環境工学	2 4	張 丹	島根大学	喜多威知郎	国費留学生
	2 6	松本 拓	島根大学	長束 勇	
	2 7後	藤本 光伸	鳥取大学	緒方 英彦	社会人学生

連 合 講 座	入 学 年 度	氏 名	配属大学	主 指 導 教 員 名	備 考
環境科学	2 1	安藤 洋子	鳥取大学	前川二太郎	
	2 1	木戸健一朗	島根大学	佐藤 利夫	社会人学生
	2 3	鴛海 智佳	島根大学	國井 秀伸	社会人学生
	2 4	RADHA DEVKOTA ADHIKARI	島根大学	宮永 龍一	国費留学生
	2 4	細澤 豪志	島根大学	國井 秀伸	社会人学生
	2 4後	森 明寛	島根大学	國井 秀伸	社会人学生
	2 4後	★ YI RUI QIN	鳥取大学	中島 廣光	国費留学生
	2 5	☆ SUTTHIKHAMPASURASIT	鳥取大学	會見 忠則	国費留学生
	2 5	仲野 翔太	鳥取大学	霜村 典宏	
	2 5後	田中 計実	鳥取大学	石原 亨	社会人学生
	2 5後	ZHU GANG	鳥取大学	會見 忠則	私費留学生
	2 6	GAO QI	鳥取大学	霜村 典宏	私費留学生
	2 6	NGUYEN THI QUYET	島根大学	井藤 和人	国費留学生
	2 6	前野 真一	島根大学	佐藤 利夫	
	2 6後	NUR AMELIA BINTI ABAS	島根大学	國井 秀伸	私費留学生
	2 7後	辻谷 睦巳	島根大学	宮永 龍一	社会人学生
	資源生物科学	1 9後	北 実	鳥取大学	有馬 二郎
生物機能科学	2 3後	森山 大輔	島根大学	川向 誠	社会人学生
	2 3後	MOHAMMAD SHAHIDUR RAHMAN	島根大学	石川 孝博	私費留学生
	2 4	★ 丸山麻理弥	鳥取大学	東 政明	
	2 4	布施 利紀	島根大学	尾添 嘉久	
	2 4後	★ 玉木 峻	島根大学	石川 孝博	
	2 4後	松野 景	島根大学	松崎 貴	
	2 5	磯田 佳孝	鳥取大学	有馬 二郎	
	2 5後	☆ LIU GENYAN	島根大学	尾添 嘉久	国費留学生
	2 5後	BISWAS MD. SANAUULLAH	山口大学	真野 純一	国費留学生
	2 6	西野 耕平	島根大学	川向 誠	
	2 6	佐々木 邦	山口大学	小林 淳	
	2 6	FARIHA JASIN MANSUR	山口大学	阿座上弘行	国費留学生
	2 6後	MOSTAFA AHMED ABOULELA MOHAMED	島根大学	中川 強	国費留学生
	2 7後	東海 彰太	鳥取大学	有馬 二郎	
	2 7後	YASMEEN YOUSIF AHMED ELYAS	鳥取大学	有馬 二郎	国費留学生
	2 7後	TAHERUZZAMAN KAZI	島根大学	松崎 貴	私費留学生
	2 7後	SULTANA MST MOMTAZ	島根大学	中川 強	国費留学生
資源利用化学	2 4	☆ 竹澤 圭太	島根大学	山本 達之	
	2 5	岸本 勝也	鳥取大学	河野 強	
	2 5	☆ 藤 飛	鳥取大学	渡邊 文雄	私費留学生
	2 6	田崎 英祐	山口大学	井内 良仁	
	2 6	LU SHI JIAN	山口大学	赤壁 善彦	私費留学生
2 7	中井 翔太	島根大学	横田 一成		

連 合 講 座	入 学 年 度	氏 名	配属大学	主 指 導 教 員 名	備 考
国際乾燥地科学	2 3	★ LI RUI	鳥取大学	恒川 篤史	私費留学生
	2 5	加藤 敦司	鳥取大学	辻本 壽	
	2 5	飯田 拓生	鳥取大学	山本 定博	
	2 5	☆ 金 多慧	島根大学	一戸 俊義	私費留学生
	2 5	MARQUES FONG JUAN DAMIAN	島根大学	増永 二之	国費留学生
	2 6	今井 駿輔	鳥取大学	恒川 篤史	
	2 6	QIAN TANA	鳥取大学	恒川 篤史	私費留学生
	2 6	ADHA FATMAH SIREGAR	島根大学	増永 二之	国費留学生
	2 6	LINCA ANGGRIA	島根大学	増永 二之	私費留学生
	2 6 後	小林 伸行	鳥取大学	恒川 篤史	社会人学生
	2 6 後	AWAD AHMED ELAWAD ELBASHIR	鳥取大学	辻本 壽	国費留学生
	2 6 後	GEBRESILASIE ZERIHUN NIGUSSIE	鳥取大学	恒川 篤史	国費留学生
	2 7	ALEMU DAGNETET SULTAN	鳥取大学	恒川 篤史	国費留学生
	2 7	沖田総一郎	鳥取大学	山中 典和	
	2 7	NGUYEN THI THU TRANG	鳥取大学	山本 定博	私費留学生
	2 7	金剛 穂波	鳥取大学	山本 定博	
	2 7	LIU JIAQI	鳥取大学	木村 玲二	私費留学生
	2 7	KUNDU CAROLINE AGAMALA	島根大学	増永 二之	国費留学生
	2 7 後	HASSAN MOHAMED FAHMY ABDEL BAKI	鳥取大学	藤巻 晴行	国費留学生
	2 7 後	FENTA AYELE ALMAW	鳥取大学	安田 裕	国費留学生
2 7 後	MALAMBANE GOITSEONE	鳥取大学	明石 欣也	国費留学生	
2 7 後	EDET, OFFIONG UKPONG	鳥取大学	辻本 壽	私費留学生	

- (注) 1. 「入学年度」欄の「後」は、後期（10月）入学者を示す。
2. 「氏名」欄の「★」は平成27年度9月修了者、「☆」は平成28年3月修了者を示す。

第2章 学生の研究活動（公表論文等）

1 生物生産科学専攻

1) 農業生産学連合講座

【鳥取大学】

田中 顕子 (Tanaka, Akiko) 平成21年度入学（主指導教員：福田 善通）

JIANG MINGFENG 平成26年度入学（主指導教員：田村 文男）

学会発表

国内学会

- 1) 竹内ゆかり・竹村圭弘・志田曜司・荒木駿吾・黒木克翁・蔣明鳳・田村文男：次世代シーケンサーを用いたトランスクリプトーム解析によるナシの芽の自発休眠打破機構の解明（口頭）．園芸学会平成27年度秋季大会（徳島市）（2015年9月）
- 2) 荒木駿吾・竹村圭弘・志田曜司・竹内ゆかり・黒木克翁・蔣明鳳・田村文男：ニホンナシ系統TH3とタイワンナシ横山とのF₁およびF₂系統群における自発休眠導入特性（第2報）（口頭）．園芸学会平成27年度秋季大会（徳島市）（2015年9月）

藤井美希 (Fujii, Miki) 平成26年度入学（主指導教員：板井 章浩／児玉基一郎）

学会発表

国際学会

- 1) Fujii, M.*, Habu, T., Murayama, H., Kodama, M. and Itai, A.: DNA methylation analysis of the promoter region of ACC synthase (PpACS1) in pear fruit. The 10th International Conference on the Plant Hormone Ethylene 2015 (Poster). Chongqing, China (Nov., 2015)

国内学会

- 1) 藤井美希*・羽生剛・村山秀樹・板井章浩：セイヨウナシACC合成酵素遺伝子 (*PcACS1*) の低温誘導性メカニズムの解析（ポスター）．園芸学会平成27年度秋季大会（徳島市）（2015年9月）

【島根大学】

馬 杰 (Ma, Jie) 平成22年度入学（主指導教員：松本 真悟）

大畑 和也 (Ohata, Kazuya) 平成24年度10月入学（主指導教員：板村 裕之）

公表論文

その他

- 1) 江角智也・渡辺諄・小杉友華菜・大畑和也・板村裕之：カキ‘西条’における雄花の発見．島根大学生物資源科学部研究報告，**20**: 3-8, (2015年9月)

学会発表

国内学会

- 1) 江角智也*・小杉友華菜・渡辺諄・大畑和也・板村裕之：カキ‘西条’における雄花の発見と花粉の能力（口頭）．園芸学会中四国支部平成27年度大会（鳥取県米子市）（2015年7月）
- 2) 大畑和也*・山根一佳・安田雄治・板村裕之：カキ‘太天’に適したドライアイス脱渋条件の検討（口頭）．園芸学会平成27年度秋季大会（徳島県徳島市）（2015年9月）
- 3) 大畑和也*・黒木克翁・安田雄治・田村文男：カキ‘西条’の発芽不良発生樹に対する優良系統高接ぎ更新の実用性（口頭）．園芸学会平成28年度春季大会（神奈川県厚木市）（2016年3月）

その他（特筆すべき事項）

- 1) カキわい性台木系統 No.11 を利用した‘西条’の生育と台木特性：平成27年度島根県農業技術センター成果発表会（島根県出雲市）（2015年7月）
- 2) カキわい性台木系統 No.11 を利用した‘西条’の生育と台木特性：島根県果樹技術者研究会第93回大会（島根県出雲市）（2015年9月）
- 3) カキ‘太天’に適したドライアイス脱渋条件の検討：平成27年度落葉果樹研究会（茨城県つくば市）（2016年2月）

MD. FUAD MONDAL 平成24年度10月入学，平成27年9月修了（主指導教員：浅尾 俊樹）

公表論文

著書

- 1) Md. Fuad Mondal, Asaduzzaman, Md. and Asao, T.: Adverse effects of allelopathy from legume crops and its possible avoidance. pp.1-7, ISSN Online: 2158-2750, American Journal of Plant Sciences (Apr., 2015)

学会誌等

- 1) Md. Fuad Mondal, Md. Asaduzzaman, Tanaka, H. and Asao, T.: Effects of amino acids on the growth and flowering of *Eustoma grandiflorum* under autotoxicity in closed hydroponic culture. *Scientia horticulturae*, **192**: 453-459 (Aug., 2015)

梶野 康行 (Togano, Yasuyuki) 平成26年度入学（主指導教員：松本 敏一）

公表論文

学会誌等

- 1) 梶野康行・小室正夫・倉橋孝夫・松本真悟・内田吉紀・松本敏一：‘デラウェア’休眠芽の発芽促進に及ぼす高温処理の効果．園芸学研究，**15**(1): 53-58（2016年1月）

その他

- 1) 倉橋孝夫・梶野康行・大畑和也・門脇稔：点滴かん水方法と水量が無加温栽培ブドウ‘デラウェア’の生育と果実品質に及ぼす影響．島根県農業技術センター研究報告，**43**: 1-12（2015年12月）
- 2) 梶野康行：ブドウの養液土耕栽培における施肥管理．果実日本，**71**: 58-62（2016年3月）

学会発表

国内学会

- 1) 梶野康行*・安田雄治・松本敏一：大粒系‘デラウェア’を利用したジベレリン1回処理における GA, CPPU 濃度および摘心程度が果実品質に及ぼす影響（口頭）．日本ブドウ・ワイン学会2015年大会（新潟県上越市）（2015年11月）

- 2) 都間三鶴*・梶野康行・安田雄治：ブドウ‘シャインマスカット’の雨よけ栽培における発芽1ヶ月後せん定が生育と果実品質に及ぼす影響(口頭). 園芸学会平成28年度春季大会(神奈川県厚木市)(2016年3月)

末廣 優加 (Suehiro, Yuka) 平成26年度入学(主指導教員:板村 裕之)

学会発表

国内学会

- 1) 板村裕之*・川口浩・香西俊哉・本多学・末廣優加・渡部忍・中務明・江角智也・山内直樹：カキ果実における褐変と生体膜の劣化およびポリフェノールオキシダーゼの関係(口頭・ポスター). 日本食品保蔵科学会第64回大会, 創立40周年記念大会(東京都世田谷区)(2015年6月)
- 2) 末廣優加*・本多学・持田圭介・都間三鶴・安田雄治・板村裕之・江角智也：アブシシン酸処理による黄緑色系ブドウ品種の褐変現象とポリフェノール類の蓄積に関する品種比較(ポスター). 園芸学会平成27年度秋季大会(徳島市)(2015年9月)
- 3) 板村裕之*・川口浩・香西俊哉・橋本尚・末廣優加・江角智也・中務明：カキ‘西条’ドライアイス脱渋果における細胞膜および細胞壁関連遺伝子の発現と軟化(口頭). 園芸学会平成27年度秋季大会(徳島市)(2015年9月)
- 4) 末廣優加*・秋廣高志・江角智也・板村裕之・小山和哉：HPLC-DADおよびUPLC-ESI-TOF/MSによる‘シャインマスカット’果皮における成分分析(ポスター). 園芸学会平成28年度春季大会(神奈川県厚木市)(2016年3月)

その他

- 1) 島根大学「学生による研究発表会&産学交流会」発表(2015年6月3日)
- 2) 科学技術人材育成のコンソーシアム構築事業次世代研究者育成プログラム「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」：長期インターンシップ派遣(2015年10月~12月)

柘川 貴紀 (Masukawa, Takanori) 平成27年度入学(主指導教員:小林 伸雄)

学会発表

国内学会

- 1) 柘川貴紀*・千慶晟・中務明・小林伸雄：根部着色を有するダイコン園芸品種におけるフラボノイド3'-水酸化酵素遺伝子(F3'H)の解析(ポスター). 園芸学会平成28年度春季大会(神奈川県厚木市)(2016年3月)

加古 哲也 (Kako, Tetsuya) 平成27年度10月入学(主指導教員:小林 伸雄)

学会発表

国内学会

- 1) 加古哲也*・山中光司・川村通・後藤丹十郎・小林伸雄：間欠冷蔵処理における低温期間の比率がミニシクラメンの生育・開花に及ぼす影響(ポスター). 園芸学会平成28年度春季大会(神奈川県厚木市)(2016年3月)

学会等招待講演等

国内学会等

- 1) ヒートポンプを夏期の冷房に活用したシクラメン鉢物生産技術. 第52回農業電化研究会(東京都江東区)(2015年11月)

金森 健一 (Kanamori, Kenichi) 平成 27 年度 10 月入学 (主指導教員: 浅尾 俊樹)

学会発表

国内学会

- 1) 金森健一*・石津文人・山崎敬亮・松崎朝浩・小川彰子: イチゴ高設栽培システムの違いが無育苗栽培法による 2 作目の生育・開花に及ぼす影響 (口頭). 平成 28 年度園芸学会春季大会 (神奈川県厚木市) (2016 年 3 月)

学会等招待講演

国内学会等

- 1) 金森健一: 省力化に有効なイチゴ無育苗栽培技術の特徴と課題. 平成 27 年度近畿マッチングフォーラム「中山間地域や都市近郊においてイチゴ栽培等で高収益生産を実現するために」(大阪府大阪市) (2015 年 11 月)

【山口大学】

橘田 浩二 (Kitsuda, Koji) 平成 23 年度 10 月入学 (主指導教員: 山内 直樹)

学会発表

国内学会

- 1) 橘田浩二*・谷本秀夫・執行正義・山内直樹: 近赤外法による水ナス果実の空洞果判別技術の開発 (口頭). 日本食品保蔵科学会創立 40 周年記念大会講演会 (東京都世田谷区) (2015 年 6 月)

その他 (特筆すべき事項)

- 1) 橘田浩二・谷本秀夫・和泉慶子: 特許出願「果実加工品の調製方法」特願第 2015-226121 号 (2015 年 11 月 18 日)

平田 翔 (Hirata, Sho) 平成 24 年度入学, 平成 28 年 3 月修了 (主指導教員: 執行 正義)

公表論文

学会誌等

- 1) Hirata, S., Abdelrahman, M., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Diversity evaluation based on the morphological, physiological, and isozyme variation. *Genes & Genetic Systems*. In press. <http://doi.org/10.1266/ggs.15-00004> (Dec, 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Shigyo, M.*, Hirata, S., Abdelrahman, M., Vu, H.Q., Ariyanti, N. A. and Yamauchi, N.: A new “omics” platform technology for applied cytogenetics and implications for germplasm enhancement in *Allium*. 7th International ISHS Symposium on Edible Alliaceae (Oral). Nigde, Turkey (May, 2015)

国内学会

- 1) 山北和香*・佐藤修正・Abdelrahman Mostafa・平田翔・平川英樹・田中啓介・峯洋子・山内直樹・執行正義: ネギ単一異種添加系統の RNA-Sequencing によるシャロット染色体マーカーの大量取得 (口頭). 園芸学会平成 27 年度秋季大会 (徳島県徳島市) (2015 年 9 月)
- 2) 執行正義*・佐藤修正・Abdelrahman Mostafa・平田翔・平川英樹・田中啓介・峯洋子・杉山信男・山内直樹: ネギ属バイオリーソースを用いたトランスクリプトーム解析データの活用

- (口頭). 園芸学会平成 27 年度秋季大会 (徳島県徳島市) (2015 年 9 月)
- 3) 執行正義・平田翔*・辻本壽: 耐乾性ニンニク系統の化学内容成分特性について (ポスター). 鳥取大学乾燥地研究センター平成 27 年度共同研究発表会 (鳥取県鳥取市) (2015 年 12 月)
 - 4) 山北和香・竹富詩歩・佐藤修正・平田翔・平川英樹・田中啓介・峯洋子・山内直樹・執行正義*: *Allium cepa* における超高密度連鎖地図作成の試み (口頭). 園芸学会平成 28 年度春季大会 (神奈川県厚木市) (2016 年 3 月)
 - 5) Ariyanti Nur Aeni・平田翔*・原伸年・山内直樹・執行正義: シャロットにおける遊離アミノ酸等の化学内容成分特性について (口頭). 園芸学会平成 28 年度春季大会 (神奈川県厚木市) (2016 年 3 月)

若生 忠幸 (Wako, Tadayuki) 平成 24 年度 10 月入学 (主指導教員: 執行 正義)

公表論文

学会誌等

- 1) Wako, T., Yamashita, K., Tsukazaki, H., Ohara, T., Kojima, A., Yaguchi, S. Shimazaki, S., Midorikawa, N., Sakai, T., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Screening and incorporation of rust resistance from *Allium cepa* into bunching onion (*Allium fistulosum*) via alien chromosome addition. *Genome*, **58**, 135-142 (Apr., 2015)

学会発表

国内学会

- 1) 西畑秀次*・江藤敏美・長山貴昭・若生忠幸・浅井雅美・上杉知佳・岡田功: 根深ネギの調製時における茎盤の切除位置の推定 (第 1 報) ネギの生育と茎盤形状との関係 (口頭). 園芸学会平成 27 年度秋季大会 (徳島県徳島市) (2015 年 9 月)
- 2) 山下謙一郎*・塚崎光・若生忠幸: ネギの稔性回復遺伝子座 Ms3 のマッピングおよび既存 CMS に対する Ms3 の効果 (ポスター). 園芸学会平成 27 年度秋季大会 (徳島県徳島市) (2015 年 9 月)

MOSTAFA ABDELWAHED NOURELDEIN ABDELRAHMAN

平成 24 年度 10 月入学, 平成 27 年 9 月修了 (主指導教員: 執行 正義)

公表論文

学会誌等

- 1) Abdelrahman, M., Sawada, Y., Nakabayashi, R., Sato, S., Hirakawa, H., El-Sayed, M., Hirai, M.Y., Saito, K., Yamauchi, N., Shigyo, M.: Integrating transcriptome and target metabolome variability in doubled haploids of *Allium cepa* for abiotic stress protection. *Molecular Breeding*, **35**:195 doi: 10.1007/s11032-015-0378-2 (Oct, 2015)
- 2) Ariyanti, N.A., Hoa, V.Q., Khrustaleva, L.I., Hirata, S., Abdelrahman, M., Ito, S., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Production and characterization of alien chromosome addition lines in *Allium fistulosum* carrying extra chromosomes of *Allium roylei* using molecular and cytogenetic analyses. *Euphytica*, **206**: 343-355 (Nov., 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Shigyo, M.*, Hirata, S., Abdelrahman, M., Vu, H.Q., Ariyanti, N.A. and Yamauchi, N.: A new "OMICS" platform technology for applied cytogenetics and implications for germplasm

enhancement in *Allium*. The 7th International Symposium on Edible Alliaceae (Oral). Nigde, Turkey (May, 2015)

小林 夏樹 (Kobayashi, Natsuki) 平成 25 年度入学 (主指導教員: 山本 晴彦)

鎌田英一郎 (Kamada, Eiichiro) 平成 25 年度入学, 平成 28 年 3 月修了 (主指導教員: 高橋 肇)

公表論文

学会誌等

- 1) 鎌田英一郎・高橋肇・池尻明彦・内山亜希・金子和彦・松永雅志・内田早耶香・荒木英樹・丹野研一: 穂肥窒素の増施および重点化による後期重点型施肥栽培が裸麦の分けつの有効化に及ぼす影響. 日本作物学会紀事, **85**:16-22 (2016 年 1 月)

学会発表

国内学会

- 1) 高橋肇*・鎌田英一郎・高橋真由美: 紙芝居『山口県産小麦「せときらら」をみんなで応援してね』のねらい (口頭). 日本食育学会第9回学術大会 (宮城) (2015年6月)
- 2) 鎌田英一郎*・高橋肇・荒木英樹・丹野研一: 後期重点型施肥栽培や開花期追肥増施がコムギ品種「せときらら」の子実収量, 収量構成要素および子実タンパク質含有率に及ぼす影響 (口頭). 日本作物学会中国支部大会 (鳥取) (2015年7月)
- 3) 鎌田英一郎*・高橋肇・荒木英樹・丹野研一: なぜ 9 月下旬に播種した裸麦品種「トヨノカゼ」は 10 月下旬に播種したものより遅れて開花するのか? (口頭) 日本作物学会第240回講演会 (長野) (2015年9月)
- 4) 鎌田英一郎*・高橋肇・稲葉俊二・荒木英樹・丹野研一: 播種期による温度, 日長の違いが秋播性の異なるコムギ 5 品種および裸麦 1 品種の発育生理ならびに葉展開速度に及ぼす影響 (口頭) 日本作物学会第241回講演会 (茨城) (2016年3月)
- 5) 稲葉俊二*・高橋肇・鎌田英一郎・村田資治・池尻明彦・内山亜希・金子和彦・荒木英樹・丹野研一: 尿素の葉面散布がコムギ品種「せときらら」の窒素代謝ならびに子実タンパク質含有率に及ぼす影響 (口頭) 日本作物学会第 241 回講演会 (茨城) (2016 年 3 月)

池尻 明彦 (Ikejiri, Akihiko) 平成年 25 度 10 月入学 (主指導教員: 高橋 肇)

公表論文

学会誌等

- 1) 池尻明彦・高橋肇: ダイズ品種「サチユタカ」は7月上旬に播種しても6月中旬に播種したものに比べて百粒重が重く収穫指数が高くなることで減収しない. 日本作物学会紀事, **85**: 10-15 (2016 年 1 月)

学会発表

国内学会

- 1) 池尻明彦・中島勘太: ダイズ作付け回数の異なる圃場における被覆尿素の施肥位置がダイズの生育, 収量および根粒活性に及ぼす影響 (口頭) 日本作物学会中国支部大会 (鳥取) (2015 年 7 月)

渡邊(谷中)美貴子 (Watanabe-Yanaka, Mikiko) 平成 25 度 10 月年度入学 (主指導教員: 高橋 肇)

学会発表

国内学会

- 1) 谷中美貴子・大楠秀樹・高田兼則・船附稚子：コムギにおける穀粒ポリフェノールオキシダーゼが粉色，麺色に及ぼす影響（ポスター）日本育種学会第127回講演会（東京）（2016年3月）

NUR AENI ARIYANTI 平成26年度10月入学（主指導教員：執行 正義）

公表論文

学会誌等

- 1) Ariyanti, N.A., Hoa, V.Q., Khrustaleva, L.I., Hirata, S., Abdelrahman, M., Ito, S., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Production and characterization of alien chromosome addition lines in *Allium fistulosum* carrying extra chromosomes of *Allium roylei* using molecular and cytogenetic analyses. *Euphytica*, **206**: 343-355 (Nov., 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Shigyo, M.*, Hirata, S., Abdelrahman, M., Vu, H.Q., Ariyanti, N.A., Yamauchi, N.: A new “OMICS” platform technology for applied cytogenetics and implications for germplasm enhancement in *Allium*. The 7th International Symposium on Edible Alliaceae (Oral). Nigde, Turkey (May, 2015)

国内学会

- 1) Ariyanti, N.A., Hirata, S.*, Hara, N., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Characteristics of chemical ingredients including free amino acids in shallot germplasm. The 2016 Spring Meeting of Japanese Society for Horticultural Science (Oral). Chiba, Japan (Mar., 2016)

2) 森林資源学連合講座

【鳥取大学】

千布 拓生 (Chibu, Takuo) 平成22年度入学（主指導教員：日置 佳之）

都 日 娜 (Dorna) 平成23年度入学（主指導教員：長澤 良太）

桐林 真人 (Kiribayashi, Masato) 平成26年度入学（主指導教員：山本 福壽）

公表論文

学会誌等

- 1) 桐林真人・西村臣博・藤本高明・山本福壽：スギ丸太ならびに立木での応力波伝搬時間計測における出力結果の再現性の向上. 森林バイオマス利用学会誌. 10巻2号（2015年12月）

学会発表

国内学会

- 1) 桐林真人*・森田浩也：応力波伝搬時間を用いたはい積み状態の丸太の重量変化の推定（口頭）. 日本木材学会 中国四国支部 第27回研究発表会（岡山県勝山市）（2015年9月）
- 2) 川上敬介・高橋秀彰*・桐林真人：国産材型枠用合板と輸入型枠用合板の反り及び落下衝撃に対する耐性比較（口頭）. 日本木材学会 中国四国支部 第27回研究発表会（岡山県勝山市）（2015年9月）

- 3) 桐林真人*・藤本高明：応力波伝搬時間によるスギ葉枯らしの乾燥行程の追跡（ポスター）. 第66回日本木材学会大会（愛知県名古屋市）（2016年3月）
- 4) 森田浩也*・桐林真人・高橋秀彰：はい積み保管した燃料用丸太の含水率変動（第2報）—大規模にはい積みした丸太の水分変動—（口頭）. 第66回日本木材学会大会（愛知県名古屋市）（2016年3月）
- 5) 川上敬介*・桐林真人・平松靖・宮武敦：CLTの反り特性（第4報）異等厚のラミナで構成された強軸・弱軸方向の反りの経時変化（口頭）. 第66回日本木材学会大会（愛知県名古屋市）（2016年3月）

その他（特筆すべき事項）

- 1) 応力波を用いた非破壊的な木材材質の推定. 平成27年度鳥取大学農学部・鳥取県農林水産部試験研究機関合同セミナー研究成果発表（2016年1月8日）

NGUYEN QUANG VIET 平成26年度10月入学（主指導教員：長澤 良太）

LISSA FAJRI YAYUSMAN 平成26年度10月入学（主指導教員：長澤 良太）

公表論文

学会誌等

- 1) Yayusman, L.F. and Nagasawa, R.: ALOS-Sensor data integration for the detection of smallholder's oil palm plantation in South Sumatra, Indonesia, システム農学, **31**(2): 27-40 (May, 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Yayusman, L.F. and Nagasawa, R.: Identification of Smallholders' Oil Palm Plantations using ALOS Data. Proceedings of the 36th Asian Conference on Remote Sensing (ACRS), (Oral). Quezon City, Metro Manila, Philippines (Nov., 2015)

BURAPAPOL KANSUMA 平成27年度入学（主指導教員：長澤 良太）

DANDY ADITYA NOVRESIANDI 平成27年度入学（主指導教員：長澤 良太）

公表論文

学会誌等

- 1) Novresiandi, D. A. and Nagasawa, R.: Tropical peatland identification using ALOS PALSAR imageries - A case study in Kahayan River catchment area, Central Kalimantan, Indonesia, システム農学, **32**(1): 1-9 (Jan., 2016)

学会発表

国際学会

- 1) Novresiandi, D. A. and Nagasawa, R.: Tropical Peatland Identification using L-Band Full Polarimetric ALOS PALSAR-A Case Study in Central Kalimantan, Indonesia. Proceedings of the 36th Asian Conference on Remote Sensing (ACRS), (Oral). Quezon City, Metro Manila, Philippines (Nov., 2015)

【島根大学】

小菅 良豪 (Kosuga, Yoshitake) 平成 23 年度入学 (主指導教員：伊藤 勝久)

公表論文

学会誌等

- 1) 小菅良豪・伊藤勝久：岡山県北部における素材生産業者の地域特性とマネジメント戦略. 林業経済研究, **61**(2): 1-12 (2015 年 7 月)

学会発表

国内学会

- 1) 小菅良豪・米康充・伊藤勝久：森林経営計画策定の推進要因と民間林業事業者の計画策定参入の意義と可能性 (口頭) 林業経済学会 2016 年秋季大会 (和歌山県和歌山市) (2015 年 11 月)

その他 (特筆すべき事項)

- 1) 林業インターンシップ (主催：津山市地域雇用創造協議会) 講師
- 2) 島根県中山間地域研究センター客員研究員

橋本 沙優 (Hashimoto, Sayu) 平成 25 年度入学 (主指導教員：小池浩一郎)

大津 裕貴 (Otsu, Hiroataka) 平成 25 年度入学 (主指導教員：小池浩一郎)

3) 経済・経営学連合講座

【鳥取大学】

DUANGKAMON SUWANNARIT 平成 22 年度入学 (主指導教員：小林 一)

田立 紀子 (Tadate, Noriko) 平成 22 年度入学 (主指導教員：能美 誠)

公表論文

学会誌等

- 1) 田立紀子・能美誠：地域内の廃食油を原料としたバイオディーゼル燃料生産活動の実施可能性検討手法の開発—総合余剰の最大化をはかる活動を事例として—. 食農と環境, **16**: 86-98 (2015 年 10 月)

TOLNO EMMANUEL 平成 25 年度入学 (主指導教員：小林 一)

YOHANNES MICHAEL FESSEHA 平成 25 年度入学 (主指導教員：松田 敏信)

公表論文

学会誌等

- 1) Yohannes, M. F. and Matsuda, T.: Demand analysis of non-alcoholic beverages in Japan. Journal of Agricultural Science, **7**: 143-153 (May, 2015)
- 2) Yohannes, M. F. and Matsuda, T.: Weather effects on household demand for coffee and tea in Japan. Agribusiness: An International Journal, **32**: 33-44 (Jan., 2016)

学会発表

国内学会

- 1) Yohannes, M. F., Matsuda, T. and Sato, N.: Substitution effect in consumer demand for coffee in Japan. 地域農林経済学会 (鳥取市) (2015年10月)

SILIPHOUTONE INPONG 平成25年度10月入学 (主指導教員: 古塚 秀夫)

公表論文

学会誌等

- 1) Siliphouthone, I. and Yasunobu, K.: The effects of flood on household economies and food security in lowland rice farming households in Laos. Japanese Society of Agricultural Technology Management, **22**(3): 69-79 (Dec., 2015)
- 2) Siliphouthone, I., Yasunobu, K., Ishida, A. and Furutsuka, H.: The effect of traditional home gardening on rural household food security in the lowland areas, southern Lao PDR. Japanese Journal of Farm Management, **53**(4): 84-89 (Jan., 2016)
- 3) Siliphouthone, I., Yasunobu, K. and Ishida, A.: Analysis of food security in rural lowland farming households in Laos. "A daily calorie intake approach". Tropical Agriculture and Development, **60**(1): 14-20 (Mar., 2016)

学会発表

国際学会

- 1) Tanaka, J.*, Yasunobu, K., Siliphouthone, I., Utaranakorn, P. and Vienmana, S: Limitation of rice seed supply from public institutional in Thailand, International Symposium on Agricultural, Food, Environmental and Life Science in Asia (Poster). Kurayoshi, Japan (Oct., 2015)
- 2) Utaranakorn, P.*, Yasunobu, K., Ryuichio, T. and Siliphouthone, I: Optimal production plan for small-scale farmers in northeastern Thailand using liner programming approach. International Symposium on Agricultural, Food, Environmental and Life Science in Asia (Poster). Kurayoshi, Japan (Oct., 2015)
- 3) Siliphouthone, I.* and Yasunobu, K: Prevalence and determinants of household food security in resettled areas in Sekong Province, Lao PDR. The 7th International Conference on Environmental and Rural Development (Oral). Phnom Penh, Cambodia (Jan., 2016)
- 4) Tanaka, J., Yasunobu, K. and Siliphouthone, I: The role and constants of community rice seed center (CRSC) in Thailand "preliminary findings from the field work in Ubon Ratchathani and Khon Kaen". Annual Rice and Grain Research Meeting (Oral). Sakonnakhon, Thailand (Mar., 2016)

国内学会

- 1) Siliphouthone, I.* and Yasunobu, K.: Rural household economy in the post-resettled areas of Lao PDR: Evidence from household panel surveys. The Symposium of the Japanese Society of Regional and Agricultural Development (Oral). Kanagawa, Japan (May, 2015)
- 2) Siliphouthone, I.* Yasunobu, K. and Furutsuka, H.: Identifying an alternative indicator of household food security: Evidence from the rural areas of Laos. The 15th Symposium of the Farm Management Society of Japan (Oral). Hokkaido, Japan (Sep., 2015)
- 3) Siliphouthone, I.* and Yasunobu, K.: The effect of flood on household economies and food security in lowland rice farming household in Laos. The Symposium of the Japanese Society of Regional and Agricultural Development (Oral). Nagoya, Japan (Dec., 2015)

UTARANAKORN PANATDA 平成 25 年度 10 月入学（主指導教員：小林 一）

公表論文

学会誌等

- 1) Nakato, A., Yasunobu, K., Oda, T. and Utaranakorn, P.: Sustainability of a low-chemical vegetable shipping group: A case study of a Rural Development Project in Khon Kaen, Northeastern Thailand. Japanese Journal of Farm Management, **53**(3): 1-13 (Oct., 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Utaranakorn, P.*, Yasunobu, K., Tsuji, R. and Siliphouthone, I.: Optimal Production Plan for Small-Scale Farmers in Northeastern Thailand Using Linear Programming Approach. International Symposium on Agricultural, Food, Environmental and Life Sciences in Asia, 2015 (The 12th International Joint Symposium between Japan and Korea) (Poster). Tottori, Japan (Nov., 2015)
- 2) Tanaka, J.*, Yasunobu, K., Siliphouthone, I., Utaranakorn, P. and Vianmana, S.: Limitation of rice seed supply from public institutions in Thailand. International Symposium on Agricultural, Food, Environmental and Life Sciences in Asia, 2015 (The 12th International Joint Symposium between Japan and Korea) (Poster). Tottori, Japan (Nov., 2015)

国内学会

- 1) Utaranakorn, P.* and Yasunobu, K.: Exploring an inverse relationship between farming efficiency and farm size: Family farmers in Northeastern Thailand. Spring 2015 Conference of Japanese Society of Regional and Agricultural Development (Oral). Kanagawa, Japan (May, 2015)
- 2) Utaranakorn, P.* and Yasunobu, K.: Technical, allocative, and economic efficiencies of family farming in Northeastern Thailand using Data Envelopment Analysis (DEA) approach. The'15 Study Conference of the Farm Management Society of Japan (Oral). Hokkaido, Japan (Sep., 2015)
- 3) Utaranakorn, P.* and Yasunobu, K.: Farm management styles and management strategies of efficiency and inefficiency farms: case studies of farmers in Khon Kaen Province, Thailand. Autumn 2015 Conference of Japanese Society of Regional and Agricultural Development (Oral). Nagoya, Japan (Dec., 2015)

LI MINGYUAN 平成 27 年度入学（主指導教員：松田 敏信）

学会発表

国内学会

- 1) 李明圓・松田敏信・佐藤菜穂子：中国都市部食料需要に関する計量経済的研究。地域農林経済学会（鳥取市）（2015 年 10 月）

2 生物環境科学専攻

1) 生産環境工学連合講座

【鳥取大学】

藤本 光伸 (Fujimoto, Mitsunobu) 平成 27 年度 10 月入学 (主指導教員: 緒方 英彦)

公表論文

学会誌等

- 1) 石神暁郎・緒方英彦・藤本光伸・青山裕俊: 寒冷地における開水路の更生工法, 農業農村工学会誌, **83**(9): 37-40 (2015 年 9 月)

学会発表

国内学会

- 1) 藤本光伸*・竹田誠・伊藤勉・石神暁郎・緒方英彦: 寒冷地におけるコンクリート開水路の水路更生工法の試験施工 (口頭), 平成 27 年度農業農村工学会大会講演会 (岡山県岡山市) (2015 年 9 月)
- 2) 石神暁郎*・田場一矢・緒方英彦・藤本光伸・青山裕俊: コンクリート開水路補修における水分侵入抑制効果の確認手法に関する検討 (口頭), 平成 27 年度農業農村工学会大会講演会 (岡山県岡山市) (2015 年 9 月)

【島根大学】

張 丹 (Zhang, Dan) 平成 24 年度入学 (主指導教員: 喜多威知郎)

松本 拓 (Matsumoto, Takumi) 平成 26 年度入学 (主指導教員: 長束 勇)

学会発表

国内学会

- 1) 松本拓*・長束勇・村田涼輔: テーパー形摩耗試験による水砂噴流摩耗試験の代替性 (口頭). 平成 27 年度農業農村工学会大会講演会 (岡山県岡山市) (2015 年 9 月)
- 2) 浅野純平*・松本拓・長束勇・小栗雅也: 耐アルカリガラス繊維ネットを用いた表面被覆工法の基本性能 (口頭). 平成 27 年度農業農村工学会大会講演会 (岡山県岡山市) (2015 年 9 月)
- 3) 浅野純平*・長束勇・石井将幸・松本拓: ほろ形トンネルにおける耐アルカリガラスネットを用いた内面補強工法の効果 (口頭). 第 70 回農業農村工学会中国四国支部講演会 (広島県広島市) (2015 年 10 月)
- 4) 松本拓*・長束勇・石井将幸・山崎悠里: 接着界面での剥離を促す新たな剥離強度試験方法の検討 (口頭). 第 70 回農業農村工学会中国四国支部講演会 (広島県広島市) (2015 年 10 月)

2) 環境科学連合講座

【鳥取大学】

安藤 洋子 (Ando, Yoko) 平成 21 年度入学 (主指導教員 : 前川二太郎)

YI RUI QIN 平成 24 年度 10 月入学, 平成 27 年 9 月修了 (主指導教員名 : 一柳 剛)

公表論文

学会誌等

- 1) Yi, R., Narimoto, H., Nozoe, M. and Ichianagi, T.: Convergent synthesis of 4,5-branched inner-core oligosaccharides of lipopoly- and lipooligosaccharides. *Biosci. Biotechnol. Biochem.* **79**: 1931-1945 (Jun., 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Ichianagi, T.*, Yi, R., Nagasawa, Y., Narimoto, H. and Nozoe, M.: A convergent synthesis of branched inner-core oligosaccharide of Neisserial LOS and their biotin conjugates. 23rd International Symposium on Glycoconjugate (Poster) Split, Croatia (Sep., 2015)

国内学会

- 1) 成本裕文*・蟻瑞欽・野添未来・一柳剛 : 分岐構造を有するリポオリゴ糖の酸性内部コア糖鎖の化学合成 (ポスター) . 第 3 4 回日本糖質学会年会 (東京都文京区) (2015 年 8 月)
- 2) 成本裕文*・蟻瑞欽・野添未来・一柳剛 : リポオリゴ糖の酸性内部コア 4 糖および 5 糖の合成 (ポスター) . 日本農芸化学会 2016 年度大会 (北海道札幌市) (2016 年 3 月)

その他 (特筆すべき事項)

- 1) 日本農芸化学会中四国支部学生奨励賞 (2015 年 9 月 11 日)

SUTTHIKHAMPA SURASIT 平成 25 年度 10 月入学, 平成 28 年 3 月修了 (主指導教員 : 會見 忠則)

公表論文

学会誌等

- 1) Sutthikhampa, S., Kawai, Y., Hayashi, M., Boonlue, S., Shimomura, N., Yamaguchi, T. and Aimi, T.: Transcriptional analysis of alcohol and aldehyde dehydrogenase gene families in *Pholiota microspora*, and estimation of their physiological roles. *Mushroom Science and Biotechnology*, in press.
- 2) Sutthikhampa, S., Kawai, Y., Hayashi, M., Boonlue, S., Shimomura, N., Yamaguchi, T. and Aimi, T.: Relationship between fruiting body development and phenol oxidase gene expression in *Pholiota microspora*. *Mushroom Science and Biotechnology*, **23**(4): 159-165 (Feb., 2016)
- 3) Sutthikhampa, S., Kawai, Y., Hayashi, M., Boonlue, S., Shimomura, N., Yamaguchi, T. and Aimi, T.: Only one major manganese peroxidase (MnP) is predominantly expressed for mycelial growth of *Pholiota microspora* on sawdust medium. *Mushroom Science and Biotechnology*, **23**(4): 151-158

学会発表

国際学会

- 1) Sutthikhampa S., Kawai, Y., Hayashi, M., Boonlue. S., Shimomura, N., Yamaguchi. T., Aimi, T. Transcriptomic analysis of multiple gene families expression during fruiting body development in *Pholiota microspora* on sawdust medium. The 8th Meeting of Asia Mushroom Science (Oct., 2015)

仲野 翔太 (Nakano, Shota) 平成 25 年度入学 (主指導教員 : 霜村 典宏)

公表論文

学会誌等

- 1) Nakano, S., Sawada, K., Gao, Q., Aimi, T. and Shimomura, N.: Production of a salt-tolerant strain by cross-breeding in the ectomycorrhizal mushroom *Rhizopogon roseolus* (= *R. rubescens*). *Mushroom Science and Biotechnology*, **23**: 75-79 (Jul., 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Nakano, S.*, Qao, Q., Aimi, T. and Shimomura, N.: Toward production of salt-tolerant strains of the ectomycorrhizal fungus *Rhizopogon roseolus* (= *R. rubescens*). 8th International Conference Mycorrhiza (ICOM8) (Oral). Arizona, USA (Aug., 2015)
- 2) Gao, Q. *, Nakano, S., Aimi, T. and Shimomura, N.: Ethylmethanesulfonate (EMS)-induced mutation and isolation of salt-tolerant *Rhizopogon roseolus* strains. The 8th Meeting of Asia for Mushroom Science (Oral). Tottori, Japan (Oct., 2015)
- 3) Nakano, S.*, Gao, Q., Aimi, T. and Shimomura, N.: Relationship between spore germination ability and spore wall structure in the ectomycorrhizal mushroom *Rhizopogon roseolus* (= *R. rubescens*). The 8th Meeting of Asia for Mushroom Science (Oral), Tottori, Japan (Oct., 2015)
- 4) Nakano, S.*, Gao, Q., Aimi, T. and Shimomura, N.: Variability in spore germination ability of the ectomycorrhizal fungus *Rhizopogon roseolus* (= *R. rubescens*). International Symposium on Agricultural, Food, Environmental and Life Sciences in Asia, 2015 (AFELiSA2015) (Oral). Tottori, Japan (Nov., 2015)
- 5) Gao, Q.*, Nakano, S., Aimi, T. and Shimomura, N.: Isolation of salt-tolerant mutants from the ectomycorrhizal fungus *Rhizopogon roseolus* induced by ethylmethanesulfonate. International Symposium on Agricultural, Food, Environmental and Life Sciences in Asia, 2015 (AFELiSA2015) (Oral). Tottori, Japan (Nov., 2015)

国内学会

- 1) 高琪*・仲野翔太・会見忠則・霜村典宏 : 外生菌根菌ショウロにおける担子胞子発芽過程の微細構造解析 (ポスター) . 医学生物学電子顕微鏡技術学会 第 31 回学術講演会 (愛知県名古屋市) (2015 年 6 月)
- 2) 平岡吏佳子・仲野翔太*・霜村典宏・会見忠則 : 炭素源含有培地で培養した胃酸耐性及び胃酸感受性を具備する乳酸菌 *Lactobacillus plantarum* の細胞学的比較. 医学生物学電子顕微鏡技術学会 (ポスター) . 第 31 回学術講演会 (愛知県名古屋市) (2015 年 6 月)
- 3) 林未来・仲野翔太*・霜村典宏・会見忠則 : 食用きのこマイタケの黒色野生株と白色アルビノ変異菌株の細胞学的比較 (ポスター) . 医学生物学電子顕微鏡技術学会 第 31 回学術講演会 (愛知県名古屋市) (2015 年 6 月)
- 4) 仲野翔太・高琪・会見忠則*・霜村典宏 : 外生菌根菌ショウロにおける胞子発芽能力の個体間差(ポスター). 日本きのこ学会 第 19 回大会 (茨城県つくば市) (2015 年 9 月)
- 5) 高琪・仲野翔太・会見忠則・霜村典宏* : Ethylmethanesulphonate 処理によって誘発された耐塩性ショウロ菌株系統の分離(ポスター). 日本きのこ学会 第 19 回大会 (茨城県つくば市) (2015 年 9 月)
- 6) 高琪*・仲野翔太・会見忠則・霜村典宏 : 土壌内外生菌根の核相検定ーショウロホモカリオン

を用いた交配検定－（ポスター）．微生物資源学会第22回大会（鳥取県鳥取市）（2015年9月）

7) 平岡吏佳子*・宇田薫・仲野翔太・霜村典宏・会見忠則：プロバイオティクス乳酸菌 *Lactobacillus plantarum* FSCM2-12 株の胃酸耐性機構の解明（口頭）．微生物資源学会第22回大会（鳥取県鳥取市）（2015年9月）

8) 仲野翔太*・高琪・会見忠則・霜村典宏：耐塩性を具備するショウロ交雑 F1 菌株の育成（口頭）．微生物資源学会第22回大会（鳥取県鳥取市）（2015年9月）

その他（特筆すべき事項）

1) 霜村典宏・仲野翔太：特許出願 2015-154250 「耐塩性ショウロ菌株」（2015年8月4日）

田中 計実（Tanaka, Keijitsu） 平成25年度10月入学（主指導教員：石原 亨）

公表論文

学会誌等

1) Tanaka, K., Amaki, Y., Ishihara, A. and Nakajima, H.: Synergistic effects of [Ile⁷]surfactin homologues with bacillomycin D in suppression of gray mold disease by *Bacillus amyloliquefaciens* biocontrol strain SD-32. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **63**: 5344–5353 (Jun, 2015)

ZHU GANG 平成25年度10月入学（主指導教員：會見 忠則）

学会発表

国際学会

- 1) Zhu, G., Wan, JN., Hayashi, M., Shimomura, N., Yamaguchi, T. and Aimi, T.: Roles of two glucoamylases in *Pholiota microspora*. The 8th Meeting of Asia for Mushroom Science (Oct., 2015)
- 2) Zhu, G., Wan, JN., Hayashi, M., Shimomura, N., Yamaguchi, T. and Aimi, T.: Roles of two glucoamylases in *Pholiota microspora*. The Second Myanmar-Japan Symposium (Dec., 2015)

GAO QI 平成26年度入学（主指導教員：霜村 典宏）

公表論文

学会誌等

1) Nakano, S., Sawada, K., Gao, Q., Aimi, T. and Shimomura, N.: Production of a salt-tolerant strain by cross-breeding in the ectomycorrhizal mushroom *Rhizopogon roseolus* (= *R. rubescens*). *Mushroom Science and Biotechnology*, **23**: 75-79 (Jul., 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Nakano, S. *, Qao, Q., Aimi, T. and Shimomura, N.: Toward production of salt-tolerant strains of the ectomycorrhizal fungus *Rhizopogon roseolus* (= *R. rubescens*). 8th International Conference Mycorrhiza (ICOM8) (Oral). Arizona, USA (Aug., 2015)
- 2) Gao, Q. *, Nakano, S., Aimi, T. and Shimomura, N.: Ethylmethanesulfonate (EMS)-induced mutation and isolation of salt-tolerant *Rhizopogon roseolus* strains. The 8th Meeting of Asia for Mushroom Science (Oral). Tottori, Japan (Oct., 2015)
- 3) Nakano, S. *, Gao, Q., Aimi, T. and Shimomura, N.: Relationship between spore germination ability and spore wall structure in the ectomycorrhizal mushroom *Rhizopogon roseolus* (= *R. rubescens*). The 8th Meeting of Asia for Mushroom Science (Oral), Tottori, Japan (Oct., 2015)

- 4) Nakano, S. *, Gao, Q., Aimi, T. and Shimomura, N.: Variability in spore germination ability of the ectomycorrhizal fungus *Rhizopogon roseolus* (= *R. rubescens*). International Symposium on Agricultural, Food, Environmental and Life Sciences in Asia, 2015 (AFELiSA2015) (Oral). Tottori, Japan (Nov., 2015)
- 5) Gao, Q. *, Nakano, S., Aimi, T. and Shimomura, N.: Isolation of salt-tolerant mutants from the ectomycorrhizal fungus *Rhizopogon roseolus* induced by ethylmethanesulfonate. International Symposium on Agricultural, Food, Environmental and Life Sciences in Asia, 2015 (AFELiSA2015) (Oral). Tottori, Japan (Nov., 2015)

国内学会

- 1) 高琪*・仲野翔太・会見忠則・霜村典宏：外生菌根菌シオウロにおける担子孢子発芽過程の微細構造解析（ポスター）．医学生物学電子顕微鏡技術学会 第31回学術講演会（愛知県名古屋市）（2015年6月）
- 2) 仲野翔太・高琪・会見忠則*・霜村典宏：外生菌根菌シオウロにおける孢子発芽能力の個体間差（ポスター）．日本きのこ学会第19回大会（茨城県つくば市）（2015年9月）
- 3) 高琪・仲野翔太・会見忠則・霜村典宏*：Ethylmethanesulphonate 処理によって誘発された耐塩性シオウロ菌株系統の分離（ポスター）．日本きのこ学会第19回大会（茨城県つくば市）（2015年9月）
- 4) 高琪*・仲野翔太・会見忠則・霜村典宏：土壌内外生菌根の核相検定—シオウロホモカリオンを用いた交配検定—（ポスター）．微生物資源学会第22回大会（鳥取県鳥取市）（2015年9月）
- 5) 仲野翔太*・高琪・会見忠則・霜村典宏：耐塩性を具備するシオウロ交雑 F1 菌株の育成（口頭）．微生物資源学会第22回大会（鳥取県鳥取市）（2015年9月）

その他（特筆すべき事項）

- 1) 平成27年度鳥取大学大学院エンカレッジファンド受賞（2016年2月）

【島根大学】

木戸健一郎（Kido, Kenichiro） 平成21年度入学（主指導教員：佐藤 利夫）

鴛海 智佳（Oshiumi, Chika） 平成23年度入学（主指導教員：國井 秀伸）

RADHA DEVKOTA ADHIKARI 平成24年度入学（主指導教員名：宮永 龍一）

公表論文

学会誌等

- 1) Adhikari, RD. and Miyanaga, R.: Utilization of hairy footed flower bee *Anthophora plumipes* (Hymenoptera: Apidae) for pollination of greenhouse strawberry. *Advances in Entomology*, **4**: 25-31 (Jan., 2016)

細澤 豪志（Hosozawa, Takeshi） 平成24年度入学（主指導教員名：國井 秀伸）

公表論文

学会誌等

- 1) 細澤剛志*・國井秀伸・中村幹雄・尾島徹也・杉山ゆかり・山口啓子：島根県大橋川におけるホトトギズガイ (*Arcuatula senhousia* Benson) 個体群の空間分布とその時間的变化, 日本ベントス学会誌, **70**(1): 1-12 (2015年8月)

森 明寛 (Mori, Akihiro) 平成24年度10月入学 (主指導教員名: 國井 秀伸)

NGUYEN THI QUYET 平成26年度入学 (主指導教員名: 井藤 和人/上野 誠)

公表論文

学会誌等

- 1) Nguyen, T. Q., Ueda, K., Kihara, J. and Ueno, M.: Inhibition of *Magnaporthe oryzae* by culture filtrates of fungi isolated from wild mushrooms. *Advances in Microbiology*, **5**: 686-692 (Sep., 2015)

学会発表

国内学会

- 1) 上野誠*・新里尚也・矢野佑佳・田村朋子・都筑麟・Nguyen Thi Quyet・木原淳一：沖縄微生物ライブラリーを利用したキュウリ炭疽病の抑制について (口頭). 平成27年度日本植物病理学会関西支部会 (徳島県徳島市) (2015年9月)
- 2) Nguyen Thi Quyet*・田村朋子・木原淳一・上野誠・井藤和人: *Streptomyces* 属菌 STS1 株によるキュウリ褐斑病の抑制について (口頭). 平成27年度日本植物病理学会関西支部会 (徳島県徳島市) (2015年9月)
- 3) 都筑麟・上野誠*・新里尚也・田村朋子・Nguyen Thi Quyet・木原淳一：沖縄微生物ライブラリーを利用したイネいもち病菌の抑制について(2) (口頭). 平成28年度日本植物病理学会大会 (岡山県岡山市) (2016年3月)

前野 真一 (Maeno, Masakazu) 平成26年度入学 (主指導教員: 佐藤 利夫)

公表論文

学会誌等

- 1) 桑原智之・福井惇・前野真一・佐藤利夫：Si-Al-Mg系複合含水酸化物のフッ化物イオン吸着能力再生特性, *Journal of The Society of Inorganic Materials, Japan*, **22**: 261-267 (2015年9月)
- 2) 桑原智之・松村麻由・前野真一・佐藤利夫：組成比の異なるSi-Fe-Mg系複合含水酸化物の地下水中ヒ素の吸着特性, *Journal of The Society of Inorganic Materials, Japan*, **23**: 15-24 (2016年1月)

学会発表

国内学会

- 1) 桑原智之*・吉田俊介・前野真一・佐藤利夫：熟成条件の異なるSi-Al-Mg系複合含水酸化物の構造特性とフッ化物イオン吸着特性(口頭). 第59回粘土科学討論会 (山口県山口市) (2015年9月)
- 2) 前野真一*・梅本陽平・城市侑・桑原智之：Ti導入型ハイドロタルサイトの亜ヒ酸吸着能力と光触媒活性の検討 (口頭). 第59回粘土科学討論会 (山口県山口市) (2015年9月)
- 3) 桑原智之*・松村麻由・前野真一・佐藤利夫：組成比の異なるSi-Fe-Mg系複合含水酸化物のヒ素吸着特性の比較 (口頭). 無機マテリアル学会 第131回学術講演会 (愛知県名古屋市) (2015年11月)
- 4) 前野真一*・桑原智之・佐藤利夫：Si-Al-Mg系複合含水酸化物によるフッ素・ホウ素の吸着

と結晶構造への影響（口頭）. 無機マテリアル学会 第 131 回学術講演会（愛知県名古屋市）
（2015 年 11 月）

- 5) 松村麻由*・桑原智之・前野真一・佐藤利夫：鉄含有率の高い Si-Fe-Mg 系複合含水酸化物の
ヒ素吸着能力の評価（口頭）. 第 50 回日本水環境学会年会（徳島県徳島市）（2016 年 3 月）

その他（特筆すべき事項）

- 1) 学内発表：金属水酸化物を用いた水質浄化材の開発（口頭・ポスター）. 学生による研究発表
会&産学交流会，島根大学（松江市）（2015 年 6 月 3 日）

NUR AMELIA BINTI ABAS 平成 26 年度 10 月入学（主指導教員：國井 秀伸）

辻谷 睦巳（Tsujitani, Mutsumi） 平成 27 年度 10 月入学（主指導教員：宮永 龍一）

3 生物資源科学専攻

1-1) 資源生物科学連合講座

(平成23年度入学より生物機能科学連合講座)

【鳥取大学】

北 実 (Kita, Makoto) 平成19年度10月入学 (主指導教員: 有馬 二郎)

1-2) 生物機能科学連合講座

(平成23年度新設)

【鳥取大学】

丸山麻理弥 (Maruyama, Mariya) 平成24年度入学, 平成27年9月修了 (主指導教員: 東 政明)

公表論文

学会誌等

- 1) Maruyama, M., Kambara, K., Naka, H. and Azuma, M.: Insect water-specific aquaporins in developing ovarian follicles of the silk moth *Bombyx mori*: Role in hydration during egg maturation. *The Biological Bulletin*, **229**: 58-69 (Aug., 2015)
- 2) Maruyama, M. and Azuma, M.: Aquaporins are expressed in the columnar cells of the midgut epithelium of the silkworm, *Bombyx mori*. *Journal of Insect Biotechnology and Sericology*, **84**: 55-61 (Oct., 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Maruyama, M.* and Azuma, M.: Insect water-specific aquaporins in developing ovarian follicles of the silk moth *Bombyx mori*: role in hydration during egg maturation (Poster). The 4th Asia-Pacific Congress of Sericulture and Insect Biotechnology, Busan, Korea (Apr., 2015)

国内学会

- 1) 丸山麻理弥*・東政明: カイコ卵形成過程におけるアクアグリセロポリンの役割. 蚕糸・昆虫機能利用学術講演会～日本蚕糸学会第85回大会 (北海道札幌市) (2015年9月)

磯田 佳孝 (Isoda, Yoshitaka) 平成25年度入学 (主指導教員: 有馬 二郎)

公表論文

学会誌等

- 1) Arima, J., Shimone, K., Miyatani, K., Tsunehara, Y., Isoda, Y., Hino, T. and Nagano, S.: Crystal structure of D-stereospecific amidohydrolase from *Streptomyces* sp. 82F2: insight into the structural factors for substrate specificity. *FEBS Journal*, **283**: 337-349 (Jan., 2016)

学会発表

国際学会

- 1) Tsunehara, Y., Tamura, A., Isoda, Y. and Arima, J.: Construction of non-natural dipeptide library by peptide bond formation reaction catalyzed by D-stereospecific amidohydrolase. *The International*

Chemical Congress of PACIFIC BASIN SOCIETIES (PACIFICHEM) 2015 (Poster), Honolulu, Hawaii, USA (Dec., 2015)

- 2) Isoda, Y., Tsunehara, Y. and Arima, J.: (D-Trp)₃-OMe: D-homo tripeptide constructed by enzymatic synthesis showed antibacterial activity against Gram-positive bacteria. The International Chemical Congress of PACIFIC BASIN SOCIETIES (PACIFICHEM) 2015 (Poster), Honolulu, Hawaii, USA (Dec., 2015)

東海 彰太 (Tokai, Shota) 平成 27 年度 10 月入学 (主指導教員 : 有馬 二郎)

学会発表

国際学会

- 1) Tokai, S. and Arima, J.: Functional analysis of peptidase from *Pleurotus eryngii*. The International Joint Symposium between Japan and Korea (AFELiSA) 2015 (Poster), Kurayoshi, Tottori (Dec., 2015)
- 2) Arima, J., Tokai, S. and Mori, N.: Family S9 peptidase from *Pleurotus eryngii*: Change in aminolysis function and substrate specificity by oxidation. The International Chemical Congress of PACIFIC BASIN SOCIETIES (PACIFICHEM) 2015 (Poster), Honolulu, Hawaii, USA (Dec., 2015)

その他 (特筆すべき事項)

- 1) 2016 年度笹川科学研究助成

YASMEEN YOUSIF AHMED ELYAS 平成 27 年度 10 月入学 (主指導教員 : 有馬 二郎)

【島根大学】

森山 大輔 (Moriyama, Daisuke) 平成 23 年度 10 月入学 (主指導教員 : 川向 誠)

学会発表

国内学会

- 1) 森山大輔*・戒能智宏・矢島麗嘉・柳井良太・池中康裕・長谷川淳三・鷺田元久・難波弘憲・川向誠 : 酵母由来デカプレニルニリン酸合成酵素の解析 (ポスター). 日本農芸化学会 2016 年度大会 (北海道札幌市) (2016 年 3 月)

MOHAMMAD SHAHIDUR RAHMAN 平成 23 年度 10 月入学 (主指導教員 : 石川 孝博)

公表論文

学会誌等

- 1) Khan, F., Seyda, P. K., Nartey, M. N. N., Rahman, M. S., Islam, M. S., Nishimura, K., Jisaka, M., Shono, F. and Yokota, K.: Pretreatment of cultured preadipocytes with arachidonic acid during the differentiation phase without a cAMP-elevating agent enhances fat storage after the maturation phase. *Prostaglandins and Other Lipid Mediators*, **123**: 16-27 (Feb., 2016)

学会発表

国内学会

- 1) Islam, M. S.*, Rahman, M. S., Nartey, M. N. N. and Yokota, K.: Effect of P2RY12 and CYP2C9 gene polymorphisms on the anti-platelet response of clopidogrel in the Bangladeshi percutaneous

coronary intervention patients (Oral). 43th Annual Meeting of Chu-Shikoku Division in the Japan Society for Bioscience, Biotechnology, and Agrochemistry, Matsuyama (Sep., 2015)

布施 利紀 (Fuse, Toshinori) 平成 24 年度入学 (主指導教員 : 尾添 嘉久)

公表論文

学会誌等

- 1) Fuse, T., Ikeda, I., Kita, T., Furutani, S., Nakajima, H., Matsuda, K., Ozoe, F. and Ozoe, Y.: Synthesis of photoreactive ivermectin B_{1a} derivatives and their actions on *Haemonchus* and *Bombyx* glutamate-gated chloride channels. *Pesticide Biochemistry and Physiology*, **120**: 82-90 (May, 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Fuse, T.*, Kita, T., Ozoe, F. and Ozoe, Y.: Activation, potentiation, and antagonism of *Musca* GABA receptors by ivermectin, 250th American Chemical Society National Meeting (Poster), Boston, USA (Aug., 2015)

国内学会

- 1) 布施利紀*・喜多知・中田侑之介・尾添富美代・尾添嘉久：グルタミン酸および GABA 作動性イオンチャネルに対する駆虫薬イベルメクチンの 3 作用（口頭）．日本農薬学会第 41 回大会（島根県松江市）（2016 年 3 月）

玉木 峻 (Tamaki, Shun) 平成 24 年度 10 月入学 (主指導教員 : 石川 孝博)

公表論文

学会誌等

- 1) Tamaki, S., Maruta, T., Sawa, Y., Shigeoka, S. and Ishikawa, T.: Biochemical and physiological analyses of NADPH-dependent thioredoxin reductase isozymes in *Euglena gracilis*. *Plant Science*, **236**: 29-36 (Jul., 2015)

学会発表

国内学会

- 1) 玉木峻：緑藻ユーグレナにおけるペルオキシレドキシシン／チオレドキシシンシステムを介した活性酸素種の代謝機構解明．日本農芸化学会中四国第 42 回講演会（鳥取県鳥取市）（2015 年 6 月）

松野 景 (Matsuno, Kei) 平成 24 年度 10 月入学 (主指導教員 : 松崎 貴)

LIU GENYAN 平成 25 年度 10 月入学 (主指導教員 : 尾添 嘉久)

公表論文

著 書

- 1) Ozoe, Y., Ozoe, F., Kita, T., Rahman, M.M., Liu, G., Hisano, K., Takashima, M. and Nakata, Y.: Multiple sites of insecticidal action in ionotropic GABA receptors. In *Discovery and Synthesis of Crop Protection Products* (Edited by Maienfisch, P., Stevenson, T.M., ISBN13: 9780841231023; eISBN: 9780841231016, Chapter DOI: 10.1021/bk-2015-1204.ch030), *ACS Symposium Series*, Vol. 1204, Chapter 30, American Chemical Society, Washington, DC, pp. 431-446 (Nov., 2015)

学会誌等

- 1) Liu, G., Ozoe, F., Furuta, K. and Ozoe, Y.: 4,5-Substituted 3-isoxazolols with insecticidal activity act as competitive antagonists of housefly GABA receptors. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **63**: 6304-6312 (Jun., 2015)
- 2) Liu, G., Frølund, B., Ozoe, F. and Ozoe, Y.: Differential interactions of 5-(4-piperidyl)-3-isoxazolol analogues with insect γ -aminobutyric acid receptors leading to functional selectivity. *Insect Biochemistry and Molecular Biology*, **66**: 64-71 (Nov., 2015)

学会発表

国内学会

- 1) Liu, G.,* Frølund, B., Ozoe, F. and Ozoe, Y.: Crucial interactions of insect GABA receptors leading to competitive antagonism (口頭). 日本農芸化学会 2015 年度中四国・西日本支部合同大会 (愛媛県松山市) (2015 年 9 月)
- 2) Liu, G.,* Frølund, B., Nakata, Y., Ozoe, F. and Ozoe, Y.: 4-(3-Biphenyl)-5-(4-piperidyl)-3-isoxazolol, an effective orthosteric ligand of insect GABA receptors (口頭). 日本農薬学会第 41 回大会 (島根県松江市) (2016 年 3 月)

西野 耕平 (Nishino, Kohei) 平成 26 年度入学 (主指導教員: 川向 誠)

公表論文

学会誌等

- 1) Nishino, K., Kushima, M., Matsuo, Y., Matsuo, Y. and Kawamukai, M.: Cell Lysis in *S. pombe* *ura4* Mutants Is Suppressed by Loss of Functional *Pub1*, Which Regulates the Uracil Transporter *Fur4*. *PLoS ONE*, **10**(11): e0141796 (Nov., 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Kouhei, N. *, Misaki, K. Yasuhiro, M. and Makoto, K.: Analysis of *pub1* deletion mutants that suppressed cell lysis of *ura4* deletion cells. *Pombe 2015: 8th International Fission Yeast Meeting*, Kobe, Japan (Jun., 2015)

国内学会

- 1) 西野耕平*・榎間満咲・松尾祐児・松尾安浩・川向誠: 分裂酵母 *ura4* 破壊株の細胞溶解を抑圧する *pub1* 破壊株の解析 (口頭). 生化学会中国四国支部会 (島根県) (2015 年 5 月)
- 2) 西野耕平*・榎間満咲・松尾安浩・川向誠: 分裂酵母 *Aura4* 株の細胞溶解を抑圧する *pub1* 欠損による *Fur4* の制御 (口頭). 酵母遺伝学フォーラム (広島県) (2015 年 8 月)
- 3) 西野耕平*・榎間満咲・松尾安浩・川向誠: Analysis of *pub1* deletion mutants that suppressed cell lysis of *ura4* deletion cells (ポスター). 第 38 回日本分子生物学会 (兵庫県) (2015 年 12 月)
- 4) 西野耕平*・榎間満咲・松尾祐児・松尾安浩・川向誠: 分裂酵母 *ura4* 遺伝子破壊株が受ける培地成分の影響の解析 (ポスター). 日本農芸化学会 2016 大会 (北海道) (2016 年 3 月)

MOSTAFA AHMED ABOULELA MOHAMED 平成 26 年度 10 月入学 (主指導教員: 中川 強)

学会発表

国際学会

- 1) Aboulela, M.* and Nakagawa, T.: Dual Site Gateway Binary Vectors Driven by a Moderate Constitutive Promoter (Nopaline Synthase) for Plant Transformation; an Application for Bimolecular Fluorescence

Complementation (BiFC) assay. The 9th International Conference on Bioinformatics and Biomedical Engineering (Oral) China, Shanghai (Sep., 2015)

国内学会

- 1) Aboulela, M.* and Nakagawa, T.: A Functional Analysis of Two Arabidopsis COPII Components, AtSec23F and AtSec23G and Their Role during Pollen Development. Annual Academic Communication in Science (Poster) Daisen, Japan (Oct.2015)

TAHERUZZAMAN KAZI 平成 27 年度 10 月入学 (主指導教員 : 松崎 貴)

SULTANA MST MOMTAZ 平成 27 年度 10 月入学 (主指導教員 : 中川 強)

【山口大学】

MD. SANAUULLAH BISWAS 平成 25 年度 10 月入学 (主指導教員 : 真野 純一)

公表論文

学会誌等

- 1) Biswas, Md. S. and Mano, J.: Lipid peroxide-derived short-chain carbonyls mediate hydrogen peroxide-induced and salt-induced programmed cell death in plants. *Plant Physiology*, **168**: 885-898 (Jul., 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Biswas, M. S.* and Mano, J.: Involvement of reactive carbonyl species in oxidative stress-induced programmed cell death in tobacco BY-2 cells, The 11th Plant Oxygen Group (POG) Conference in Warsaw, Poland (Poster) (Jun., 2015)
- 2) Biswas, M. S.*, Fukaki, H. and Mano, J.: Oxylin carbonyls are involved in the auxin signalling to initiate lateral root formation in *Arabidopsis thaliana*, The 12th Plant Oxygen Group (POG) Conference in Verona, Italy (Poster) (Sep., 2015)

国内学会

- 1) Biswas, M. S.*, Fukaki, H. and Mano, J.: Oxylin carbonyls are involved in the auxin signaling to initiate lateral root formation in *Arabidopsis thaliana* (Oral), The 79th Annual Meeting of the Biological Society of Japan (BSJ), Niigata (Jun., 2015)
- 2) Biswas, M. S.*, Fukaki, H. and Mano, J.: Oxylin carbonyls are involved in the auxin signalling to in initiate lateral root formation in *Arabidopsis thaliana* (Oral), The 57th Annual Meeting of the Japanese Society of Plant Physiologist (JSPP), Morioka (Mar., 2016)

佐々木 邦 (Sasaki, Kuni) 平成 26 年度入学 (主指導教員 : 小林 淳)

学会発表

国際学会

- 1) Sasaki, K.*, Kajiura, Z. and Kobayashi, J.: Comparative whole genome analysis of nucleopolyhedroviruses infecting saturniid silkworms by next-generation sequencing (Poster). The 4th Asia-Pacific Congress of Sericulture and Insect Biotechnology, Busan, Korea (Apr., 2015)

国内学会

- 1) 佐々木邦*・梶浦善太・小林淳：次世代シーケンサーを用いたテンサン核多角体病ウイルスのゲノム配列解析（第2報）（口頭）．第30回中国四国ウイルス研究会（岡山県倉敷市）（2015年6月）
- 2) 佐々木邦*・梶浦善太・小林淳：テンサン核多角体病ウイルスの網羅的ゲノム解析（口頭）．日本蚕糸学会第85回大会（北海道札幌市）（2015年9月）
- 3) 谷崎加奈・佐々木邦・梶浦善太・門野敬子・清水治・小林淳*：東～南アジアの野蚕核多角体病ウイルスのゲノム配列比較（口頭）．日本野蚕学会21回大会（東京都世田谷区）（2015年11月）
- 4) 佐々木邦*・梶浦善太・小林淳：テンサン由来バキュロウイルス分離株の次世代シーケンサー分析で高頻度に検出された欠陥干渉粒子配列（ポスター）．第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会・合同大会（兵庫県神戸市）（2015年12月）
- 5) 佐々木邦*・梶浦善太・小林淳：テンサン核多角体病ウイルスのコンセンサスゲノムの再検討（口頭）．日本蚕糸学会第86回大会（京都府京都市）（2016年3月）

FARIHA JASIN MANSUR 平成26年度入学（主指導教員：阿座上弘行）

学会発表

国内学会

- 1) Fariha Jasin Mansur*・森重なつみ・飯田亮平・島谷雅文・阿座上弘行：歯周病原性細菌 *Eikenella corrodens* におけるオートインデューサー不活化機構の解析（口頭）日本農芸化学会中四国・西日本合同支部大会（松山市）（2015年9月）
- 2) 阿座上弘行*・Fariha Jasin Mansur・森重なつみ：歯周病原性細菌 *Eikenella corrodens* におけるオートインデューサー不活化機構の解析（ポスター）日本微生物生態学会（土浦市）（2015年10月）
- 3) Fariha Jasin Mansur・森重なつみ*・飯田亮平・島谷雅文・阿座上弘行：歯周病原性細菌 *Eikenella corrodens* におけるオートインデューサー不活化機構の解析（ポスター）日本生物工学会（鹿児島市）（2015年10月）
- 4) Fariha Jasin Mansur*・阿座上弘行：Autoinducer-inactivation mechanism in periodontopathogenic bacterium *Eikenella corrodens*（ポスター）日本細菌学会（大阪市）（2016年3月）

2) 資源利用化学連合講座

【鳥取大学】

岸本 勝也（Kishimoto, Katsuya）平成25年度入学（主指導教員：河野 強）

滕 飛（Teng, Fei）平成25年度入学，平成28年3月修了（主指導教員：渡邊 文雄）

公表論文

学会誌等

- 1) Teng, F., Bito, T., Takenaka, S., Yabuta, Y., Shimomura, N. and Watanabe, F.: Determination and characterization of corrinoid compounds in truffle (*Tuber* spp.) and shoro (*Rhizopogon rubescens*) fruiting bodies. *Mushroom Science and Biotechnology*, **22**: 159-164 (Apr., 2015)

- 2) Teng, F., Tanioka, Y., Bito, T., Takenaka, S., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Occurrence of biologically inactive corrinoid compounds in canned edible apple snail (escargots). *Food and Nutrition Science*, **6**: 1071-1077 (Sep., 2015)
- 3) Teng, F., Tanioka, Y., Hamaguchi, N., Bito, T., Takenaka, S., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Determination and characterization of vitamin B₁₂ compounds in edible sea snails, ivory shell *Babylonia japonica* and turban shell *Turdo Batillus cornutus*. *Fisheries Science*, **81**: 1105-1111 (Nov., 2015)

学会発表

国際学会

- 1) Teng, F., Takenaka, S., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Determination and characterization of vitamin B₁₂ compounds in food ingredients used in Chinese Cuisine. 12th Asian Congress of Nutrition (Oral). Yokohama, Japan (Jun., 2015)
- 2) Teng, F., Takenaka, S., Yabuta, Y. and Watanabe F.: Characterization of vitamin B₁₂ compounds in century eggs (Pidan). International Symposium on Agricultural, Food, Environmental and Life Sciences in Asia, 2015 (Oral), Tottori, Japan (Nov., 2015)

国内学会

- 1) 藤飛・竹中重雄・藪田行哲・渡邊文雄：中華食材に含まれるビタミン B₁₂ 化合物の特性。日本ビタミン学会第 67 回大会(口頭), 奈良県奈良市 (2015 年 6 月)

【島根大学】

竹澤 圭太 (Takezawa, Keita) 平成 24 年度入学 (主指導教員：山本 達之)

公表論文

学会誌等

- 1) Takezawa, K., Hirai, T., Yamamoto, T. and Yoshikiyo, K.: Thermodynamic and structural studies on the complexation of guanidino-appended α -cyclodextrin derivatives with *p*-nitrophenolate ion, *Journal of Molecular Structure*, **1108**: 80-86 (Mar., 2016)

中井 (徳山) 翔太 (Tokuyama-Nakai, Shota) 平成 27 年度入学 (主指導教員：横田 一成)

公表論文

著書

- 1) 横田一成・木村英人・徳山翔太：タデアイ (藍) 葉の新規フラボノイドの同定とコレステロール生合成阻害作用, 特産種苗, **21**: 103-107 (2015 年 9 月)

学会誌等

- 1) Kimura, H., Tokuyama, S., Ishihara, T., Ogawa, S. and Yokota, K.: Identification of new flavonol *O*-glycosides from indigo (*Polygonum tinctorium* Lour) leaves and their inhibitory activity against 3-hydroxy-3-methylglutaryl CoA reductase. *Journal of Pharmaceutical Biomedical Analysis*, **108**: 102-112 (Apr., 2015)

学会発表

国際学会

- 1) 徳山翔太*・木村英人・石原朋恵・小川智史・横田一成：タデアイ由来新規フラボノイドの構造決定と 3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリル CoA レダクターゼ阻害活性 (口頭). 日本農芸化学会中四国支部第 42 回講演会 (松江市) (2015 年 6 月)

- 2) Kimura, H., Tokuyama, S., Ishihara, T., Ogawa, S. and Yokota, K.*: Identification of new flavonol O-glycosides from indigo (*Polygonum tinctorium* Lour) leaves and their inhibitory activity against 3-hydroxy-3-methylglutaryl CoA reductase (Poster). BMB2015: Biochemistry and Molecular Biology, Kobe (Dec., 2015)
- 3) 横田一成*・中井翔太・木村英人：山陰地域の生物資源に由来するポリフェノール類の分析と機能性解析：タデアイ葉のフラボノール配糖体の構造解析とコレステロール生合成酵素阻害(口頭). 島根大学生物資源科学部ミッション研究課題成果報告会(松江市) (2016年1月)

【山口大学】

田崎 英祐 (Tasaki, Eisuke) 平成 26 年度入学 (主指導教員：井内 良仁)

公表論文

その他

- 1) 田崎英祐・井内良仁：アンチエイジングをめざす一新しい食品機能性評価系の提案—。New Food Industry, 食品資材研究会, **58**: No.1. 23-28 (2016年1月)

学会発表

国内学会

- 1) 田崎英祐*・田中友貴・小林和也・末広亘・松浦健二・井内良仁：真社会性昆虫ヤマトシロアリのカースト間における抗酸化能評価と長寿命の関係 (ポスター). 第 38 回日本分子生物学会・第 88 回日本生化学会合同大会 (兵庫県神戸市) (2015 年 12 月)
- 2) 田崎英祐*・田中友貴・三岳千夏・小林和也・末広亘・松浦健二・井内良仁：真社会性昆虫ヤマトシロアリ生殖虫の長寿を支える生体分子恒常性機能の評価 (ポスター). 日本昆虫学会第 76 回大会・第 60 回日本応用動物昆虫学会大会合同大会 (大阪府堺市) (2016 年 3 月)
- 3) 田崎英祐・末広亘・松浦健二・井内良仁*：長寿命昆虫ヤマトシロアリの代謝制御能力 (ポスター). 日本昆虫学会第 76 回大会・第 60 回日本応用動物昆虫学会大会合同大会 (大阪府堺市) (2016 年 3 月)

その他 (特筆すべき事項)

- 1) 未来博士 3 分間コンペティション 2015, 最優秀賞およびオーディエンス賞・銀賞受賞 (2015 年 11 月) (広島県広島市)

LU SHI JIAN 平成 26 年度入学 (主指導教員：赤壁 善彦)

4 国際乾燥地科学専攻

国際乾燥地科学連合講座

【鳥取大学】

LI RUI 平成 23 年度入学, 平成 27 年 9 月修了 (主指導教員: 恒川 篤史)

公表論文

学会誌等

- 1) Li, R., Tsunekawa, A. and Tsubo, M.: Assessment of agricultural drought in rainfed cereal production areas of northern China. *Theoretical and Applied Climatology*: 1-13, doi: 10.1007/s00704-015-1657-x (Oct., 2015)
- 2) Li, R., Tsunekawa, A. and Tsubo, M.: A comparison of agricultural practices used to mitigate drought in northern China based on a crop model. *Sand Dune Research*, **62**(3): 79-96 (Feb., 2016)

加藤 敦司 (Kato, Atsushi) 平成 25 年度入学 (主指導教員: 辻本 壽/明石 欣也)

公表論文

学会誌等

- 1) Nanasato, Y., Kido, M., Kato, A., Ueda, T., Suharsono, S., Widyastuti, U., Tsujimoto H. and Akashi, K.: Efficient genetic transformation of *Jatropha curcas* L. by means of vacuum infiltration combined with filter-paper wicks. *In Vitro Cellular and Developmental Biology, Plant*, **51**: 399-406 (Jul., 2015)

学会発表

国内学会

- 1) 上野山遼・七里吉彦・木戸真史・加藤敦司・辻本壽・明石欣也: 可視化マーカーを用いたバイオ燃料植物ジャトロファの形質転換. 日本植物細胞分子生物学会, 東京 (2015 年 8 月)

飯田 拓生 (Handa, Takuo) 平成 25 年度入学 (主指導教員: 山本 定博)

今井 駿輔 (Imai, Shunsuke) 平成 26 年度入学 (主指導教員: 恒川 篤史)

学会発表

国際学会

- 1) Imai, S., Ito, TY., Kinugasa, T., Shinoda, M., Tsunekawa, A. and Lhagvasuren, B.: Relationships between annual range size and attributes of seasonal ranges of Mongolia Gazelles, Vth International Wildlife Management Congress, 札幌 (2015 年 7 月)

QIAN TANA 平成 26 年度入学 (主指導教員: 恒川 篤史)

小林 伸行 (Kobayashi, Nobuyuki) 平成 26 年度入学 10 月 (主指導教員: 恒川 篤史)

学会発表

国内学会

- 1) 小林伸行*・候扶江・恒川篤史・一戸俊義・閻天海・陳先江: 中国甘肅省におけるシンメンタール種肉用牛のエネルギー出納に及ぼすアルファルファ給与の効果 (ポスター). 日本草地学会石川大会 (石川県野々市市) (2016 年 3 月)

AWAD AHMED ELAWAD ELBASHIR 平成 26 年度入学 10 月（主指導教員：辻本 壽）

学会発表

国内学会

- 1) Elbashir, A.A.E.*, Grafi, Y.S.A, Kim, J.-K. and Tsujimoto, H.: Exploitation and utilization of heat stress tolerance genes in wheat wild species. 7th Breeding Colloquium in Chugoku Region (poster). (Dec., 2015)
- 2) Elbashir, A.*, Gorafi, Y., Kim, J. and Tsujimoto, H.: Genome wide association study of wheat heat tolerance in MSD population. The 129th meeting of the Japanese Society of Breeding (poster). (Mar., 2016)

GEBRESILASIE ZERIHUN NIGUSSIE 平成 26 年度入学 10 月（主指導教員：恒川 篤史）

学会発表

国際学会

- 1) Kassie, A., Adgo, E.*, Kassa, H., Nigussie, Z., Masunaga, T., Tsunekawa, A. and Haregeweyn, N.: Acacia decurrens tree-based farming system for improving land restoration and income: a case study of farmers' practice in Northwestern Ethiopia. International Congress "Africa in Profile" (Poster). KU Leuven, Belgium (Dec., 2015)

ALEMU DAGNET SULTAN 平成 27 年度入学（主指導教員：恒川 篤史）

学会発表

国際学会

- 1) Sultan, D., Tsunekawa, A., Haregeweyn, N., Adgo, E., Tsubo, M., Meshesha, D.*, Masunaga, T., Aklog, D. and Ebabu, K.: Curve number and runoff coefficients for different soil and water conservation treatments on semi-humid tropical highlands, Blue Nile basin, Ethiopia. Tropical lakes in a changing environment: water, land, biology, climate and humans conference (Poster presentation), Bahir Dar, Ethiopia (Sep., 2015)

沖田総一郎 (Okida, Soichiro) 平成 27 年度入学（主指導教員：山中 典和）

公表論文

学会誌等

- 1) 沖田総一郎・半澤綾菜・坂口未紗・井上美那・山本福壽・山中典和・岩永史子：模擬海水に水没後の土壌の冠水環境がヌマスギ (*Taxodium distichum* (L.)Rich.) とクロマツ (*Pinus thumbergii* Parl.) 苗木の生存と成長におよぼす影響. 日本緑化工学会誌, **41**(1): 67-72 (2015 年 8 月)
- 2) 半澤綾菜・沖田総一郎・坂口未紗・立石麻紀子・山本福壽・岩永史子：沼沢地に植栽されたヌマスギ (*Taxodium distichum*) の成長, 構造および冠水適応能. 日本緑化工学会誌, **41**(1): 62-66 (2015 年 8 月)

NGUYEN THI THU TRANG 平成 27 年度入学（主指導教員：山本 定博）

学会発表

国内学会

- 1) THUTRANG NGUYENTHI・青目弘子・中野恵文・竹内義章・馬場貴志・藤山英保：水稲栽培におけるリサイクルリン資材の有効性, 日本土壤肥料学会(京都)講演要旨集, p. 142 (2015年9月)

その他(特筆すべき事項)

- 1) 日本土壤肥料学会(京都)ポスター賞受賞(2015年9月)

金剛 穂波(Kongo, Honami) 平成27年度入学(主指導教員:山本 定博)

公表論文

その他

- 1) Sano, S, Kongo, H. and Uchiyama, T.: Characteristics of man-made soils of greenhouse fields in urban areas, Osaka Prefecture, Japan. Soil Sci. Plant Nutr., **61**: 123-134 (Jul., 2015)

学会発表

国内学会

- 1) 佐野修司*・長岡一成・須賀有子・小坂吉則・森岡こころ・山崎基嘉・金剛穂波・内山知二：剪定屑堆肥の施用による施設造成土壌の短期間での微生物性変化。(ポスター) 日本土壤微生物学会(茨城県つくば市)(2015年5月)
- 2) 佐野修司*・山崎基嘉・小坂吉則・森岡こころ・松本裕実・山盛詳子・中川瑞貴・鈴木真実・金剛穂波・内山知二：施設栽培のシュンギク葉に発生した紫斑点症(仮称)の原因究明。(ポスター)(京都府京都市)(2015年9月)
- 3) 金剛穂波*・佐野修司・内山知二：石灰窒素肥料を用いた全量基肥栽培がキャベツの収量, 土壌の化学性に及ぼす影響。(ポスター) 土肥要旨集, **61**: 141 (京都府京都市)(2015年9月)
- 4) 金剛穂波*・佐野修司：繊維状竹破砕物の施用方法がコマツナ幼植物の生育と土壌の形態別窒素に及ぼす影響。(口頭発表) 土肥関西支部会要旨集, **29** (香川県香川市)(2015年12月)

その他(特筆すべき事項)

- 1) 日本土壤肥料学会関西支部講演会優秀発表賞(2015年12月11日)

LIU JIAQI 平成27年度入学(主指導教員:木村 玲二)

学会発表

国内学会

- 1) 劉佳啓*・木村玲二：飛砂実験のための簡易風洞の設計(口頭). 2015年度日本農業気象学会中国四国支部大会(香川県善通寺市)(2015年12月)
- 2) 劉佳啓*・木村玲二：飛砂実験のための簡易風洞の特性(ポスター). 日本農業気象学会2016年全国大会(岡山県岡山市)(2016年3月)

その他(特筆すべき事項)

- 1) 日本農業気象学会2016年全国大会優秀ポスター賞(2016年3月16日)

HASSAN MOHAMED FAHMY ABDEL BAKI 平成27年度10月入学(主指導教員:藤巻 晴行)

FENTA AYELE ALMAW 平成 27 年度 10 月入学（主指導教員：安田 裕）

MALAMBANE GOITSEONE 平成 27 年度 10 月入学（主指導教員：明石 欣也）

EDET, OFFIONG UKPONG 平成 27 年度 10 月入学（主指導教員：辻本 壽）

【島根大学】

金 多慧 (Kim, Da Hye) 平成 25 年度入学, 平成 28 年 3 月修了（主指導教員：一戸 俊義）

公表論文

学会誌等

- 1) Kim, D., Ichinohe, T., Choi, K., Oda, S., Hagino, A. and Song, S.: Relationship between nutrient supply to muscle and adipose tissues and nitrogen retention in growing wethers fed forage based diets with different forage sources. *Journal of Korean Society of Grassland and Forage Science*, **35**: 238-244 (Sep., 2015)
- 2) Kim, D., Choi, K., Ichinohe, T. and Song, S.: Effects of different roughage sources and feeding levels on adipogenesis of ovine adipocytes. *Animal Science Journal*, **86**: 943-951 (Nov., 2015)
- 3) Kim, D., Choi, K., Song, S. and Ichinohe, T.: Effects of grass forage species and long term period of low quality forage diet feeding on growth performance, nutrient utilization and microbial nitrogen yield in growing wether lambs. *Animal Science Journal*, **87**: 202-208 (Feb., 2016)

学会発表

国内学会

- 1) 金多慧*・崔基春・小田伸一・萩野顕彦・岡田太・宋相憲・一戸俊義：粗飼料主体の飼料を給与した育成メンヨウにおける窒素蓄積と組織への栄養素供給量との関連（口頭）.第 65 回 関西畜産学会大会（愛媛県松山市）（2015 年 9 月）

MARQUES FONG JUAN DAMIAN 平成 25 年度入学（主指導教員：増永 二之）

公表論文

学会誌等

- 1) Marques, F. J. D., Masunaga, T.* and Sato, K.: Control of Micronutrients Availability in Soil and Concentration in Rice Grain through Field Water Management. *Journal of Agricultural Science*, **7(5)**: 163-174, doi:10.5539/jas.v7n5p163 (May, 2015)
- 2) Marques, F. J. D., Masunaga, T.* and Sato, K.: Assessment of the influence of water management on yield component and morphological behavior of rice at post-heading stage. *Paddy and Water Environment*, **14**: 211-220 (Jan., 2016)

ADHA FATMAH SIREGAR 平成 26 年度入学（主指導教員：増永 二之）

学会発表

国内学会

- 1) Siregar, A.F*, Sipahutar, I.A., Husnain., Sato,K. and Masunaga, T.: Improving Lodging Tolerance on Rice Plant by Water Management Treatments in Central Java Indonesia (Oral) 第 61 回日本土壤肥料学会（京都市）（2015 年 9 月）

LINCA ANGGRIA 平成 26 年度入学（主指導教員：増永 二之）

学会発表

国内学会

- 1) Linca, A., Husnain, Kuniaki, S. and Masunaga, T.: Characterization of possible Si fertilizer sources in Indonesia (Oral), 第 61 回日本土壤肥料学会, 京都市 (2015 年 9 月)

KUNDU CAROLINE AGAMALA 平成 27 年度入学（主指導教員：増永 二之）

学会発表

国内学会

- 1) Kundu, C. A.*, Ishii, M., Sato, K., Masunaga, T., Yamauchi, A. and Makihara, D.: Soil Chemical Characteristics of Paddy Fields in Kenya: Distribution of pH, EC and Exchangeable Cations in Mwea Irrigation Scheme (Oral), 第 61 回日本土壤肥料学会, 京都市 (2015 年 9 月)

第3章 学位授与者

1 入学者に対する在学3年間の学位授与者数及び学位取得率 (平成27年度の状況)

専攻	連合講座	平成25年4月 入学者数	在学3年間の 学位取得者数	学位取得率 (%)
生物生産科学	農業生産学	2 (4)	1 (2)	50
	森林資源学	2 (0)	0 (0)	0
	経済・経営学	2 (0)	2 (0)	100
	計	6 (4)	3 (2)	50
生物環境科学	生産環境工学	0 (0)	0 (0)	0
	環境科学	2 (2)	1 (1)	50
	計	2 (2)	1 (1)	50
生物資源科学	生物機能科学	1 (2)	1 (1)	67
	資源利用化学	2 (0)	1 (0)	50
	計	3 (2)	2 (1)	60
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	4 (0)	1 (0)	25
	計	4 (0)	1 (0)	25
合計		15 (8)	7 (4)	48

(注) ・ () は24年10月入学者を外数で示す。

- ・ 生物機能科学には、名称変更前の資源生物科学の学生数も含む。
- ・ 早期修了者を含む。

2 課程修了者（17名）

専攻	講座	入学年度	申請者氏名	論文題目	指導教員	
生物生産学	農業生産学	24後	MD. FUAD MONDAL	RECOVERY FROM AUTOTOXICITY IN LISIANTHUS AND STRAWBERRY BY AMINO ACIDS APPLICATION (アミノ酸施与によるトルコギキョウおよびイチゴの自家中毒回避)	浅尾 俊樹 松本 敏一 田村 文男	
		24後	MOSTAFA ABDELWAHEDEIN NOURELDEIN ABDELRAHMAN	Biochemical Analyses of Functional Metabolites in <i>Allium</i> : Prospective Strategies for Improving Crop Stress Tolerance (ネギ属における機能性代謝物の生化学分析：作物ストレス耐性の改変に関する将来戦略)	執行 正義 山内 直樹 辻本 壽	
		24	平田 翔	Evaluation of Genetic Diversity in Worldwide Germplasm Collection of Garlic (<i>Allium sativum</i> L.) (ニンニクの世界的遺伝資源コレクションにおける遺伝的多様性の評価)	執行 正義 山内 直樹 小林 伸雄	
		25	鎌田英一郎	穂肥を増施した後期重点型施肥栽培による裸麦の多収化栽培技術の確立 (Establishment of a high yielding cultivation technique in barley by emphasis on later stage fertilization that increased topdressing at spike formation stage)	高橋 肇 荒木 英樹 中田 昇	
	森林資源学	23	都日 娜	景観指数を用いた都市および近郊地域の緑被地景観の定量的評価に関する研究 (Study on the Quantitative Evaluation of Green Spaces in the Urban and Suburban Areas using Landscape Metrics)	長澤 良太 日置 佳之 小池浩一郎	
	経済・経営学	22	田立 紀子	地域燃料資源の有効活用に関する研究—地域内の廃食油を原料としたバイオディーゼル燃料生産活動に関する考察— (Study for the Effective Use of Local Fuel Resources—A Study on the Production of Biodiesel Fuel from Waste Edible Oil Discharged in a Region—)	能美 誠 古塚 秀夫 伊藤 勝久	
		25	TOLNO EMMANUEL	ECONOMIC ANALYSIS OF INCOME EFFECTS, RESOURCE-USE EFFICIENCY AND INSTITUTIONAL ARRANGEMENTS IN THE HORTICULTURE SECTOR IN GUINEA (ギニアにおける園芸作部門の所得効果、資源利用効率と生産者組織に関する経済分析)	小林 一 古塚 秀夫 井上 憲一	
		25	MICHAEL FESSEHA YOHANNES	Demand System Analysis of Coffee in the Japanese Households (日本の家計におけるコーヒーの需要システム分析)	松田 敏信 安延 久美 内田 和義	
	生物環境科学	環境科学	24後	YI RUI QIN	The synthetic study of inner-core oligosaccharides of lipopoly- and lipooligosaccharides produced by gram-negative bacteria: Construction of 4,5-branched 3-deoxy-D-manno-oct-2-ulosonic acid structure (グラム陰性菌が産生するリポ多糖およびリポオリゴ糖の内部コア糖鎖の合成研究：4,5で分岐した3-デオキシ-D-マンノオクト-2-ウロン酸の構築)	一柳 剛 石原 亨 赤壁 善彦
			25	SUTTHIKHAMPA SURASIT	Evolution of multigene families for lignin degradation in <i>Pholiota microspora</i> (<i>Pholiota microspora</i> でのリグニン分解のための多重遺伝子ファミリーの進化)	會見 忠則 山口 武視 阿座上弘行

生物資源科学	生物機能科学	24	丸山麻理弥	昆虫の水分管理機構に関する細胞生理学的研究 —昆虫アクアポリンファミリーの多機能性の解明— (New insights into aquaporin physiology in insect cells)	東 政明 中 秀司 小林 淳
		24後	玉木 峻	Functional analysis of enzymes involved in thiol-based redox metabolism in <i>Euglena gracilis</i> (ユーグレナにおけるチオールレドックス代謝に関する酵素の機能解析)	石川 孝博 澤 嘉弘 渡辺 文雄
	25後	LIU GENYAN	Synthesis and pharmacological characterization of 3-isothiazolols and 3-isoxazolols as competitive antagonists of insect GABA receptors (昆虫GABA受容体の競合的アンタゴニストとしての3-イソチアゾロール類および3-イソキサゾロール類の合成と薬理学的特性)	尾添 嘉久 古田賢次郎 中島 廣光	
	資源利用化学	24	竹澤 圭太	A Thermodynamic Study on the Inclusion Equilibria of Guanidino Modified Cyclodextrins with <i>p</i> -Nitrophenolate Ion (グアニジノ基修飾シクロデキストリン誘導体と <i>p</i> -ニトロフェノレートイオンの包接平衡に関する熱力学的研究)	山本 達之 吉清 恵介 一柳 剛
25		TENG FEI	Characterization of Vitamin B ₁₂ Compounds in Food Ingredients Used in Chinese Cuisine (中華食材に含まれるビタミンB ₁₂ 化合物の特徴の解明)	渡邊 文雄 藪田 行哲 石川 孝博	
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	23	李 睿	Agricultural drought management in Northeast China and Inner Mongolia (中国東北部と内モンゴルにおける農業干ばつの管理)	恒川 篤史 山中 典和 荆木 康臣
		25	KIM DA HYE	Feeding Value Evaluation of Growing and Fattening Diets <i>by in vivo</i> and <i>in vitro</i> Methods (<i>In vivo</i> および <i>in vitro</i> 法によるメンヨウの育成・肥育期における給与飼料評価)	一戸 俊義 宋 相憲 細井 栄嗣

3 論文提出者(4名)

学位記番号	申請者氏名	論文題目	学位論文審査委員会主査
乙第118号	彌永このみ	日本産アンズタケ目菌類の分類学的研究 (Taxonomic study of the order Cantharellales (Basidiomycota) in Japan)	前川二太郎
乙第119号	鶴田 博人	キュウリの節水栽培に関する研究—灌水量削減が収量、養分吸収および果実のアスコルビン酸集積に及ぼす影響— (Study of water-saving cultivation of cucumber—Effect of reduced irrigation on yield, nutrient absorption and ascorbate accumulation in fruits—)	山本 定博
乙第120号	松本 裕史	タンザニア連合共和国におけるナンヨウアブラギリ (<i>Jatropha curcas</i> L.) の持続可能な栽培管理に関する研究 (The study on establishment of sustainable cultivating system in <i>Jatropha curcas</i> L. in Tanzania)	山本 定博
乙第121号	高尾 和実	<i>Alternaria alternata</i> 植物病原菌における機能ゲノミクスを基盤とした病原性発現機構の解析 (Studies on molecular mechanisms of pathogenicity of <i>Alternaria alternata</i> plant pathogens based on functional genomics)	児玉基一朗

第4章 就職状況（学位取得者の就職先）

1 課程修了者（17名）

専攻	講座	入学年度	氏名	就職先
生物生産科学	農業生産学	24後	MD. FUAD MONDAL	Sylhet Agricultural University Assistant Professor
		24後	MOSTAFA ABDELWAHED NOURELDEIN ABDELRAHMAN	東北大学 ポスドク
		24	平田 翔	中原採種場（株）ブリーダー
		25	鎌田英一郎	長崎大学 助教
	森林資源学	23	都日 娜	未定
	経済・経営学	22	田立 紀子	山口大学 特命専門職員 女性研究者支援室 コーディネータ
		25	TOLNO EMMANUEL	鳥取大学農学部 協力研究者
		25	MICHAEL FESSEHA YOHANNES	未定
	生物環境学	環境科学	24後	YI RUI QIN
25			SUTTHIKHAMPA SURASIT	Ubon Ratchathani University Lecturer
生物資源科学	生物機能科学	24	丸山麻理弥	鳥取大学農学部 プロジェクト研究員
		24後	玉木 峻	島根大学 博士研究員
		25後	LIU GENYAN	武漢工程大学 特聘教授
	資源学利用	24	竹澤 圭太	神戸天然物化学株式会社 出雲工場 スタッフ職
		25	TENG FEI	未定
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	23	李 睿	Earth Observation for Water Cycle (EOWater) State Key Laboratory of Remote Sensing Sciences Institute of Remote Sensing and Digital Earth, Chinese Academy of Sciences
		25	KIM DA HYE	東北大学農学部 研究員

2 論文提出者（4名）

学位記番号	氏名	就職先
乙第118号	彌永このみ	イーピーエス株式会社
乙第119号	鶴田 博人	鳥取県農業試験場
乙第120号	松本 裕史	クミアイ化学工業株式会社生物科学研究所研究員
乙第121号	高尾 和実	株式会社ファンケル生産技術職品質管理

第5章 共通セミナール（日程表）

平成27（2015）年度前期連合一般ゼミナール日程表

会場 各連合大学院及び構成大学の遠隔講義システム設置室

実施日程	8:30	9:00	9:10	10:40	10:50	12:20	13:20	14:50	15:00	16:30	17:00
	準備 30分	挨拶等 10分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	昼休み 60分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)		
6月17日 (水)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶 連絡 事項等	Lecture1 「日本の食料自給率と世界の食料問題との関係」 古塚 秀夫 (鳥取大学農学部教授) Relation between a food self-sufficiency ratio of Japan and the food problem in the world FURUTSUKA, Hideo (Tottori University)		Lecture2 「日本のイチゴ生産の現状と問題点」 柳 智博 (香川大学農学部教授) Present situation and problems of strawberry production in Japan YANAGI, Tomohiro (Kagawa University)		Lecture3 「鳥骨鶏の分子生物学」 和田 康彦 (佐賀大学農学部教授) Molecular biology of Silky fowl WADA, Yasuhiko (Saga University)		Lecture4 「野生動物や動物園動物の繁殖と人工繁殖技術に関する最新の知見」 土井 守 (岐阜大学応用生物科学部教授) Current topics relating to the advanced animal reproduction and artificial reproductive techniques in wild and zoo animals DOI, Osamu (Gifu University)		
6月18日 (木)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡 事項等	Lecture5 「農業への水の再生・再利用」 治多 伸介 (愛媛大学農学部教授) Water Reclamation and Reuse for Agriculture HARUTA, Shinsuke (Ehime University)		Lecture6 「家畜の生産と分子栄養学」 佐藤 幹 (東京農工大学農学部教授) Animal production and molecular nutrition SATO, Kan (Tokyo University of Agriculture and Technology)		Lecture7 「極限環境微生物・好塩性タンパク質の特徴と利用」 石橋 松二郎 (鹿児島大学農学部教授) Extremophiles: Properties of halophilic protein and their application. ISHIBASHI, Matsujiro (Kagoshima University)		Lecture8 「農業史の意義と今後の社会の展望」 伊丹 一浩 (茨城大学農学部准教授) The meaning of agricultural history study and the perspective of future society ITAMI, Kazuhiro (Ibaraki University)		
6月19日 (金)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡 事項等	Lecture9 「野生動物と押し合い、へし合いしながら暮らしていくために～多様な主体間の協働の構築とクマ被害対策～」 山本 信次 (岩手大学農学部准教授) Wildlife management based on the collaboration of the various actors. A Case Study of Japanese black bear damage in rural village. YAMAMOTO, Shinji (Iwate University)		Lecture10 「木質資源の有効利活用技術」 小島 陽一 (静岡大学農学部准教授) Effective use of wooden resources KOJIMA, Yoichi (Shizuoka University)		Lecture11 「生命分子分光学」 山本 達之 (島根大学生物資源科学部教授) The application of spectroscopy on life science YAMAMOTO, Tatsuyuki (Shimane University)		Lecture12 「リンゴ果実におけるマイコプラズマ現象の化学」 橋本 勝 (弘前大学農学生命科学部教授) Chemistry of a mycoparasitism on apple fruits HASHIMOTO, Masaru (Hiroshima University)		

平成27(2015)年度後期連合一般ゼミナール(英語) 日程表

会場 各連合大学院及び構成大学の遠隔講義システム設置室

実施日程	準備 30分	9:00	9:10	10:40	10:50	12:20	13:20	14:50	15:00	16:30	17:00
		挨拶等 10分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	昼休み 60分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)		
2015.11.18 (Wed) 11月18日 (水)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶 連絡 事項等	Lecture 1 Molecular phylogenetic analysis HORIIKE, Tokumasa (Shizuoka University) 「分子系統解析」 (静岡大学院総合科学技術研究科准教授) 堀池 徳祐	休憩 10分	Lecture 2 Biodiversity in agricultural landscape and its functions SAITO, Satoru (Yamagata University) 「農地の生物多様性とその役割」 佐藤 智 (山形大学農学部准教授)	昼休み 60分	Lecture 3 Various Function of Enzymes Related to Amino Acid/Peptide and Their Application to Industry ARIMA, Jiro (Tohori University) 「アミノ酸・ペプチド関連酵素に備わる様々な機能とその産業応用への試み」 (鳥取大学農学部准教授)	休憩 10分	Lecture 4 Spatial and Dynamic Modeling in Forest Resource Management KONOSHIMA, Masashi (University of the Ryukyus) 「森林資源管理における時空間モデリング」 木島 真志 (琉球大学農学部准教授)		
2015.11.19 (Thu) 11月19日 (木)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶 連絡 事項等	Lecture 5 Study on the functionality of food SHIMAMURA, Tomoko (Kochi University) 「食品の機能性に関する研究」 島村 智子 (高知大学農学部准教授)	休憩 10分	Lecture 6 The development of dairy industry in Malawi: problems and prospects TETSUKA, Masafumi (Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine) 「マラウイにおける酪農業の発展:課題と展望」 手塚 雅文 (帯広畜産大学畜産生命科学研究部門教授)	昼休み 60分	Lecture 7 Carbohydrates and carbohydrate-active enzymes KONNO, Naotake (Utsunomiya University) 「糖質と糖質関連酵素」 金野 尚武 (宇都宮大学農学部准教授)	休憩 10分	Lecture 8 Conservation and management of plant genetic resources MATSUMOTO, Toshikazu (Shimane University) 「植物遺伝資源管理論」 松本 敏一 (高根大学生物資源科学部准教授)		
2015.11.20 (Fri) 11月20日 (金)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶 連絡 事項等	Lecture 9 The Battle against Plant Viruses NATSUAKI, Tomohide (Utsunomiya University) 「植物ウイルスとの闘い」 夏秋 知英 (宇都宮大学農学部教授)	休憩 10分	Lecture 10 Development of Aquafeeds with Low Fishmeal Contents KOSHIO, Shunsuke (Kagoshima University) 「低魚粉含有養魚飼料の開発」 越塩 俊介 (鹿児島大学水産学部教授)	昼休み 60分	Lecture 11 Introduction to woody biomass science ITO, Kazutaka (Ehime University) 「木質バイオマス科学への招待」 伊藤 和貴 (愛媛大学大学院連合農学研究科副研究科長・教授)	休憩 10分	Lecture 12 Molecular probes for elucidating the biological function of glycoconjugates ANDO, Hiromune (Gifu University) 「複合糖質の機能詳解のための分子プローブ」 安藤 弘宗 (岐阜大学応用生物科学部准教授)		

平成27年度各専攻特論 開講表

開講日	時間	番号	講義題目及び講師名		備考
7月28日 (火)	9:25-9:30			「研究科長挨拶」	
	9:30 ～ 11:45	Lecture 1-1	生物生産科学特論Ⅱ	Advanced Bioproduction Science II 「Fieldwork methodology in farm management studies」 (農業経営研究におけるフィールドワークの方法) 安延 久美 Kumi YASUNOBU (鳥取大学)	各135分 英語 English
	12:45 ～ 15:00	Lecture 1-2		「Japan's Agriculture Development」 (日本の農業開発) 執行 正義 Masayoshi SHIGYO (山口大学)	
	15:00 ～ 17:15	Lecture 1-3		「Bioenergy in monsoon Asia. Renewables for Heat and Cool.」 (モンスーンアジアにおけるバイオエネルギー熱、冷熱のための再生可能エネルギー) 小池 浩一郎 Koichiro KOIKE (島根大学)	
7月29日 (水)	9:30 ～ 11:45	Lecture 2-1	生物環境科学特論Ⅰ	Advanced Bioenvironmental Science I 「植物の生体防御に関わる二次代謝」 (Secondary metabolism involved in defense mechanism in plants) 石原 亨 Atsushi ISHIHARA (鳥取大学)	各135分 日本語 Japanese
	12:45 ～ 15:00	Lecture 2-2		「植物の病気と防除」 (Plant disease and its control) 上野 誠 Makoto UENO (島根大学)	
	15:00 ～ 17:15	Lecture 2-3		「水利施設のストックマネジメントのための機能評価」 (Function evaluation of irrigation facilities for asset management) 長束 勇 Isamu NATSUKA (島根大学)	
7月30日 (木)	9:30 ～ 11:45	Lecture 3-1	生物資源科学特論Ⅱ	Advanced Biosources Science II 「Vitamin B12-containing plant-derived foods for vegetarians」 (菜食主義者のためのビタミンB12を含む植物性食品について) 渡辺 文雄 Fumio WATANABE (鳥取大学)	各135分 英語 English
	12:45 ～ 15:00	Lecture 3-2		「Yeasts that contribute human life and life science」 (人類の生活と生命科学に貢献する酵母) 川向 誠 Makoto KAWAMUKAI (島根大学)	
	15:00 ～ 17:15	Lecture 3-3		「Biofilm removal and control」 (バイオフィルムの除去とコントロール) 阿座上 弘行 Hiroyuki AZAKAMI (山口大学)	
7月31日 (金)	9:30 ～ 11:45	Lecture 4-1	国際乾燥地科学特論Ⅰ	Advanced Global Arid Land Science I 「乾燥地の気象」 (Meteorology in Arid regions) 木村 玲二 Reiji KIMURA (鳥取大学)	各135分 日本語 Japanese
	12:45 ～ 15:00	Lecture 4-2		「世界の主要な土壌分類体系における乾燥地土壌の位置づけと特徴」 (Classification and characteristics of dryland soils in the two major international soil classification systems, US soil taxonomy and World Reference Base for Soil Resources (WRB)) 山本 定博 Sadahiro YAMAMOTO (鳥取大学)	
	15:00 ～ 17:15	Lecture 4-3		「自然生態系の機能を利用した環境浄化技術」 (Environmental purification technology using natural ecosystem functions) 佐藤 邦明 Kuniaki SATO (島根大学)	

鳥取大学大学院連合農学研究科

場 所 鳥取大学農学部 1号館 1F 連大セミナー室
島根大学生物資源科学部 2号館 6F 視聴覚室
山口大学農学部 4F 第1講義室

第2部 教員の研究活動

第2部 教員の研究活動

第1章 公表論文

1 生物生産科学専攻

1) 農業生産学連合講座

【鳥取大学】

著書

- 1) 桐村聡子・近藤謙介: 収穫前の施肥停止による水耕ミズナの品質向上 (農業技術大系. 土壌施肥編第6-1巻. ISBN: 978-4-540-99355-8). 農山漁村文化協会, 東京, 追録第27号, 技術124, pp. 54-60 (2016年3月)

論文

- 1) Galarza, L., Akagi, Y., Takao, K., Kim, C.S., Maekawa, N., Itai, A., Santos, E. and Kodama, M.: Characterization of *Trichoderma* species isolated in Ecuador and their antagonistic activities against phytopathogenic fungi from Ecuador and Japan. *Journal of General Plant Pathology*, **81**: 201-210 (May, 2015)
- 2) Takemura, Y., Kuroki, K., Shida, Y., Araki, S., Takeuchi, Y., Tanaka, K., Ishige, T., Yajima, S. and Tamura, F.: Comparative transcriptome analysis of the less-dormant Taiwanese pear and the dormant Japanese pear during winter season. *PLoS ONE*, **10**: e0139595 (Jun., 2015)
- 3) Ahmed, I.A.M., Eltayeb, M.E., Mori, N., Arima, J., Tanaka, H., Taniguchi, K. and Yamanaka, N.: Proteomic analysis of homocholine catabolic pathway in *Pseudomonas* sp. strain A9. *Process Biochemistry*, **50**: 1735-1747 (Jul., 2015)
- 4) 桐村聡子・近藤謙介・中田昇・山口武視・和島孝浩・松添直隆: 収穫前における肥料成分の補給停止が水耕ミズナの生育, 硝酸イオン濃度, および全糖含量に及ぼす影響. *植物環境工学*, **27**: 144-151 (2015年9月)
- 5) Takemura, Y., Kuroki, K., Katou, M., Kishimoto, M., Tsuji, W., Nishihara, E. and Tamura, F.: Gene expression changes triggered by end-of-day far-red light treatment on early developmental stages of *Eustoma grandiflorum* (Raf.) Shinn. *Scientific Reports*, **5**: 17864 (Dec., 2015)
- 6) 田中裕之・江草真由美・竹村圭弘・岩田侑香里・永江知音・伊福伸介・上中弘典: キチンナノファイバー添加小麦粉による製パン性の向上. *日本食品科学工学会誌*, **63**: 18-24 (2016年1月)
- 7) Tuyen, D.D., Chen, H., Vu, H.T.T., Hamwieh, A., Yamada, T., Sato, T., Yan, Y., Cong, H., Shono, M., Suenaga, K. and Xu, D.: *Ncl* synchronously regulates Na^+ , K^+ , and Cl^- in soybean and greatly increases the grain yield in saline field conditions. *Scientific Reports*, **6**: 19147 (Jan., 2016)
- 8) Sutthikhampa, S., Kawai, Y., Hayashi, M., Boonlue, S., Shimomura, N., Yamaguchi, T. and Aimi, T.: Relationship between fruiting body development and phenol oxidase gene

- expression in *Pholiota microspora*. Mushroom Science and Biotechnology, **23**: 151-158 (Jan., 2016)
- 9) Sutthikhampa, S., Kawai, Y., Hayashi, M., Boonlue, S., Shimomura, N., Yamaguchi, T. and Aimi, T.: Only one major manganese peroxidase (MnP) is predominantly expressed for mycelial growth of *Pholiota microspora* on sawdust medium. Mushroom Science and Biotechnology, **23**: 159-165 (Jan., 2016)
 - 10) Tagle, A.G., Fujita, D., Ebron, L.A., Telebanco-Yanoria, M. J., Sasaki, K., Ishimaru, T., Fukuta, Y. and Kobayashi, N.: Characterization of QTL for unique agronomic traits of new-plant-type rice varieties using introgression lines of IR 64. The Crop Journal, **4**: 12-20 (Feb., 2016)
 - 11) Li, J., Lu, L., Jia, Y., Wang, Q., Fukuta, Y. and Li, C.: Characterization of field isolates of *Magnaporthe oryzae* with mating type, DNA fingerprinting, and pathogenicity assays. Plant Disease, **100**: 298-303 (Mar., 2016)

その他

- 1) 福田善通：世界の農業は今—世界のいもち病とその研究—農業, **1608**: 52-56 (2016年1月)

【島根大学】

著 書

- 1) Mondal, Md. F., Asaduzzaman, Md. and Asao, T.: Adverse effects of allelopathy from legume crops and its possible avoidance, pp. 1-7, ISSN Online: 2158-2750, American Journal of Plant Sciences (Apr., 2015)
- 2) 江角智也：花芽形成と結果習性. 果樹園芸学(米森敬三編, ISBN: 978-1-254-42031-9). 朝倉書店, 東京, pp. 92-105 (2015年4月)
- 3) 松本真悟：土壌養分の種類・形態とその移動性・可給性. 土のひみつ, 日本土壌肥料学会「土のひみつ」編集グループ編, ISBN: 978-4-254-40023-6, 朝倉書店, 東京, pp. 60-63 (2015年9月)
- 4) 板村裕之：西条柿の悪酔い防止効果と六次産業化の試み(総説). 食品と開発(ISSN: 0911-3932), UBMメディア(株), 東京, **51**: 84-86 (2016年3月)
- 5) 浅尾俊樹：低カリウムイチゴ生産の試み. 機能性植物が秘めるビジネスチャンス. pp. 183-191, ISBN: 978-4-86502-103-5, 情報機構 (2016年3月)

論 文

- 1) Matsumoto, T., Ishihara, A., Abe N., Sakurai T., Mishima, S. and Akihiro, T.: Effects of curtain treatment with white reflection sheets in improving berry coloration and wine quality in 'Cabernet Sauvignon' grapes. Food Preservation Science, **41**: 117-212 (Jun., 2015)
- 2) Demasi, S., Caser, M., Kobayashi, N., Kurashige, Y. and Scariot, V.: Hydroponic screening for iron deficiency tolerance in evergreen azaleas. Notulae Botanicae Horti Agrobotanici Cluj-Napoca, **43**: 210-213 (Jun., 2015)

- 3) Kobata, T., Shinonaga, M., Yoshida, H., Tomisaka, K. and Akai, K.: Stay-green trait assessment using the leaf incubation method to examine the maintenance of assimilation rates under high temperature conditions during the grain-filling period in rice plant. *Plant Production Science*, **18**: 254-266 (Jul., 2015)
- 4) Mondal, F.M., Asaduzzaman, M., Tanaka, H. and Asao, T.: Effects of amino acids on the growth and flowering of *Eustoma grandiflorum* under autotoxicity in closed hydroponic culture. *Scientia horticulturae*, **192**: 453-459 (Aug., 2015)
- 5) Maki, S., Hirai, Y., Niino, T. and Matsumoto, T.: Assessment of molecular genetic stability between long term cryopreserved and tissue cultured wasabi plants. *CryoLetters*, **36**: 318-324 (Nov., 2015)
- 6) Matsumoto, S., Kasuga, J., Taiki, N., Makino, T. and Arai, T.: Inhibition of arsenic accumulation in Japanese rice by the application of iron and silicate materials. *Catena*, **135**: 328-335 (Nov., 2015)
- 7) 安田登・山根智子・土倉まゆみ・土本浩之・広瀬佳彦・磯上憲一・春日純子・山岸主門・松本真悟・門脇正行：収量，品質および収益を考慮した島根県の砂丘地でのサツマイモ品種‘ベニアズマ’の栽培における最適窒素施肥量. 農業生産技術管理学会誌, **22**(3): 81-86 (2015年12月)
- 8) Tasaki, K., Nakatsuka, A., Cheon, K.S. and Kobayashi, N.: Inheritance of the narrow leaf mutation in traditional Japanese evergreen azaleas. *Euphytica*, **206**: 649-656 (Dec., 2015)
- 9) Nakatsuka, A., Hitomi, M., Tsuma, M., Ito, A., Mizuta, D. and Kobayashi, N.: Effect of anthocyanin profile and petal pH on flower coloration in evergreen azalea. *Acta Horticulturae*, **1104**: 357-361 (Dec., 2015)
- 10) Mitsui, T., Yamakawa, H. and Kobata, T.: Molecular physiological aspects of chalking mechanism in rice grains under high-temperature stress. *Plant Production Science* **19**: 22-29 (Jan., 2016)
- 11) 榎野康行・小室正夫・倉橋孝夫・松本真悟・内田吉紀・松本敏一：‘デラウェア’休眠芽の発芽促進に及ぼす高温処理の効果. 園芸学研究, **15**(1): 53-58 (2016年1月)
- 12) Matsumoto, S., Kasuga, J., Makino, T. and Arai, T.: Evaluation of the effects of application of iron materials on the accumulation and speciation of arsenic in rice grain grown on uncontaminated soil with relatively high levels of arsenic. *Environmental and Experimental Botany*, **125**: 42-51 (Feb., 2016)

その他

- 1) 江角智也・渡辺諄・小杉友華菜・大畑和也・板村裕之：カキ‘西条’における雄花の発見. 島根大学生物資源科学部研究報告, **20**: 3-8 (2015年9月)
- 2) 小林伸雄：地域特産植物資源の利活用—隠岐の花 トウテイランの特性評価と品種改良—, 島根大学生物資源科学部ミッション研究課題成果報告書 2015, pp. 57 (2016年3月)
- 3) 松本敏一：県内農作物を用いた加工品開発. 地(知)の拠点整備事業 平成26年度農林水産業の六次産業化プロジェクトセンター報告書, pp. 45-49 (2016年3月)

- 4) 松本敏一：「浜田市における農産物を利用した特産品開発に関する研究」島根大学生物資源科学部ミッション研究課題成果報告書，2015: 2（2016年3月）

【山口大学】

著 書

- 1) 山本晴彦：帝国日本の気象観測ネットワークⅡ 陸軍気象部 (ISBN:978-4897323299). 農林統計出版，東京，531p. (2015年9月)
- 2) 山本晴彦：風水害と観光客の増大による世界遺産の劣化と保全—紀伊山地の霊場と参詣道を事例として (ISBN:978-4897323404). 農林統計出版，東京，pp.1-201, pp.233-252 (2016年2月)

論 文

- 1) Sasaki, K., Nakahara, K., Tanaka, S., Shigyo, M. and Ito, S.: Genetic and pathogenic variability of *Fusarium oxysporum* f. sp. *cepae* isolated from onion and Welsh onion in Japan. *Phytopathology*, **105**: 525-532 (Apr., 2015)
- 2) Wako, T., Yamashita, K., Tsukazaki, H., Ohara, T., Kojima, A., Yaguchi, S., Shimazaki, S., Midorikawa, N., Sakai, T., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Screening and incorporation of rust resistance from *Allium cepa* into bunching onion (*Allium fistulosum*) via alien chromosome addition. *Genome*, **58**: 135-142 (Apr., 2015)
- 3) Sasaki, K., Nakahara, K., Shigyo, M., Tanaka, S. and Ito, S.: Detection and quantification of *Fusarium oxysporum* f. sp. *cepae* in onion plant. *Journal of General Plant Pathology*, **81**: 232-236 (May, 2015)
- 4) 高山 成・吉越 恆・山本晴彦・原田陽子：夏季の大都市における昼間最高・夜間最低気温に現れる都市内気温偏差の推定，日本建築学会環境系論文集，Vol.80, No.717, pp.1095-1104 (2015年9月)
- 5) Abdelrahman, M., Sawada, Y., Nakabayashi, R., Sato, S., Hirakawa, H., El-Sayed, M., Hirai, M.Y., Saito, K., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Integrating transcriptome and target metabolome variability in doubled haploids of *Allium cepa* for abiotic stress protection. *Molecular Breeding*, **35**: 195 (Oct., 2015)
- 6) Ariyanti, N.A., Hoa, V.Q., Khrustaleva, L.I., Hirata, S., Abdelrahman, M., Ito, S., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Production and characterization of alien chromosome addition lines in *Allium fistulosum* carrying extra chromosomes of *Allium roylei* using molecular and cytogenetic analyses. *Euphytica*, **206**: 343-355 (Nov., 2015)
- 7) 山本晴彦・野村和輝・坂本京子・渡邊薫乃・原田陽子：2015年9月10日に茨城県常総市で発生した洪水災害の特徴，自然災害科学，Vol.34, No.3, pp.171-187 (2015年12月)
- 8) 池尻明彦・高橋肇：ダイズ品種「サチユタカ」は7月上旬に播種しても6月中旬に播種したものに比べて百粒重が重く収穫指数が高くなることで減収しない。日本作物学会紀事，**85**: 10-15 (2016年1月)
- 9) Hirata, S., Abdelrahman, M., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Characteristics of chemical

components in genetic resources of garlic *Allium sativum* collected from all over the world. *Genetic Resources and Crop Evolution*, **63**: 35-45 (Jan., 2016)

- 10) 鎌田英一郎・高橋肇・池尻明彦・内山亜希・金子和彦・松永雅志・内田早耶香・荒木英樹・丹野研一：穂肥窒素の増施および重点化による後期重点型施肥栽培が裸麦の分けつの有効化に及ぼす影響. 日本作物学会紀事, **85**: 16-22 (2016年1月)

2) 森林資源学連合講座

【鳥取大学】

論文

- 1) Fujimoto, T. and Kimura, J.: Nonlinear mixed-effects models for the modeling the effects of growth rate on the transition of juvenile to mature wood in basic density in hinoki cypress (*Chamaecyparis obtusa*). *Global Advanced Research Journal of Agricultural Science*, **4**: 200-210 (Apr., 2015)
- 2) Fujimoto, T., Numa, T., Kobori, H. and Tsuchikawa, S.: Visualization of spatial distribution of moisture content and basic density using a near-infrared hyperspectral imaging method in sugi (*Cryptomeria japonica*). *International Wood Products Journal*, **6**: 46-48 (May, 2015)
- 3) Yayusman, L.F. and Nagasawa, R.: ALOS-Sensor data integration for the detection of smallholder's oil palm plantation in South Sumatra, Indonesia. システム農学, **31**(2): 27-40 (2015年5月)
- 4) 岡村怜美・山本福壽・西原英治・谷口武士・山中典和：塩ストレスがウラルカンゾウ (*Glycyrrhiza uralensis* Fischer ex Candolle) 1年生苗の成長と生理に及ぼす影響. 日本緑化工学会誌, **41**(1): 33-38 (2015年8月)
- 5) 山本福壽・藤原佳奈・谷口武士・毛恵平・山中典和：砂移動にともなう埋砂と退砂が小葉楊 (*Populus simonii*) の生理・成長に及ぼす影響. 日本緑化工学会誌, **41**(1): 39-44 (2015年8月)
- 6) 和泉瑤伽・谷口武士・毛恵平・山本福壽・山中典和：中国内蒙古自治区クブチ砂漠に植栽されたヤナギ科樹木3種の生存, 生理および成長. 日本緑化工学会誌, **41**(1): 45-50 (2015年8月)
- 7) 沖田総一郎・半澤綾菜・坂口美紗・井上美那・山本福壽・山中典和・岩永史子：模擬海水に水没後の土壌の冠水環境がヌマスギ (*Taxodium distichum* (L.) Rich.) とクロマツ (*Pinus thumbergii* Parl.) 苗木の生存と成長におよぼす影響. 日本緑化工学会誌, **41**(1): 67-72 (2015年8月)
- 8) 井上美那・香口成美・立石麻紀子・谷口武士・山本福壽・山中典和：海水による土壌冠水が東日本太平洋沿岸域に分布する木本植物17種の生育に及ぼす影響. 日本緑化工学会誌, **41**(1): 73-78 (2015年8月)
- 9) Nagasawa, R., Fukushima, A., Yayusman, L.F. and Novresiandi, D.A.: Urban expansion and its influences on the suburban land use change in Jakarta Metropolitan Region (JABODETABEK), *Urban Planning and Design Research*, **3**: 7-16 (Oct., 2015)
- 10) Novresiandi, D.A. and Nagasawa, R.: Tropical peatland identification using ALOS PALSAR

imageries – A case study in Kahayan River catchment area, Central Kalimantan, Indonesia,
システム農学, **32**(1): 1-9 (2016年1月)

その他

- 1) 日置佳之：南バハ・カリフォルニア州の自然保護区とエコツーリズム—鳥取大学メキシコ海外実践教育プログラム—, 日本緑化工学会誌, **40**: 540-546 (2015年5月)
- 2) 日置佳之：緑道とは？, グリーンエイジ, **501**: 27-29 (2015年9月)
- 3) 日置佳之：中小河川を利用した緑道, グリーンエイジ, **503**: 30-33 (2015年11月)
- 4) 日置佳之：フランス・ストラスブールの緑道, グリーンエイジ, **504**: 29-32 (2015年12月)
- 5) 日置佳之：デンマーク・コペンハーゲンの緑道, グリーンエイジ, **505**: 28-31 (2016年1月)
- 6) 日置佳之：ムスカウ公園とその周辺の緑道, グリーンエイジ, **506**: 26-29 (2016年2月)
- 7) 日置佳之：サン・スーシー庭園とポツダム緑道の緑道, グリーンエイジ, **507**: 30-33 (2016年3月)

【島根大学】

著書

- 1) Katsuhisa, I.: Forest owners' management behavior in delayed plantation area of Japan. In: Social Capital and Development Trends in Rural Areas Vol.11 (Edited by Kobayashi, K. *et al.*, ISBN: 978-4-907830-11-3). MARG (Marginal area research group), Kyoto, pp.209-222 (Mar., 2016)
- 2) 伊藤勝久：島根の木質バイオマスエネルギーの可能性. 上園昌武他「島根の原発・エネルギー問題を問いなおす」所収, pp. 63-82, 今井書店, 松江, ISBN: 978-4-86611-018-9 (2016年3月)

論文

- 1) 小菅良豪・伊藤勝久：岡山県北部における素材生産業者の地域特性とマネジメント戦略. 林業経済研究, **61**(2): 1-12 (2015年7月)
- 2) 栗畑恭介・伊藤勝久：中国西北部, 地方都市近郊農村における農外就業の展開と農業への影響—寧夏回族自治区吳忠市近郊農村を対象に—. 農村計画学会誌, **34**: 470-479 (2016年3月)

その他

- 1) 藤巻玲路・柏木裕香・久保満佐子・山下多聞：島根県船通山の溪畔林における土壌水の化学的性質. 島根大学生物資源科学報告, **20**: 9-13 (2015年9月)
- 2) 川口英之：アオモジの分布拡大とその生物多様性への影響. 島根大学生物資源科学部ミッション研究課題成果報告書 2015, p. 32 (2016年3月)

3) 経済・経営学連合講座

【鳥取大学】

著書

- 1) 万里：Excel で実践する基礎統計学，ISBN: 978-4-541-04050-3，農林統計協会，p. 311（2015年9月）

論文

- 1) Yohannes, M. F. and Matsuda, T.: Demand analysis of non-alcoholic beverages in Japan. *Journal of Agricultural Science*, **7**: 143-153 (May, 2015)
- 2) 大前ひとみ・古塚秀夫：農業経営における CSR 会計の構築に関する研究，*農林業問題研究*，**51**(1): 38-43（2015年6月）
- 3) 中藤絢子・安延久美・小田哲郎・ウラタナコン パナダー：コミュニティ開発を目指した無農薬野菜出荷グループの持続可能性—東北タイ・コンケン県の農業開発事業を事例にして．*農業経営研究*，**53**(3): 1-14（2015年10月）
- 4) 田立紀子・能美誠：地域内の廃食油を原料としたバイオディーゼル燃料生産活動の実施可能性検討手法の開発—総合余剰の最大化をはかる活動を事例として—．*食農と環境*，**16**: 86-98（2015年10月）
- 5) 能美誠：農村地域内の他地区訪問世帯割合と相互訪問圏に関する考察—鳥取県日南町を事例として—．*農村計画学会誌*，**34**（論文特集号）：237-242（2015年11月）
- 6) 能美誠：設定容易な等質条件を付与した地域類型化法の開発と適用—鳥取県日南町の生活活動を事例として—．*農業経済研究*，**87**(3): 219-224（2015年12月）
- 7) Siliphouthone, I. and Yasunobu, K.: The effects of flood on household economies and food security in lowland rice farming households in Laos. *Japanese Society of Agriculture Technology Management*, **22**(3): 69-79 (Dec., 2015)
- 8) 岸郁也・古塚秀夫・仙田徹志・浅見淳之・森佳子：農地改革と税制改革が農家経済に与えた影響について—「農業経営並農家経済調査集計カード」に基づく山形県を事例として—．*農林業問題研究*，**51**(3): 209-214（2015年12月）
- 9) Yohannes, M. F. and Matsuda, T.: Weather effects on household demand for coffee and tea in Japan. *Agribusiness: An International Journal*, **32**: 33-44 (Jan., 2016)
- 10) Siliphouthone, I., Yasunobu, K., Ishida, A. and Furutsuka, H.: The effect of traditional home gardening on rural household food security in the lowland Areas, Southern Lao PDR. *Japanese Journal of Farm Management*, **53**(4): 84-89 (Jan., 2016)
- 11) Siliphouthone, I., Yasunobu, K. and Ishida, A.: Analysis of food security in rural lowland farming households in Laos. “A daily calorie intake approach”. *Tropical Agriculture and Development*, **60**(1): 14-20 (Mar., 2016)

【島根大学】

著書

- 1) 井上憲一：中山間地域耕畜連携システムの展開条件．新たな食農連携と持続的資源利用—グローバル化時代の地域再生に向けて—，*食農資源経済学会編*，ISBN:

978-4-8119-0470-2, 筑波書房, 東京, pp. 210-219 (2015年9月)

- 2) 井上憲一・森佳子: 資源循環型の大規模畜産経営による産地再編—組織間連携による経営発展と地域貢献の両立—. 産地再編が示唆するもの, 日本農業経営年報 No.10, 八木宏典編集代表 (佐藤了・納口るりこ編, ISBN: 978-4-541-04034-3). 農林統計協会, 東京, pp. 274-287 (2016年2月)
- 3) 伊藤康宏: 漁業の再編と発展, 漁業の展開. 山口県史通史編 近代 (山口県編), 山口県, 山口, pp. 373-384, pp. 691-703 (2016年3月)

論文

- 1) 井上憲一: 酪農経営における家族的要素と企業的要素. 農業経営研究, **53**(1):41-52 (2015年4月)
- 2) 中間由紀子・内田和義: 戦後東北地方における生活改善普及事業. 農林業問題研究, **51**(1): 44-49 (2015年6月)
- 3) 内田和義・中間由紀子: 昭和20年代における生活改善普及事業と地方自治体. 農業経済研究, **87**(2): 115-130 (2015年9月)
- 4) 岸郁也・古塚秀夫・仙田徹志・浅見淳之・森佳子: 農地改革と税制改革が農家経済に与えた影響について—「農業経営並農家経済調査集計カード」に基づく山形県を事例として—. 農林業問題研究, **51**(3): 209-214 (2015年12月)

その他

- 1) 森 佳子: TPPが島根県の六次産業化に与える影響. NOSEIKEN, **369**: 25-29 (2016年3月)
- 2) 森 佳子: イアコーン等自給濃厚飼料活用型低コスト家畜生産体系の実証に関わる経営評価研究—イアコーンサイレージを活用したTMRの取り組み—. 畜産経営評価コンソーシアム, 攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業・経営評価研究「分野: 畜産」, 畜産部門における革新的技術体系に関する経営評価研究, 平成27年度報告書, 45-49 (2016年3月)
- 3) 森 佳子: 保育園・学校給食における地元農産物利用の意義と課題—完全米飯給食に取り組む保育園を事例に—. 島根大学生物資源科学部ミッション研究課題成果報告書, **68** (2016年3月)

2 生物環境科学専攻

1) 生産環境工学連合講座

【鳥取大学】

論文

- 1) 緒方英彦・田村雄平・兵頭正浩・石神暁郎・佐藤智: 採取コアを対象にした赤外線サーモグラフィー法によるコンクリートの凍害劣化の定量的評価に関する検討. 農業農村工学会論文集, **29**: I_91-I_97 (2015年6月)

- 2) 鶴田博人・山田智・田辺ひろ子・嘉本早織・益崎望・梁銀麗・猪迫耕二・増永二之・藤山秀保：乾燥ストレス条件下のキュウリにおけるアスコルビン酸輸送と抗酸化応答の関係．日本砂丘学会誌，**62**(1): 11-20 (2015年6月)
- 3) 緒方英彦・山崎大輔・兵頭正浩：シラン低圧注入によるコンクリートの凍害深さ測定方法の実用性の検討．コンクリート工学年次論文集，**37**(1): 811-816 (2015年7月)
- 4) 井下千尋・兵頭正浩・緒方英彦：凍結融解処理によりコンクリート塊および残コン・戻りコンから抽出した再生粗骨材の物性評価．コンクリート工学年次論文集，**37**(1): 1399-1404 (2015年7月)
- 5) 緒方英彦・兵頭正浩・小林哲夫・竹津ひとみ：空隙の飽和状態が異なるポーラスコンクリートの凍結融解環境下における温度変化の比較．農業農村工学会論文集，**298**: IV_15-IV_16 (2015年8月)
- 6) 緒方英彦・清水邦宏・石神暁郎・田場一矢：芯棒打込み式金属拡張アンカーを用いたアンカー引抜き試験によるコンクリート構造物の凍害劣化診断．コンクリート構造物の非破壊検査論文集，**5**: 77-84 (2015年8月)
- 7) 兵頭正浩・緒方英彦・吉井莉奈：ヨシ灰の化学成分の同定とコンクリート用混和材としての利用性に関する基礎的研究．農業農村工学会論文集，**298**: II_83-II_88 (2015年8月)
- 8) 緒方英彦・石神暁郎・田場一矢・藤本光伸：ポーラスコンクリートの凍結融解抵抗性および熱的性質．農業農村工学会誌，**83**(9): 29-32 (2015年9月)
- 9) 石神暁郎・緒方英彦・藤本光伸・青山裕俊：寒冷地における開水路の更生工法．農業農村工学会誌，**83**(9): 37-40 (2015年9月)
- 10) 緒方英彦・石神暁郎・田場一矢：将来的なモニタリングが可能な開水路の対策工法．農業農村工学会誌，**83**(10): 19-22 (2015年10月)
- 11) 石神暁郎・佐藤智・周藤将司・緒方英彦：コンクリート開水路の凍害劣化の発生形態とその診断手法．農業農村工学会誌，**83**(10): 27-30 (2015年10月)
- 12) 濱幸雄・緒方英彦・林大介・阿波稔・湯浅昇・新大軌：コンクリート中の気泡の役割と施工過程における空気量の変化．コンクリート工学，**53**(11): 970-977 (2015年11月)
- 13) 鶴田博人・山田智・梁銀麗・猪迫耕二・増永二之・藤山秀保：ハウスキュウリ栽培における灌水量削減が成長，栄養吸収および果実品質に及ぼす影響．日本砂丘学会誌，**62**(2): 55-66 (2015年11月)
- 14) 兵頭正浩・石井将幸・佃 亮介・緒方英彦・野中資博：埋設管の現有耐力評価手法としての内面載荷法の提案—PVC管を用いたひび割れ検知能力の検証—．農業農村工学会論文集，**300**: I_215-I_220 (2015年12月)
- 15) 緒方英彦・兵頭正浩・小林哲夫・竹津ひとみ：ポーラスコンクリートにおける空隙の飽和・不飽和状態が熱拡散率に及ぼす影響．セメント・コンクリート論文集，**69**: 243-250 (2016年3月)
- 16) 渡部浩二・竹田誠・田場一矢・緒方英彦：寒冷地における水路更生工法の補強効果．水と土，**177**: 63-67 (2016年3月)
- 17) Saito, T., Yasuda, H., Sakurai, M., Acharya, K., Sueki, S., Inosako, K., Yoda, K., Fujimaki, H., Abd Elbasit, M., Eldoma A. and Nawata, H.: Monitoring of stem water content of

native/invasive trees in arid vironments using GS3 soil moisture sensor. *Vadose Zone Journal*, **15**: doi: 10.2136/vzj2015.04.0061 (Mar., 2016)

- 18) Saito, T., Yasuda, H., Suganuma, H., Inosako, K., Abe, Y. and Kojima, T.: Predicting soil infiltration and horizon thickness for a large-scale water balance model in an arid environment. *Water*, **8**:96: doi10.3390/w8030096 (Mar., 2016)
- 19) 篔津杏奈・齊藤忠臣・河合隆行・西本貴之・糟谷哲史・猪迫耕二・安田裕・塩崎一郎：鳥取砂丘におけるオアシス発生・消滅と地下水位の変動. *応用水文*, **28**: 21-30 (2016年3月)
- 20) 嶋津光辰・梅田直円・栗原栄治・梅本雅・山本淳子・野波和好：熟練者のナレッジを導入したコンバイン機内清掃マニュアル. *農業食料工学会誌*, **78**(2): 173-178 (2016年3月)

その他

- 1) 緒方英彦・兵頭正浩：冬期積雪が低木街路樹の損傷に及ぼす影響. *農村道路（農村道路研究部会報）*, **25**: 23-28 (2015年11月)
- 2) 緒方英彦：凍害が生じているコンクリート開水路の診断と対策工法. *材料と施工（材料施工研究部会報）*, **54**: 43-50 (2016年1月)
- 3) 稲垣岬・猪迫耕二・ムラデン トドロビッチ・齊藤忠臣：オリーブの水分状態指標の水ストレスに対する応答. *畑地農業*, **686**: 17-23 (2016年1月)

【島根大学】

著書

- 1) 谷野 章：施設園芸・植物工場ハンドブック 第IV部 施設内環境の制御技術 第9章 エネルギー利用 (3)太陽光発電 (ISBN: 978-4-540-15101-9) . 一般社団法人日本施設園芸協会, pp. 234-236 (2015年5月)

論文

- 1) 兵頭正浩・石井将幸・佃亮介・緒方英彦・野中資博：埋設管の現有耐力評価手法としての内面載荷法の提案—PVC管を用いたひび割れ検知能力の検証—. *農業農村工学会論文集*. **83**(6): I_215-I_220 (2015年12月)
- 2) Cossu, M., Yano, A., Li, Z., Onoe, M., Nakamura, H., Matsumoto, T., and Nakata, J.: Advances on the semi-transparent modules based on micro solar cells: First integration in a greenhouse system. *Applied Energy*, **162**: 1042-1051 (Jan., 2016)
- 3) 武田育郎・高田竜之介・宗村広昭・佐藤裕和：酸化鉄を含む底質の堆積が観察される水田群における鉄とリンの挙動と物質収支. *農業農村工学会論文集*, **301**(84-1): I_57-I_63 (2016年2月)
- 4) 石井将幸・野中資博・坂村博・秋元昌哲・井川秀樹：合成鋼管用離脱防止継手の試作とその性能照査指標に関する検討. *農業農村工学会論文集*, **301**(84-1): I_15-I_21 (2016年2月)

その他

- 1) 原昭二・武田育郎・上野薫・井上祥一郎：湖底部又は湾底部で発生する硫化水素の無害化方法及びそのシステム．特願 2015-215369（2015年12月）
- 2) 武田育郎：人口減少社会における水環境の創造と評価．島根大学生物資源科学部ミッション研究課題成果報告書，p. 73（2016年3月）

2) 環境科学連合講座

【鳥取大学】

著書

- 1) Ishihara, A., Matsukawa, T., Nomura, T., Sue, M., Oikawa, A., Okazaki, Y. and Tebayashi, S.: Chapter 20. Involvement of tryptophan-pathway-derived secondary metabolism in the defense responses of grasses. In: *Amino Acids in Higher Plants* (Edited by D'Mello, J. P. F., ISBN-10: 1780642636, ISBN-13: 978-1780642635), CABI, Oxfordshire, UK, pp. 362-389, (Apr., 2015)

論文

- 1) Teng, F., Bito, T., Takenaka, S., Yabuta, Y., Shimomura, N. and Watanabe, F.: Determination and characterization of corrinoid compounds in truffle (*Tuber* spp.) and shoro (*Rhizopogon rubescens*) fruiting bodies. *Mushroom Science and Biotechnology*, **22**: 159-164 (Apr., 2015)
- 2) Srisapoomi, T., Ichianagi, T., Nakajima, H., Aimi, T. and Boonlue, S.: Biosynthesis of integric acid isolated from the wood-decay fungus *Xylaria feejeensis* 2FB-PPM08M. *Current Microbiology*, **70**: 550-555 (Apr., 2015)
- 3) 米山彰造・宜寿次盛生・佐藤真由美・原田陽・村口元・奥田康仁・松本晃幸：紫外線照射によるタモギタケの孢子欠損性変異の誘発．日本きのこ学会誌，**23**: 20-25（2015年4月）
- 4) Fuse, T., Ikeda, I., Kita, T., Furutani, S., Nakajima, H., Matsuda, K., Ozoe, F. and Ozoe, Y.: Synthesis of photoreactive ivermectin B_{1a} derivatives and their actions on *Haemonchus* and *Bombyx* glutamate-gated chloride channels. *Pesticide Biochemistry and Physiology*, **120**: 82-90 (May, 2015)
- 5) Chanwichaa, N., Katekaewb, S., Aimi, T. and Sophon, B.: Purification and characterization of alkaline xylanase from *Thermoascus aurantiacus* var. *levisporus* KKU-PN-I2-1 cultivated by solid-state fermentation. *Mycoscience*, **56**: 309-318 (May, 2015)
- 6) 岡久美子・西田麻理奈・長澤栄史・牛島秀爾・石原亨・前川二太郎：ニガクリタケおよびモエギタケ科属種子実体における毒性分ファシキュロールEの生産性．日本きのこ学会誌，**22**: 147-152（2015年5月）
- 7) Galarza, L., Akagi, Y., Takao, K., Kim, C. S., Maekawa, N., Itai, A., Santos, E. and Kodama, M.: Characterization of *Trichoderma* species isolated in Ecuador and their antagonistic activities against phytopathogenic fungi from Ecuador and Japan. *Journal of General Plant Pathology*, **81**: 201-210 (May, 2015)

- 8) Galarza, L., Akagi, Y., Takao, K., Peralta, E., Santos, E. and Kodama, M.: Involvement of *ThSNF1* in the development and virulence of biocontrol agent *Trichoderma harzianum*. *Journal of General Plant Pathology*, **81**: 211-217 (May, 2015)
- 9) Yanaga, K., Sotome, K., Ushijima, S. and Maekawa, N.: *Hydnum* species producing whitish basidiomata in Japan. *Mycoscience*, **56**: 434-442 (May, 2015)
- 10) Yi, R., Narimoto, H., Nozoe, M. and Ichiyanaqi, T.: Convergent synthesis of 4,5-branched inner-core oligosaccharides of lipopoly- and lipooligosaccharides. *Bioscience Biotechnology, and Biochemistry*, **79**: 1931-1945 (Jun., 2015)
- 11) Tanaka, K., Amaki, Y., Ishihara, A. and Nakajima, H.: Synergistic effects of [Ile⁷] surfactin homologues with bacillomycin D in suppression of gray mold disease by *Bacillus amyloliquefaciens* biocontrol strain SD-32. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **63**: 5344-5353 (Jun., 2015)
- 12) Matsumoto, T., Ishihara, A., Abe N., Sakurai T., Mishima, S. and Akihiro, T.: Effects of curtain treatment with white reflection sheets in improving berry coloration and wine quality in 'Cabernet Sauvignon' grapes. *Food Preservation Science*, **41**(3): 117-212 (Jun., 2015)
- 13) Nakano, S., Sawada, K., Gao, Q., Aimi, T. and Shimomura, N.: Production of a salt-tolerant strain by cross-breeding in the ectomycorrhizal mushroom *Rhizopogon roseolus* (= *R. rubescens*). *Mushroom Science and Biotechnology*, **23**: 75-79 (Jul., 2015)
- 14) Okane, I. and Nakagiri, A.: Assemblages of endophytic fungi on *Salicornia europaea* disjunctively distributed in Japan: towards clarification of the ubiquity of fungal endophytes on halophytes and their ecological roles. *Current Science*, **109**: 62-71 (Jul., 2015)
- 15) Ban, S., Azuma, Y., Sato, H., Suzuki, K. and Nakagiri, A.: *Isaria takamizusanensis* is the anamorph of *Cordyceps ryogamimontana*, warranting a new combination, *Purpureocillium takamizusanense* comb. nov. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*, **65**: 2459-2465 (Aug., 2015)
- 16) Okuda, Y., Yoneyama, S., Gisusi, S., Harada, A., Sato, M. and Matsumoto, T.: Development of STS markers suitable for marker-assisted selection of sporeless trait in golden oyster mushroom, *Pleurotus cornucopiae* var. *citrinopileatus*. *Mushroom Science and Biotechnology*, **23**: 85-88 (Aug., 2015)
- 17) Ishihara, A., Ohishi, K., Yamada, T., Shibata-Hatta, M., Arai-Kichise, Y., Watanabe, S., Yoshikawa, H. and Wakasa, K.: Biochemical and molecular characterization of orange- and tangerine-colored rice calli. *Plant Biotechnology*, **32**: 193-203 (Sep., 2015)
- 18) Sri-indrasutdhi, V., Tsui, C.K.M., Chuaseeharonnachai, C., Yamaguchi, K., Suetrong, S., Okane, I., Nakagiri, A. and Boonyuen, N.: *Helicocentralis hyalina* gen. et sp. nov., an aero-aquatic helicosporous fungus (Leotiomycetes, Ascomycota) in Thailand. *Mycological Progress*, **14**: 81-92 (Sep., 2015)
- 19) 宜寿次盛生・米山彰造・原田陽・佐藤真由美・奥田康仁・松本晃幸：タモギタケ白色自然突然変異体の保有する菌傘色および菌柄背地性形質に関する遺伝分析。日本菌学会会報，**56**: 27-32 (2015年11月)
- 20) Oka, K., Ishihara, A., Sakaguchi, N., Nishino, S., Parada, R.Y., Nakagiri, A. and Otani, H.: Antifungal activity of volatile compounds produced by an edible mushroom *Hypsizygus*

- marmoreus* against phytopathogenic fungi. Journal of Phytopathology, **163**: 987-996 (Dec., 2015)
- 21) Sutthikhampa, S., Kawai, Y., Hayashi, M., Boonlue, S., Shimomura, N., Yamaguchi, T. and Aimi, T.: Relationship between fruiting body development and phenol oxidase gene expression in *Pholiota microspora*. Mushroom Science and Biotechnology, **23**: 151-158 (Jan., 2016)
 - 22) Sutthikhampa, S., Kawai, Y., Hayashi, M., Boonlue, S., Shimomura, N., Yamaguchi, T. and Aimi, T.: Only one major manganese peroxidase (MnP) is predominantly expressed for mycelial growth of *Pholiota microspora* on sawdust medium. Mushroom Science and Biotechnology, **23**: 159-165 (Jan., 2016)
 - 23) Saskiawan, I., Hasanah, N. and Shimomura, N.: Cultivation of *Pleurotus ostreatus* using sorghum-supplemented spawn on various substrates. Mushroom Science and Biotechnology, **23**: 179-182 (Jan., 2016)
 - 24) Li, L., Zheng, M., Long, H., Deng, G., Ishihara, A., Liu, F., Liang, J., Pan, Z. and Yu, M.: Molecular cloning and characterization of two genes encoding tryptophan decarboxylase from *Aegilops variabilis* with resistance to the cereal cyst nematode (*Heterodera avenae*) and root-knot nematode (*Meloidogyne naasi*). Plant Molecular Biology Reporter, **34**: 273-282 (Feb., 2016)
 - 25) Takao, K., Akagi, Y., Tsuge, T. and Kodama, M.: Functional characterization of putative G protein-coupled receptors in the tomato pathotype of *Alternaria alternata*. Journal of General Plant Pathology, **82**: 82-88 (Mar., 2016)
 - 26) Sotome, K., Matozaki, T., Aimi, T. and Boonlue, S.: *Polyporus thailandensis*, a new species of group Polyporellus in *Polyporus* (Polyporales, Agaricomycota) from Northeastern Thailand. Mycoscience, **57**: 85-89 (Mar., 2016)
 - 27) Orihara, T., Lebel, T., Ge, Z.W., Smith, M.E. and Maekawa, N.: Evolutionary history of the sequestrate genus *Rossbeevera* (Boletaceae) reveals a new genus *Tumalinea* and highlights the utility of ITS minisatellite-like insertions for molecular identification. Persoonia, **37**: 173-198 (Mar., 2016)

その他

- 1) 田口智康・石原亨・中島廣光：カビの増殖およびマイコトキシン産生に対する植物由来の揮発性化合物の影響について。JSM Mycotoxins, **65**: 131-142 (2015年7月)
- 2) 中桐 昭：水界に進出したきのこ。菌蕈, **61**: 12-23 (2015年9月)

【島根大学】

著 書

- 1) Hayashi, S., Itoh, K. and Suyama, K.: Genes of *Bacillus subtilis* 168 that support growth of the cyanobacterium, *Synechococcus leopoliensis* CCAP1405/1 on agar media. Microbial Ecology, **70**: 849-852 (Oct., 2015)

論文

- 1) Tanaka, N., Haruki, Y., Ueno, M., Arase, S. and Kihara, J.: Expression of *T4HR1*, a 1,3,6,8-tetrahydroxy-na-phthalene reductase gene involved in melanin biosynthesis, is enhanced by near-ultraviolet irradiation in *Bipolaris oryzae*. *Advances in Microbiology*, **5**: 166-176 (Apr., 2015)
- 2) Kihara, J., Ueno, M. and Arase, S.: PCR-Mediated detection of endophytic and phytopathogenic fungi from needles of the Japanese black pine, *Pinus thunbergii*. *Open Journal of Forestry*, **5**: 431-442 (Apr., 2015)
- 3) Izumi, Y., Tian, R., Sonoda, S., Imayoshi, Y., Iwabuchi, H., Miyashita, Y., Kanazaki, S. and Tsumuki, H.: Analysis of peach fruit headspace volatiles and response by the fruit-piercing moth *Oraesia excavata* (Lepidoptera: Noctuidae). *Applied Entomology and Zoology*, **50**: 231-238 (May, 2015)
- 4) Murao, R., Tadauchi, O., Miyanaga, R. and Matsumura, T.: New records of the bee genus *Nomia* (Hymenoptera: Halictidae) in Nepal. *Japanese Journal of Systematic Entomology*, **21**(1): 5-6 (May, 2015)
- 5) Murao, R., Tadauchi, O. and Miyanaga, R.: The bee tribe Anthidiini (Hymenoptera, Megachilidae) collected from central Asia. *Japanese Journal of Systematic Entomology*, **21**(1): 7-12 (May, 2015)
- 6) 壺井晃太郎・佐藤利夫・駒形忠晴・土澤利雄：ドロマイトの焼成による殺菌効果の付与とその殺菌機構. *日本防菌防黴学会誌*, **43**(5): 221-226 (2015年5月)
- 7) Sakuno, Y. and Kunii, H.: Chlorophyll-a estimation in Lake Shinji from Landsat-8 OLI data using Linear Combination Index (LCI) algorithm. *International Geoscience and Remote Sensing Symposium 2015*, pp. 715-718, doi: 10.1109/IGARSS.2015.7325864, Milan, Italy (Jul., 2015)
- 8) 細澤豪志・國井秀伸・中村幹雄・尾島徹哉・杉山ゆかり・山口啓子：島根県大橋川におけるホトトギスガイ (*Arcuatula senhousia* Benson) 個体群の空間分布とその時間的変化. *日本ベントス学会誌*, **70**(1): 1-12 (2015年8月)
- 9) Nguyen, T.Q., Ueda, K., Kihara, J. and Ueno, M.: Inhibition of *Magnaporthe oryzae* by culture filtrates of fungi isolated from wild mushrooms. *Advances in Microbiology*, **5**: 686-692 (Sep., 2015)
- 10) 桑原智之・福井惇・前野真一・佐藤利夫：Si-Al-Mg系複合含水酸化物のフッ化物イオン吸着能力再生特性. *Journal of The Society of Inorganic Materials, Japan*, **22**: 261-267 (2015年9月)
- 11) 斉藤直・桑原智之・相崎守弘：覆砂材投入に伴い発生する懸濁物質等に及ぼす密度躍層の影響. *土木学会論文集 B2 (海岸工学)*, **71**(2): I_1441-I_1446 (2015年11月)
- 12) Maeta, Y., Goukon, K. and Miyanaga, R.: Revised species names of Japanese cleptoparasitic bees and their hosts, with additional new host records (Hymenoptera: Apoidea). *Japanese Journal of Systematic Entomology*, **21**(2): 299-303 (Nov., 2015)
- 13) 桑原智之・松村麻由・前野真一・佐藤利夫：組成比の異なる Si-Fe-Mg系複合含水酸化物の地下水中ヒ素の吸着特性. *Journal of The Society of Inorganic Materials, Japan*, **23**: 15-24 (2016年1月)

- 14) Matsukura, K., Izumi, Y., Yoshida, K. and Wada, T.: Cold tolerance of invasive freshwater snails, *Pomacea canaliculata*, *P. maculata*, and their hybrids helps explain their different distributions. *Freshwater Biology*, **61**: 80-87 (Jan., 2016)
- 15) Adhikari, RD. and Miyanaga, R.: Utilization of hairy footed flower bee *Anthophora plumipes* (Hymenoptera: Apidae) for pollination of greenhouse strawberry. *Advances in Entomology*, **4**: 25-31 (Jan., 2016)
- 16) 片井祐太郎・宮本大祐・笹井亮・佐藤利夫：EDI法の殺菌・不活化効果と水解離現の発生範囲（規模）との関係．日本防菌防黴学会誌，**44**(1): 3-7（2016年1月）
- 17) Ueno, M., Nguyen, T. Q., Shinzato, N. and Matsui, T.: Antifungal activity of collected in subtropical region, Okinawa, against *Magnaporthe oryzae*. *Tropical Agriculture and Development*, **60**: 48-52 (Mar., 2016)

その他

- 1) 國井秀伸：中海自然再生協議会の取り組み—豊かで遊べるきれいな中海を目指して—。GREEN AGE, **497**: 42-45（2015年5月）
- 2) 國井秀伸：オオオニバス．Newton別冊「驚異の植物，花の不思議」，ニュートンプレス（東京），pp. 6-7（2015年5月）
- 3) Sakuno, Y. and Kunii, H.: Lake surface salinity estimation using Landsat-8 data in the brackish Lake Shinji. The 36th Asian Conference on Remote Sensing, CD-ROM, Metro Manila, Philippines (Oct., 2015)
- 4) 安野隆生・杉原聡・桑原智之：石炭灰造粒物を活用した中海浚渫くぼ地の環境修復実証事業，電力土木，**380**: 144-146（2015年11月）
- 5) 山口啓子・細田真生・坂井三郎・中村幹雄・越川敏樹・高安克己：耳石をもちいた汽水域におけるスズキの回遊履歴の解読手法の検討．平成27年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書：63-78（2016年3月）
- 6) 辻井要介・國井秀伸：神西湖とその流入河川並びに用水路に生育する水生植物の現況．ホシザキグリーン財団研究報告，**19**: 183-188（2016年3月）
- 7) 井藤和人：島根県でのサツマイモ栽培における窒素固定内生菌の効率的利用．島根大学生物資源科学部ミッション研究課題成果報告書，**52**（2016年3月）

【山口大学】

論文

- 1) Sasaki, K., Nakahara, K., Tanaka, S., Shigyo, M. and Ito, S.: Genetic and pathogenic variability of *Fusarium oxysporum* f. sp. *cepae* isolated from onion and Welsh onion in Japan. *Phytopathology*, **105**: 525-532 (Apr., 2015)
- 2) Sasaki, K., Nakahara, K., Shigyo, M., Tanaka, S. and Ito, S.: Detection and quantification of *Fusarium oxysporum* f. sp. *cepae* in onion plant. *Journal of General Plant Pathology*, **81**: 232-236 (May, 2015)
- 3) Ariyanti, N.A., Hoa, V.Q., Khrustaleva, L.I., Hirata, S., Abdelrahman, M., Ito, S., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Production and characterization of alien chromosome addition lines in

- Allium fistulosum* carrying extra chromosomes of *Allium roylei* using molecular and cytogenetic analyses. *Euphytica*, **206**: 343-355 (Nov., 2015)
- 4) Chouvenec, T., Li, H.-F., Austin, J., Bordereau, C., Bourguignon, T., Cameron, S., Canello, E., Constantino, R., Costa-Leonardo, A., Eggleton, P., Evans, T., Forschler, B., Grace, J., Husseneder, C., Křeček, J., Lee, C.-Y., Lee, T., Lo, N., Messenger, M., Mullins, A., Robert, A., Roisin, Y., Scheffrahn, R., Sillam-Dussès, D., Šobotník, J., Szalanski, A., Takematsu, Y., Vargo, E., Yamada, A., Yoshimura, T. and Su, N.-Y.: Revisiting *Coptotermes* (Isoptera: Rhinotermitidae): a global taxonomic roadmap for species validity and distribution of an economically important subterranean termite genus. *Systematic Entomology*, **41**: 299-306 (Jan., 2016)
 - 5) Yanagi, Y. and Shindo, H.: Assessment of long-term compost application on physical, chemical, and biological properties, as well as fertility, of soil in a field subjected to double cropping. *Agricultural Sciences*, **7**: 30-43 (Jan., 2016)

3 生物資源科学専攻

1) 生物機能科学連合講座

【鳥取大学】

論文

- 1) Yan, Q., Kuriyama, K., Nishikawa, K., Tominaga, S., Tatsuta, H., Ando, T. and Naka, H.: (Z)-13-Hexadecenyl acetate: a novel moth sex pheromone component from *Herpetogramma submarginale* (Lepidoptera: Crambidae). *Journal of Chemical Ecology*, **41**: 441-445 (Apr., 2015)
- 2) Yabuta, Y., Kamei, Y., Bito, T., Arima, J., Yoneda, K., Sakuraba, H., Ohshima, T., Nakano, Y. and Watanabe, F.: Functional and structural characteristics of methylmalonyl-CoA mutase from *Pyrococcus horikoshii*. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, **79**: 710-717 (May, 2015)
- 3) Ahmed, I. A. M., Eltayeb, M. E., Mori, N., Arima, J., Tanaka, H., Taniguchi, K. and Yamanaka, N.: Proteomic analysis of homocholine catabolic pathway in *Pseudomonas* sp. strain A9. *Process Biochemistry*, **50**: 1735-1747 (Jul., 2015)
- 4) Maruyama, M., Kambara, K., Naka, H. and Azuma, M.: Insect water-specific aquaporins in developing ovarian follicles of the silk moth *Bombyx mori*: Role in hydration during egg maturation. *The Biological Bulletin*, **229**: 58-69 (Aug., 2015)
- 5) Shimizu, K., Amano, T., Bari, MD. R., Weaver, J.C., Arima, J. and Mori, N.: Glassin, a histidine-rich protein from the siliceous skeletal system of the marine sponge *Euplectella*, directs silica polycondensation. *Proceedings of the National Academy of Sciences*, **112**: 11449-11454 (Sep., 2015)
- 6) Maruyama, M. and Azuma, M.: Aquaporins are expressed in the columnar cells of the midgut

- epithelium of the silkworm, *Bombyx mori*. Journal of Insect Biotechnology and Sericology, **84**: 55-61 (Oct., 2015)
- 7) Honda, H., Yamasaki, R., Sumiuchi, Y., Uehara, T., Matsuyama, S., Ando, T. and Naka, H.: Hybrid sex pheromones of the hibiscus flower-bud borer, *Rehimena surusalis*. Journal of Chemical Ecology, **41**: 1043-1049 (Oct., 2015)
 - 8) Mohamed Ahmed, I.A., Eltayeb, M.E., Mori, N., Arima, J., Tanaka, H., Taniguchi, T. and Yamanaka, N.: Proteomic analysis of homocholine catabolic pathway in *Pseudomonas* sp. strain A9. Process Biochemistry, **50**: 1735-1747 (Nov., 2015)
 - 9) Egusa, M., Iwamoto, R., Izawa, H., Morimoto, M., Saimoto, H., Kaminaka, H. and Ifuku, S.: Characterization of chitosan nanofiber sheets for antifungal application. International Journal of Molecular Science, **16**: 26202-26210 (Nov., 2015)
 - 10) Egusa, M., Matsui, H., Urakami, T., Okuda, S., Ifuku, S., Nakagami, H. and Kaminaka, H.: Chitin nanofiber elucidates the elicitor activity of polymeric chitin in plants. Frontiers in Plant Science, **6**: 1098 (Dec., 2015)
 - 11) Arima, J., Shimone, K., Miyatani, K., Tsunehara, Y., Isoda, Y., Hino, T. and Nagano, S.: Crystal structure of D-stereospecific amidohydrolase from *Streptomyces* sp. 82F2: insight into the structural factors for substrate specificity. FEBS Journal, **283**: 337-349 (Jan., 2016)
 - 12) 田中裕之・江草真由美・竹村圭弘・岩田侑香里・永江知音・伊福伸介・上中弘典：キチンナノファイバー添加小麦粉による製パン性の向上。日本食品科学工学会誌, **63**: 18-24 (2016年1月)
 - 13) Takagi, H., Ishiga, Y., Watanabe, S., Konishi, T., Egusa, M., Akiyoshi, N., Matsuura, T., Mori, I.C., Hirayama, T., Kaminaka, H., Shimada, H. and Sakamoto, A.: Allantoin, a stress-related purine metabolite, can activate jasmonate signaling in a MYC2-regulated and abscisic acid-dependent manner. Journal of Experimental Botany, **67**: 2519-2532 (Mar., 2016)

その他

- 1) 中秀司・熊野谿明子・安藤哲：野外誘引試験によるオオエグリシヤチホコ *Pterostoma gigantinum* の性フェロモン成分推定。日本応用動物昆虫学会中国支部会報, **57**: 1-3 (2015年12月)
- 2) 上中弘典・伊福伸介：製パン性を向上させる天然由来の新素材マリンナノファイバー。製パン工業, **45**: 3-8 (2016年1月)
- 3) 永江（雨坪）知音・江草真由美・東和生・上中弘典・長島正明・伊福伸介：廃カニ殻由来の新素材「マリンナノファイバー」の製造技術と用途展開。日本食品工学会誌, **17**: A-11-13 (2016年3月)

【島根大学】

著書

- 1) 戒能智宏・川向誠：生合成と欠損症。コエンザイム Q10 の基礎と応用（日本コエンザイム Q 協会編, ISBN: 978-4-86345-238-1）。丸善プラネット, 東京, pp. 41-64 (2015)

年 5 月)

- 2) Nishikawa, A.: *Xenopus* as model animals for studying larval to adult tissue remodeling and adult organ formation. In: Advances in Medicine and Biology. Vol. 85 (Edited by Berhardt, L.V., ISBN: 978-1-63482-658-7), Nova Science Publishers, pp. 117-146 (Jun., 2015)
- 3) Ogola, H.J., Ashida, H., Ishikawa, T. and Sawa, Y.: Explorations and applications of enzyme-linked bioremediation of synthetic dyes. In: Advances in Bioremediation of Wastewater and Polluted Soil (Edited by Shiomi, N., ISBN: 978-953-51-2165-7, doi: 10.5772/60753), InTech, pp. 111-144 (Sep., 2015)
- 4) Ozoe, Y., Ozoe, F., Kita, T., Rahman, M.M., Liu, G., Hisano, K., Takashima, M. and Nakata, Y.: Multiple sites of insecticidal action in ionotropic GABA receptors. In: Discovery and Synthesis of Crop Protection Products. ACS Symposium Series, Vol. 1204, Chapter 30 (Edited by Maienfisch, P. and Stevenson, T.M., ISBN13: 9780841231023; eISBN: 9780841231016, Chapter doi: 10.1021/bk-2015-1204.ch030), American Chemical Society, Washington, DC pp. 431-446, (Nov., 2015)
- 5) 二川健・赤間一仁：廃用性筋萎縮に有効な抗ユビキチン化ペプチドの開発—新しいペプチドバイオロジーの創成をめざして—。アミノ酸研究, **9**: 23-27 (2016年1月)

論 文

- 1) Wheeler, G., Ishikawa, T., Pornsaksit, V. and Smirnoff, N.: Evolution of alternative biosynthetic pathways for vitamin C following plastid acquisition in photosynthetic eukaryotes. eLife, **4**: e06369 (Apr., 2015)
- 2) Fuse, T., Ikeda, I., Kita, T., Furutani, S., Nakajima, H., Matsuda, K., Ozoe, F. and Ozoe, Y.: Synthesis of photoreactive ivermectin B_{1a} derivatives and their actions on *Haemonchus* and *Bombyx* glutamate-gated chloride channels. Pesticide Biochemistry and Physiology, **120**: 82-90 (May, 2015)
- 3) Ogawa, T., Tamoi, M., Kimura, A., Mine, A., Sakuyama, H., Yoshida, E., Maruta, T., Suzuki, K., Ishikawa, T. and Shigeoka, S.: Enhancement of photosynthetic capacity in *Euglena gracilis* by expression of cyanobacterial fructose-1,6- /sedoheptulose-1,7-bisphosphatase leads to increases in biomass and wax ester production. Biotechnology for Biofuels, **8**: 80 (May, 2015)
- 4) Suzuki, Y., Furuta, K., Maeda, K., Yokoi, K., Miura, K., Tanaka, T. and Minakuchi, C.: Insecticidal activity and up-regulation of juvenile hormone response genes by juvenile hormone agonists in the western flower thrips, *Frankliniella occidentalis*. Journal of Pesticide Science, **40**: 92-98 (May, 2015)
- 5) Liu, G., Ozoe, F., Furuta, K. and Ozoe, Y.: 4,5-Substituted 3-isoxazolols with insecticidal activity act as competitive antagonists of housefly GABA receptors. Journal of Agricultural and Food Chemistry, **63**: 6304-6312 (Jun., 2015)
- 6) Ogawa, T., Kimura, A., Sakuyama, H., Tamoi, M., Ishikawa, T. and Shigeoka, S.: Characterization and physiological role of two types of chloroplastic fructose-1,6-bisphosphatases in *Euglena gracilis*. Archives of Biochemistry and Biophysics, **575**: 61-68 (Jun., 2015)

- 7) Kowaka, E., Shimajiri, Y., Kawakami, K., Tongu, M. and Akama, K.: Field trial of GABA-fortified rice plants and oral administration of milled rice in spontaneously hypertensive rats. *Transgenic Research*, **24**: 561-9 (Jun., 2015)
- 8) Adaniya, C. and Nishikawa, A.: Formation of a new limb bud at the boundary between a transplanted limb bud and the tail surface of *Xenopus* tadpoles. *Zoological Science*, **32**: 223-232, doi: <http://dx.doi.org/10.2108/zs1400262> (Jun., 2015)
- 9) Moriyama, D., Hosono, K., Fujii, M., Washida, M., Nanba, H., Kaino, T. and Kawamukai, M.: Production of CoQ₁₀ in fission yeast by expression of genes responsible for CoQ₁₀ biosynthesis. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, **79**: 1026-1033 (Jun., 2015)
- 10) Tamaki, S., Maruta, T., Sawa, Y., Shigeoka, S. and Ishikawa, T.: Biochemical and physiological analyses of NADPH-dependent thioredoxin reductase isozymes in *Euglena gracilis*. *Plant Science*, **236**: 29-36 (Jul., 2015)
- 11) Takeda, T., Nakano, Y., Takahashi, M., Konno, N., Sakamoto, Y., Arashida, R., Marukawa, Y., Yoshida, Y., Ishikawa, T. and Suzuki, K.: Identification and enzymatic characterization of an endo-1,3-beta-glucanase from *Euglena gracilis*. *Phytochemistry*, **116**: 21-27 (Aug., 2015)
- 12) Toyota, K., Miyakawa, H., Hiruta, C., Furuta, K., Ogino, Y., Shinoda, T., Tatarazako, N., Miyagawa, S., Shaw, J.R. and Iguchi, T.: Methyl farnesoate synthesis is necessary for the environmental sex determination in the water flea *Daphnia pulex*. *Journal of Insect Physiology*, **80**: 22-30 (Sep., 2015)
- 13) Suzuki, K., Mitra, S., Iwata, O., Ishikawa, T., Kato, S. and Yamada, K.: Selection and characterization of *Euglena anabaena* var. *minor* as a new candidate *Euglena* species for industrial application. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, **79**: 1730-1736 (Oct., 2015)
- 14) Takashina, N. and Mougi, A.: Maximum sustainable yields from a spatially explicit harvest model. *Journal of Theoretical Biology*, **383**: 87-92 (Oct., 2015)
- 15) Liu, G., Frølund, B., Ozoe, F. and Ozoe, Y.: Differential interactions of 5-(4-piperidyl)-3-isoxazolol analogues with insect γ -aminobutyric acid receptors leading to functional selectivity. *Insect Biochemistry and Molecular Biology*, **66**: 64-71 (Nov., 2015)
- 16) Nishino, K., Kushima, M., Matsuo, Y., Matsuo, Y. and Kawamukai, M.: Cell lysis in *S. pombe* *ura4* mutants is suppressed by loss of functional Pub1, which regulates the uracil transporter Fur4. *PLoS ONE*, **10**: e0141796 (Nov., 2015)
- 17) Ogawa, T., Kimura, A., Sakuyama, H., Tamoi, M., Ishikawa, T. and Shigeoka, S.: Identification and characterization of cytosolic fructose-1,6-bisphosphatase in *Euglena gracilis*. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, **79**: 1957-1964 (Dec., 2015)
- 18) Akiyoshi, H., Inoue-Matsuo, A. and Onodera, I.: Comparative histological study of parenchymal arrangements in three orders of Reptilian Livers. *Journal of Phylogenetics & Evolutionary Biology*, **4**: 161. doi:10.4172/2329-9002.1000161 (Dec., 2015)
- 19) Yamamoto, T., Kobayashi, Y., Zhou, G-L. and Kawamukai, M.: Identification and characterization of Csh3 as a SH3 protein that interacts with fission yeast Cap1. *FEMS Yeast Research*, **15**(8) pii: fov097, doi: 10.1093/femsyr/fov097 (Dec., 2015)
- 20) Nishimura, K., Ishikawa, S., Matsunami, E., Yamauchi, J., Homma, K., Faulkner, C., Oparka,

- K., Jisaka, M., Nagaya, T., Yokota, K. and Nakagawa, T.: New Gateway-compatible vectors for high-throughput protein-protein interaction analysis by a bimolecular fluorescence complementation (BiFC) assay in plants and their application to a plant clathrin structure analysis. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, **79**: 1995-2006 (Dec., 2015)
- 21) Kodama, Y. and Fujishima, M.: Differences in infectivity of endosymbiotic *Chlorella variabilis* that are cultivated outside the host *Paramecium bursaria* for 50 years and that are immediately isolated from the host cells after 1 year reendosymbiosis. *Biology Open*, **5**(1): 55-61(Jan., 2016)
- 22) Kato, S., Takaichi, S., Ishikawa, T., Asahina, M., Takahashi, S. and Shinomura, T.: Identification and functional analysis of the geranylgeranyl pyrophosphate synthase gene (*crtE*) and phytoene synthase gene (*crtB*) for carotenoid biosynthesis in *Euglena gracilis*. *BMC Plant Biology*, **16**: 4, doi: 10.1186/s12870-015-0698-8 (Jan., 2016)
- 23) Kawamukai, M.: Biosynthesis of coenzyme Q in eukaryotes. *Bioscience Biotechnology and Biochemistry*, **80**: 23-33 (Jan., 2016)
- 24) Maruta, T., Sawa, Y., Shigeoka, S. and Ishikawa, T.: Diversity and evolution of ascorbate peroxidase functions in chloroplasts: More than just a classical antioxidant enzyme? *Plant & Cell Physiology*, doi: 10.1093/pcp/pcv203b (Jan., 2016)
- 25) Yoshida, T., Ogola, H.J., Amano, Y., Hisabori, T., Ashida, H., Sawa, Y., Tsuge, H. and Sugano, Y.: *Anabaena* sp. DyP-type peroxidase is a tetramer consisting of two asymmetric dimers. *Proteins*, **84**: 31-42 (Jan., 2016)
- 26) Yoshida, Y., Tomiyama, T., Maruta, T., Tomita, M., Ishikawa, T. and Arakawa, K.: *De novo* assembly and comparative transcriptome analysis of *Euglena gracilis* in response to anaerobic conditions. *BMC Genomics*, **17**: 182 (Mar., 2016)
- 27) Kondoh, M., Mougi, A., Ushimaru, A. and Nakata, K.: Adaptive movement and food-chain dynamics: towards food-web theory without birth-death processes. *Theoretical Ecology*, **9**: 15-25 (Mar., 2016)

その他

- 1) 戒能智宏：ヒトにとっても身近なコエンザイム Q10. *生物工学会誌*, **93**: 295 (2015年5月)
- 2) 竹内崇・丸田隆典・石川孝博：植物のアスコルビン酸輸送体がついに同定された～PHT4;4による葉緑体へのアスコルビン酸輸送～. *ビタミン*, **89**: 286-288 (2015年6月)
- 3) 秋吉英雄：沖縄県先島諸島西表島崎山半島の干潟域に生息するオオウナギおよびニホンウナギのクロコおよび幼体の特異な消化器系臓器の研究. 島根大学研究機構汽水域研究センター報告, 平成26年度年次報告, **35** (2015年6月)
- 4) 秋吉英雄：ウナギとアナゴを中心とした島根半島および隠岐島における生物多様性調査. 島根大学生物資源科学部ミッション研究課題成果報告書2015, **29** (2016年3月)
- 5) 袖山翼・石川孝博：VTC2遺伝子のupstream Open Reading Frameを介した植物ビタミンC合成のフィードバック調節. *ビタミン*, **90**: 119-121 (2016年3月)
- 6) 戒能智宏：有用な機能性成分を含む微生物の探索. 島根大学生物資源科学部ミッショ

ン研究課題成果報告書 2015, **20** (2016年3月)

- 7) 林蘇娟: 隠岐諸島の植物多様性研究—絶滅危惧種オニヒョウタンボク (*Lonicera vidalii*) の起源と絶滅危惧の原因. 島根大学生物資源科学部, ミッション研究課題成果報告書 2015, P27 (2016年3月)

【山口大学】

著 書

- 1) 阿座上弘行・恵比須繁之: 細胞間コミュニケーションと口腔細菌バイオフィーム (特集バイオフィーム研究の最前線), 化学療法の領域 (ISBN: 978-4-7532-8107-7) 医薬ジャーナル社, **31**(11): 53-61 (2015年11月)
- 2) 山田守・赤田倫治・高坂智之・東慶直・星田尚司・松下一信: 耐熱性発酵微生物の耐熱性を賦与する分子機構. 化学と生物, **53**: 763-773 (2015年11月)

論 文

- 1) Yagi, H., Nakamura, M., Yokoyama, J., Zhang, Y., Yamaguchi, T., Kondo, S., Kobayashi, J., Kato, T., Park, E. Y., Nakazawa, S., Hashii, N., Kawasaki, N. and Kato, K.: Stable-isotope labeling of glycoprotein expressed in silkworms using immunoglobulin G as a test molecule. *Journal of Biomolecular NMR*, **62**: 157-167 (Apr., 2015)
- 2) Usui, M., Harada, A., Yasumoto, S., Sugiura, Y., Nishidai, A., Ikarashi, M., Takaba, H., Miyasaki, T., Azakami, H. and Kondo, M.: Relationship between the risk for a shrimp allergy and freshness or cooking, *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, **79**: 1698-1701 (May, 2015)
- 3) Biswas, Md. S. and Mano, J.: Lipid peroxide-derived short-chain carbonyls mediate hydrogen peroxide-induced and salt-induced programmed cell death in plants. *Plant Physiology*, **168**: 885-898 (Jul., 2015)
- 4) Murata, M., Nitiyon, S., Lertwattanasakul, N., Sootsuwan, K., Kosaka, T., Thanonkeo, P., Limtong, S. and Yamada, M.: High-temperature fermentation technology for low-cost bioethanol. *Journal of the Japan Institute of Energy*, **94**: 1154-1162 (Oct., 2015)
- 5) Matsushita, K., Azuma, Y., Kosaka, T., Yakushi, T., Hoshida, H., Akada, R. and Yamada, M.: Genomic analyses of thermotolerant microorganisms used for high-temperature fermentations. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, **13**: 1-14 (Nov., 2015)
- 6) Nitiyon, S., Keo-Oudone, C., Murata, M., Lertwattanasakul, N., Limtong, S., Kosaka, T. and Yamada, M.: Efficient conversion of xylose to ethanol by stress-tolerant *Kluyveromyces marxianus* BUNL-21. *Springerplus*, **5**: 185, doi: 10.1186/s40064-016-1881-6 (Feb., 2016)
- 7) Lertwattanasakul, N., Kosaka, T., Hosoyama, A., Suzuki, Y., Rodrussamee, N., Matsutani, M., Murata, M., Fujimoto, N., Suprayogi, Tsuchikane, K., Limtong, S., Fujita, N. and Yamada, M.: Genetic basis of the highly efficient yeast *Kluyveromyces marxianus*: complete genome sequence and transcriptome analyses. *Biotechnology for Biofuels*, **8**: 47 (Mar., 2015)

2) 資源利用化学連合講座

【鳥取大学】

著 書

- 1) 渡邊文雄：植物へのビタミンB₁₂強化法. 機能性植物が秘めるビジネスチャンス～各社事例から学ぶ成分向上手法／事業活用例～ (ISBN: 978-4-86502-103-5), 機能性機構, pp. 96-104 (2016年3月)
- 2) 渡邊文雄：ビタミン. 食べ物と健康, 食品と衛生 食品学総論 第3版 (栄養科学シリーズNEXT), (辻英明・海老原清・渡邊浩幸・竹内弘幸編, ISBN: 978-4-06-155386-6). 講談社サイエンティフィック, 東京, pp. 43-55 (2016年3月)
- 3) Iwasaki, T., Tokuda, Y., Kotake, A., Okada, H., Takeda, S., Kimura, S., Shinagawa, M., and Kawano, T.: Functional analysis of novel cell-penetrating peptide “polyhistidine” for application to drug delivery. In Peptide Science 2015, (Edited by Hojo, H., ISBN: 1344-7661), Protein Research Foundation, pp. 211-214 (Mar., 2016)
- 4) Matsunaga, Y., Honda, Y., Honda S., Iwasaki, T., Qadota, H., Benian, G. M., and Kawano, T.: *C. elegans* insulin-like peptides, INS-35 and INS-7, change their secretion polarity in larval diapause. In Peptide Science 2015, (Edited by Hojo, H., ISBN: 1: 344-7661), Protein Research Foundation, pp. 79-82 (Mar., 2016)

論 文

- 1) Teng, F., Bito, T., Takenaka, S., Yabuta, Y., Shimomura, N. and Watanabe, F.: Determination and characterization of corrinoid compounds in truffle (*Tuber* spp.) and shoro (*Rhizopogon rubescens*) fruiting bodies. Mushroom Science and Biotechnology, **22**: 159-164 (Apr., 2015)
- 2) Yabuta, Y., Kamei, Y., Bito, T., Arima, J., Yoneda, K., Sakuraba, H., Ohshima, T., Nakano, Y. and Watanabe, F.: Functional and structural characteristics of methylmalonyl-CoA mutase from *Pyrococcus horikoshii*. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, **79**: 710-717 (May, 2015)
- 3) Iwasaki, T., Tokuda, Y., Kotake, A., Okada, H., Takeda, S., Kawano, T. and Nakayama, Y.: Cellular uptake and in vivo distribution of polyhistidine peptides. Journal of Controlled Release, **210**: 115-124 (May, 2015)
- 4) Tanaka, H., Yabuta, Y., Tamoi, M., Tanabe, N. and Shigeoka, S.: Generation of transgenic tobacco plants with enhanced tocotrienol levels through the ectopic expression of rice homogentisate geranylgeranyl transferase. Plant Biotechnology, **32**: 233-238 (Jul., 2015)
- 5) Teng, F., Tanioka, Y., Bito, T., Takenaka, S., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Occurrence of biologically inactive corrinoid compounds in canned edible apple snail (escargots). Food and Nutrition Science, **6**: 1071-1077 (Sep., 2015)
- 6) Teng, F., Tanioka, Y., Hamaguchi, N., Bito, T., Takenaka, S., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Determination and characterization of vitamin B₁₂ compounds in edible sea snails, ivory shell *Babylonia japonica* and turban shell *Turdo Batillus cornutus*. Fisheries Science, **81**: 1105-1111 (Nov., 2015)
- 7) Matsunaga, Y., Honda, Y., Honda, S., Iwasaki, T., Qadota, H., Benian, G.M. and Kawano, T.:

- Diapause is associated with a change in the polarity of secretion of insulin-like peptides. Nature Communications, doi: 10.1038/ncomms10573 (Feb., 2016)
- 8) Iwasaki, T., Tokuda, Y., Kotake, A., Okada, H., Takeda, S., Kimura, S., Shinagawa, M. and Kawano, T.: Functional analysis of novel cell-penetrating peptide "polyhistidine" for application to drug delivery. Peptide Science 2015, 211-214 (Mar., 2016)
 - 9) Matsunaga, Y., Honda, Y., Honda, S., Iwasaki, T., Qadota, H., Benian, GM. and Kawano, T.: *C. Elegans* insulin-like peptides, INS-35 and INS-7, change their secretion polarity in larval diapause. Peptide Science 2015, 79-82 (Mar., 2016)

【島根大学】

著 書

- 1) 横田一成・木村英人・徳山翔太：タデアイ（藍）葉の新規フラボノイドの同定とコレステロール生合成阻害作用．特産種苗，**21**: 103-107（2015年9月）

論 文

- 1) Kimura, H., Tokuyama, S., Ishihara, T., Ogawa, S. and Yokota, K.: Identification of new flavonol *O*-glycosides from indigo (*Polygonum tinctorium* Lour) leaves and their inhibitory activity against 3-hydroxy-3-methylglutaryl CoA reductase. Journal of Pharmaceutical Biomedical Analysis, **108**: 102-112 (Apr., 2015)
- 2) Yoshikiyo, K., Matsui, Y. and Yamamoto, T.: Qualitative evaluation of regioselectivity in the formation of di- and tri-*6-O*-tritylates of α -cyclodextrin. Beilstein Journal of Organic Chemistry, **11**: 1530-1540 (Aug., 2015)
- 3) Nishimura, K., Ishikawa, S., Matsunami, E., Yamauchi, J., Homma, K., Faulkner, C., Oparka, K., Jisaka, M., Nagaya, T., Yokota, K. and Nakagawa, T.: New Gateway-compatible vectors for a high-throughput protein-protein interaction analysis by a biomolecular fluorescence complementation (BiFC) assay in plants and their application to a plant clathrin structure analysis. Bioscience, Biotechnology and Biochemistry, **79**: 1995-2006 (Dec., 2015)
- 4) Khan, F., Seyda, P. K., Nartey, M. N. N., Rahman, M. S., Islam, M. S., Nishimura, K., Jisaka, M., Shono, F. and Yokota, K.: Pretreatment of cultured preadipocytes with arachidonic acid during the differentiation phase without a cAMP-elevating agent enhances fat storage after the maturation phase. Prostaglandins and Other Lipid Mediators, **123**: 16-27 (Feb., 2016)
- 5) Takezawa, K., Hirai, T., Yamamoto, T. and Yoshikiyo, K.: Thermodynamic and structural studies on the complexation of guanidino-appended α -cyclodextrin derivatives with *p*-nitrophenolate ion. Journal of Molecular Structure, **1108**: 80-86 (Mar., 2016)
- 6) Noothalapati, H., Uemura, S., Ohshima, N., Kinoshita, Y., Ando, M., Hamaguchi, H. and Yamamoto, T.: Towards the development of a non-bioptic diagnostic technique for eosinophilic esophagitis using Raman spectroscopy, Vibrational Spectroscopy, **85**: 7-10 (Mar., 2016)

【山口大学】

論 文

- 1) Fujii, J., Kurahashi, T., Konno, T., Homma, T. and Iuchi, Y.: Oxidative stress as a potential causal factor for autoimmune hemolytic anemia and systemic lupus erythematosus. *World Journal of Nephrology*, **4**: 213-222 (May, 2015)
- 2) Kanedani, M., Sato, T., Hino, T., Nagano, S. and Ozaki, S.: Crystal structure of heme acquisition system A from *Yersinia pseudotuberculosis* (HasA_{Ypt}): Roles of the axial ligand Tyr75 and two distal arginines in heme binding. *Journal of Bioinorganic Chemistry*, **151**: 26-33 (Oct., 2015)
- 3) 志方あかね・赤壁善彦：萩のナツミカン果皮の特徴的香気成分。日本味と匂学会誌, **22**: 439-442 (2015年12月)
- 4) Nagahisa, H., Okabe, K., Iuchi, Y., Fujii, J. and Miyata, H.: Characteristics of skeletal muscle fibers of SOD1 knockout mice. *Oxidative Medicine and Cellular Longevity*. 2016, Article ID 9345970, 8 pages (Jan., 2016)
- 5) Sato, H., Kuribayashi, K. and Fujii, K.: Possible practical utility of an enzyme cocktail produced by sludge-degrading microbes for methane and hydrogen production from digested sludge. *New Biotechnology*, **33**: 1-6 (Jan., 2016)

その他

- 1) 井内良仁：高栄養・高機能な昆虫食の研究。明日の食品産業 Food industry for tomorrow, **10**: 29-34, 食品産業センター (2015年10月)
- 2) 田崎英祐・井内良仁：アンチエイジングをめざす—新しい食品機能性評価系の提案—。New Food Industry, 食品資材研究会, **58**(1): 3-28 (2016年1月)

4 国際乾燥地科学専攻

国際乾燥地科学連合講座

【鳥取大学】

著 書

- 1) Jamsran, U., Okuro, T., Norov, M. and Yamanaka, N.: Rangeland plants of Mongolia Vol.1 High mountain belt, mountain forest-steppe belt, Steppe Zone. (ISBN: 978-99973-2-860-1), Munkhiin Useg Co. Ltd, Ulaanbaatar, pp. 464, (Mar., 2015) ※前年度未掲載分
- 2) Jamsran, U., Okuro, T., Norov, M. and Yamanaka, N.: Rangeland plants of Mongolia Vol.2 Desert Steppe and Desert Zones, Extra-Zone. (ISBN: 978-99973-2-860-1), Munkhiin Useg Co. Ltd, Ulaanbaatar, pp. 460, (Mar., 2015) ※前年度未掲載分
- 3) Tsujimoto, H., Sohail, Q. and Matsuoka, Y.: Broadening the genetic diversity of common and durum wheat for abiotic stress tolerance breeding. In: *Advances in Wheat Genetics: From Genome to Field* (Edited by Ogihara, Y. et al., ISBN: 978-4-431-55674-9), Springer Japan, pp. 233-238 (2015)

- 4) Gorafi, Y.S.A. and Tsujimoto, H.: *Leymus racemosus*: A potential species of gene pool enrichment for wheat improvement. In: Gene Pool Diversity and Crop Improvement Vol. 1 (eEdited by Rajpal, V.R., et al., ISBN: 978-3-319-27096-8), Springer, Switzerland, pp. 1-15 (Feb., 2016)
- 5) 遠藤常嘉・山本定博: 地球規模で進む土壌劣化, 土壌塩類化—カザフスタン (シルダリア川下流域), メキシコ, 中国. 最新農業技術 土壌施肥 vol.8 (農文協編, ISBN: 978-4540150609) 農山漁村文化協会, 東京, pp. 35-42 (2016年3月)
- 6) 乾燥地研究センター監修・黒崎泰典・黒沢洋一・篠田雅人・山中典和編: 黄砂—健康・生活環境への影響と対策 (木村玲二: 第3-1節), 丸善出版, 150pp. (2016年3月)
- 7) 黒崎泰典・黒沢洋一・篠田雅人・山中典和編: 黄砂 健康・生活環境への影響と対策, 丸善, pp.150, ISBN: 978-4-621-30029-93-2, 中国における生態系修復 (山中典和・山本福壽) pp. 133-138 (2016年3月)
- 8) 黒崎泰典・恒川篤史: 世界で発生するダストと黄砂. 黄砂—健康・生活環境への影響と対策 (黒崎泰典・黒沢洋一・篠田雅人・山中典和編, ISBN: 978-4-621-30029-9) 丸善出版, 東京, pp. 1-10 (2016年3月)
- 9) 黒崎泰典・篠田雅人: 黄砂発生域の気候, 地形. 黄砂—健康・生活環境への影響と対策 (黒崎泰典・黒沢洋一・篠田雅人・山中典和編, ISBN: 978-4-621-30029-9) 丸善出版, 東京, pp. 11-19 (2016年3月)
- 10) 黒崎泰典: 黄砂の発生メカニズム. 黄砂—健康・生活環境への影響と対策 (黒崎泰典・黒沢洋一・篠田雅人・山中典和編, ISBN: 978-4-621-30029-9) 丸善出版, 東京, pp. 34-47 (2016年3月)
- 11) 黒崎泰典: 黄砂—今と昔. 黄砂—健康・生活環境への影響と対策 (黒崎泰典・黒沢洋一・篠田雅人・山中典和編, ISBN: 978-4-621-30029-9) 丸善出版, 東京, pp. 49-55 (2016年3月)
- 12) 黒崎泰典: 黄砂の輸送経路. 黄砂—健康・生活環境への影響と対策 (黒崎泰典・黒沢洋一・篠田雅人・山中典和編, ISBN: 978-4-621-30029-9) 丸善出版, 東京, pp. 56-59 (2016年3月)
- 13) 西原英治: 世界と日本のアスパラガス—国際化時代の日本のアスパラガス栽培—, ISBN: 978-4-8425-0546-6, 元木悟編著, 第19章 世界および日本各地で問題となる茎枯病と連作障害対策, pp. 283-295, 養賢堂, 東京 (2016年3月)

論文

- 1) Jugder, D., Shinoda, M., Kimura, R., Batbolod, A. and Amarjargal, D.: Quantitative analysis on windblown dust concentrations of PM10 (PM2.5) during dust events in Mongolia. *Aeolian Research*, **14**: 3-13 (Sep., 2014) ※前年度未掲載分
- 2) Kimura, R. and Moriyama, M.: Application of a satellite-based aridity index in dust source regions of northeast Asia. *Journal of Arid Environments*, **109**: 31-38 (Oct., 2014) ※前年度未掲載分
- 3) Mohamed, A.A. and Kimura, R.: Applying the moisture availability index (NTDI) over vegetated land in central Asia: Mongolian steppe. *Journal of Water Resource and Protection*, **6**: 1335-1343 (Oct., 2014) ※前年度未掲載分

- 4) 今田省吾・谷口武士・岩永史子・Acharya Kumud・山本福壽・山中典和：北米大陸におけるアジア由来の侵略的木本外来種の現状—アメリカ合衆国西部乾燥地域のタマリスク. 日本緑化工学会誌, **40**: 331-339 (2014年11月) ※前年度未掲載分
- 5) Abulaiti, A., Kimura, R., Shinoda, M., Kurosaki, Y., Mikami, M., Ishizuka, M., Yamada, Y., Nishihara, E. and Gantsetseg, B.: An observational study of saltation and dust emission in a hotspot of Mongolia. *Aeolian Research*, **15**: 169-176 (Dec., 2014) ※前年度未掲載分
- 6) Kimura, R., Kato, H. and Iwasaki, E.: Cultivation features using meteorological and satellite data from 2001 to 2010 in Dakhla Oasis, Egypt. *Journal of Water Resource and Protection*, **7**: 209-218 (Feb., 2015) ※前年度未掲載分
- 7) Ogasa, M., Miki, N., Okamoto, M., Yamanaka, N. and Yoshikawa, K.: Water loss regulation to soil drought associated with xylem vulnerability to cavitation in temperate ring-porous and diffuse-porous tree seedlings. *Trees - Structure and Function*, **28**: 461-469 (Apr. 2014) ※前年度未掲載分
- 8) Maimaiti, A., Yunus, Q., Iwanaga, F., Mori, N., Tanaka, K. and Yamanaka, N.: Effects of salinity on growth, photosynthesis, inorganic and organic osmolyte accumulation of *Elaeagnus oxycarpa* seedlings. *Acta Physiologiae Plantarum*, **36**: 881-892 (Apr., 2014) ※前年度未掲載分
- 9) Zhang, J., Yamanaka, N., Taniguchi, T. and Xu, M.: Ectomycorrhizal fungal communities of *Quercus liaotungensis* along different successional stands on the Loess Plateau, China. *Journal of Forest Research*, **19**: 395-403 (Aug., 2014) ※前年度未掲載分
- 10) Xu, M., Zhang, J., Liu, G. and Yamanaka, N.: Soil properties in natural grassland, *Caragana korshinskii* planted shrubland, and *Robinia pseudoacacia* planted forest in gullies on the hilly Loess Plateau, China. *Catena*, **119**: 116-124 (Aug., 2014) ※前年度未掲載分
- 11) 井上美那・中川憲一・谷口武士・山本福壽・山中典和：海水による土壌冠水がホウライチク (*Bambusa multiplex*) の生育に及ぼす影響. 日本緑化工学会誌, **40**(1): 43-48 (2014年8月) ※前年度未掲載分
- 12) 岡田憲和・毛恵平・山中典和・吉川賢・王林和・張国盛・山本福壽：中国毛烏素砂地に生育する *Artemisia ordosica* Krasch. と *Caragana korshinskii* Kom. の水分生理特性と浸透調節. 日本緑化工学会誌, **40**(1): 25-30 (2014年8月) ※前年度未掲載分
- 13) 宮崎寛大・岡田憲和・立石麻紀子・山本福壽・毛恵平・谷口武士・山中典和：中国内蒙古クブチ砂漠に植栽後、埋砂された小葉楊 (*Populus simonii* Carr.) の成長と浸透調節. 日本緑化工学会誌, **40**(1): 31-36 (2014年8月) ※前年度未掲載分
- 14) 宮崎寛大・岡田憲和・山本福壽・毛恵平・谷口武士・山中典和：中国の砂漠地で植栽される小葉楊 (*Populus simonii*) , 銀白楊 (*P. alba*) および旱柳 (*Salix matsudana*) 苗木の成長に及ぼす人為的な埋砂の影響. 日本緑化工学会誌, **40**(1): 37-42 (2014年8月) ※前年度未掲載分
- 15) 岩永史子・野口よしの・山本福壽・Ailijiang Maimaiti・岡田憲一・山中典和・谷口真吾：水耕栽培下における塩濃度の違いがヒルギダマシ (*Avicennia marina*) とメヒルギ (*Kandelia obovata*) 稚樹の生育および樹体内のイオン含有量に及ぼす影響. 日本緑化工学会誌, **40**(1): 49-53 (2014年8月) ※前年度未掲載分
- 16) 立石麻紀子・Ailijian Maimaiti・辻将大・井上美那・谷口武士・山本福壽・山中典和：

- 海水浸漬がタブノキ, アカマツ, クロマツの生理に与える影響の経時変化. 日本緑化工学会誌, **40**(1): 54-59 (2014年8月) ※前年度未掲載分
- 17) Mohamed, I. A., A., Maimaiti, A., Mori, N., Yamanaka, N. and Taniguchi, T.: Simultaneous determination of β -alanine betaine and trimethylamine in bacterial culture and plant samples by capillary electrophoresis. *Journal of Analytical Science and Technology*, **5**: 38 (Aug., 2014) ※前年度未掲載分
 - 18) Zhang, J., Guan, J., Shi, W., Yamanaka, N. and Du, S.: Interannual variation in stand transpiration estimated by sap flow measurement in a semiarid black locust plantation, Loess Plateau, China. *Ecohydrology*, **8**: 137-147 (Jan., 2015) ※前年度未掲載分
 - 19) Iwanaga, F., Acharya, K., Imada, S., Taniguchi, T., Kawamura, Y., Tanaka, K., Mori, N., Yamamoto, F. and Yamanaka, N.: Osmolyte accumulation in leaves of *Tamarix ramosissima* growing under various soil conditions in the Colorado River basin. *Landscape and Ecological Engineering*, **11**(1): 199-207 (Jan., 2015) ※前年度未掲載分
 - 20) Taniguchi, T., Acharya, K., Imada, S., Iwanaga, F. and Yamanaka, N.: Arbuscular mycorrhizal colonization of *Tamarix ramosissima* along a salinity gradient in the southwestern United States. *Landscape and Ecological Engineering*, **11**(1): 221-225 (Jan., 2015) ※前年度未掲載分
 - 21) Imada, S., Matsuo, N., Acharya, K. and Yamanaka, N.: Effects of salinity on fine root distribution and whole plant biomass of *Tamarix ramosissima* cuttings. *Journal of Arid Environments*, **114**: 84-90 (Mar., 2015) ※前年度未掲載分
 - 22) Zhang, T., Tsunekawa, A. and Tsubo, M.: Identification of dust hot spots from multi-resolution remotely sensed data in eastern China and Mongolia. *Water, Air, & Soil Pollution*, **226**: 117 (Apr., 2015)
 - 23) Yamada, K., Kobayashi, M. and Fujimaki, H.: Inhibitory effect of polyion complex on raindrop erosion under simulated rainfall, *Transactions of The Japanese Society of Irrigation, Drainage and Rural Engineering*, **83**(2): IV_1-IV_2 (Apr., 2015)
 - 24) 佐井敏・増田達志・原鋭次郎・山中典和・衣笠利彦: 中国における砂丘緑化用灌木 *Caragana korshinskii* Kom. (樺条) の種子サイズと発芽後の成長および乾燥耐性. 日本緑化工学会誌, **41**: 51-55 (2015年5月)
 - 25) Hirobe, M., Miyamoto, S., Sakamoto, K., Kondo, J., Otoda, T., Akaji, Y. and Yamanaka, N.: The spatial distributions of understory trees in relation to dwarf bamboo cover in a cool-temperate deciduous broadleaf forest in Japan. *Journal of Forest Research*, **20**: 357-362 (Jun., 2015)
 - 26) Abd Elbasit, M.A.M., Ojha, C.S.P., Ahmad, Z., Yasuda, H., Salmi, A. and Ahmed, F.: Rain microstructure and erosivity relationships under pressurized rainfall simulator. *Journal of Hydrologic Engineering*, doi: 10.1061/(ASCE)HE.1943-5584.0001140 (Jun., 2015)
 - 27) Kashiwagi, J., Morito, Y., Jitsuyama, Y., An, P., Inoue, T. and Inagaki, M.: Effects of root water uptake efficiency on soil water utilization in wheat (*Triticum aestivum* L.) under severe drought environments. *Journal of Agronomy and Crop Science*, **201**(3): 161-240 (Jun., 2015)
 - 28) Abd Elbasit, M.A.M., Ojha, C.S.P., Ahmad, Z., Yasuda, H., Salmi, A. and Ahmed, F.: Rain microstructure and erosivity relationships under pressurized rainfall simulator. *Journal of*

- Hydrologic Engineering, doi: 10.1061/(ASCE)HE.1943-5584.0001140 (Jun., 2015)
- 29) Kume, T., Yamamoto, T., Shimizu, K. and Jalaldin, A.: Non-uniform distribution of Soil salinity along a transect of an irrigation field in an arid region. *International Journal of Environmental and Rural Development*, **6**(1): 181-187 (Jun., 2015)
 - 30) 鶴田博人・山田智・田辺ひろ子・嘉本早織・益崎望・梁銀麗・猪迫耕二・増永二之・藤山英保：乾燥ストレス条件下のキュウリにおけるアスコルビン酸輸送と抗酸化応答の関係。日本砂丘学会誌，**62**(1):11-20（2015年6月）
 - 31) Yanagawa, A., Fujimaki, H., Okuro, T., Jamsran, U. and Takeuchi, K.: Comparison of drought tolerances in root water uptake model for two co-occurring grass species in Mongolia., *Journal of the Japanese Society of Soil Physics*, **130**: 3-10 (Jul., 2015)
 - 32) Nanasato, Y., Kido, M., Kato, A., Ueda, T., Suharsono, S., Widyastuti, U., Tsujimoto, H. and Akashi, K.: Efficient genetic transformation of *Jatropha curcas* L. by means of vacuum infiltration combined with filter-paper wicks. *In Vitro Cellular and Developmental Biology-Plant*, **51**: 399-406 (Jul., 2015)
 - 33) Ahmed, I. A. M., Eltayeb, M. E., Mori, N., Arima, J., Tanaka, H., Taniguchi, K. and Yamanaka, N.: Proteomic analysis of homocholine catabolic pathway in *Pseudomonas* sp. strain A9. *Process Biochemistry*, **50**: 1735-1747 (Jul., 2015)
 - 34) Okada, A., Ito, T.Y., Buuveibaatar, B., Lhagvasuren, B. and Tsunekawa, A.: Genetic structure in Mongolian gazelles based on mitochondrial and microsatellite markers. *Mammalian Biology*, **80**(4): 303-311 (Aug., 2015)
 - 35) 由澤敏樹・山中典和・谷口武士：鳥取砂丘における海浜植物5種のアーバスキュラー菌根共生とグロマリン様タンパク質蓄積。日本緑化工学会誌，**41**(1): 27-32（2015年8月）
 - 36) 岡村怜美・山本福壽・西原英治・谷口武士・山中典和：塩ストレスがウラルカンゾウ (*Glycyrrhiza uralensis* Fischer ex Candolle) 1年生苗の成長と生理に及ぼす影響。日本緑化工学会誌，**41**(1): 33-38（2015年8月）
 - 37) 山本福壽・藤原佳奈・谷口武士・毛恵平・山中典和：砂移動にともなう埋砂と退砂が小葉楊 (*Populus simonii*) の生理・成長に及ぼす影響。日本緑化工学会誌，**41**(1):39-44（2015年8月）
 - 38) 和泉瑤伽・谷口武士・毛恵平・山本福壽・山中典和：中国内蒙古自治区クブチ砂漠に植栽されたヤナギ科樹木3種の生存、生理および成長。日本緑化工学会誌，**41**(1): 45-50（2015年8月）
 - 39) 佐井敏・増田達志・原鋭次郎・山中典和・衣笠利彦：中国における砂丘緑化用灌木 *Caragana korshinskii* Kom. (樺条) の種子サイズと発芽後の成長および乾燥耐性。日本緑化工学会誌，**41**(1): 51-55（2015年8月）
 - 40) 沖田総一郎・半澤綾菜・坂口美紗・井上美那・山本福壽・山中典和・岩永史子：模擬海水に水没後の土壌の冠水環境がヌマスギ (*Taxodium distichum* (L.) Rich.) とクロマツ (*Pinus thumbergii* Parl.) 苗木の生存と成長におよぼす影響。日本緑化工学会誌，**41**(1): 67-72（2015年8月）
 - 41) 井上美那・香口成美・立石麻紀子・谷口武士・山本福壽・山中典和：海水による土壌冠水が東日本太平洋沿岸域に分布する木本植物17種の生育に及ぼす影響。日本緑化

- 工学会誌, **41**(1): 73-78 (2015年8月)
- 42) Li, X.J., Liu, C.P., An, P., Zhi, E.B., Wang, X.Y., Liu, Z.Y. and Li, X.L.: Effects of extra-deep planting on survival and growth of seedlings in sandy soil. *Bulletin of Soil and Water Conservation*, **35**(4): 148-151 (in Chinese with English abstract), (Aug., 2015)
- 43) Maki, T., Hara, K., Kobayashi, F., Kurosaki, Y., Kakikawa, M., Matsuki, A., Chen, B., Shi, G.-Y., Hasegawa, H. and Iwasaka, Y.: Vertical distribution of airborne bacterial communities in an Asian-dust downwind area. Noto Peninsula. *Atmospheric Environment*, **119**: 282-293 (Aug., 2015)
- 44) Hassan, W., El-Kassar, G., Kitamura, Y., Fujimaki, H. and Khater, A.: Assessment of cost-effective alternatives for improving irrigation systems in the Nile Delta. *Irrigation and Drainage*, **64**: 454-463 (Sep., 2015)
- 45) Chakraborty, S., Yasuda, H., Chakraborty, A., Nabeta, H., Kawai, T. and Ishiyama, S.: The Nile and recent changes in its basin environment: Evidences from literature. *Journal of Resources and Ecology*, doi: 10.5814/j.issn.1674-764x.2015.05.008, **6**:345-352 (Sep., 2015)
- 46) 鶴田博人・山田智・梁銀麗・猪迫耕二・増永二之・藤山英保: ハウスキュウリ栽培における灌水量削減が成長, 栄養吸収および果実品質に及ぼす影響. 日本砂丘学会誌, **62**(2): 55-66 (2015年11月)
- 47) Zhang, J., He, Q., Shi, W., Otsuki, K., Yamanaka, N. and Du, S.: Radial variations in xylem sap flow and their effect on whole tree water use estimates. *Hydrological Process*, **29**: 4993-5002 (Nov., 2015)
- 48) Mohamed Ahmed, I.A., Eltayeb, M.E., Mori, N., Arima, J., Tanaka, H., Taniguchi, T. and Yamanaka, N.: Proteomic analysis of homocholine catabolic pathway in *Pseudomonas* sp. strain A9, *Process Biochemistry*, **50**:1735-1747 (Nov., 2015)
- 49) Taniguchi, T., Imada, S., Acharya, K., Iwanaga, F. and Yamanaka, N.: Effect of soil salinity and nutrient levels on the community structure of the root-associated bacteria of the facultative halophyte, *Tamarix ramosissima*, in southwestern United States. *The Journal of General and Applied Microbiology*, **61**(5): 193-202 (Nov., 2015)
- 50) Kimura, R., Moriyama, M. and Bandou, S.: Relationship between land surface temperature and rice quality in Tottori prefecture, Japan. *International Journal of Remote Sensing*, **36**: 5690-5706 (Nov., 2015)
- 51) Ishii, T., Sunamura, N., Matsumoto, A, Eltayeb, A.E. and Tsujimoto, H.: Preferential recruitment of the maternal centromere-specific histone H3 (CENH3) in oat (*Avena sativa* L.) × pearl millet (*Pennisetum glaucum* L.) hybrid embryos. *Chromosome Research*, **23**: 709-718 (Dec., 2015)
- 52) Haregeweyn, N., Tsunekawa, A., Nyssen, J., Poesen, J., Tsubo, M., Meshesha, D.T., Schütt, B., Adgo, E. and Tegegne, F.: Soil erosion and conservation in Ethiopia: A review. *Progress in Physical Geography*, **39**: 750-774 (Dec., 2015)
- 53) Tefera, G., Tegegne, F., Mekuriaw, Y., Melaku, S. and Tsunekawa, A.: Effects of different forms of white lupin (*Lupinus albus*) grain supplementation on feed intake, digestibility, growth performance and carcass characteristics of Washera sheep fed Rhodes grass (*Chloris gayana*) hay-based diets. *Tropical Animal Health and Production*, **47**: 1581-1590 (Dec., 2015)

- 54) Yoda, K., Miyawaki, R., Saito, T., Elbasit, M., Eldoma, A., Inoue, T., Nawata, H., Yasuda, H. and Tsuji, W.: Evaluation of the ecological role of seed gum in germination of *prosopis juliflora* (mesquite) under drought stress conditions. Journal of Arid Land Studies, **22**:113-116 (Dec., 2015)
- 55) Takemura, Y., Kuroki, K., Katou, M., Kishimoto, M., Tsuji, W., Nishihara, E. and Tamura, F.: Gene expression changes triggered by end-of-day far-red light treatment on early developmental stages of *Eustoma grandiflorum* (Raf.) Shinn. Scientific Reports, **5**: 17864 (Dec., 2015)
- 56) Li, W., Yamaguchi, S., Khan, M.A., An, P., Liu, X. and Tan, L.S.P.: Roles of gibberellins and abscisic acid in regulating germination of *Suaeda salsa* dimorphic seeds under salt stress. Frontiers in Plant Science, **6**: 1235 (Jan., 2016)
- 57) Meshesha, D.T., Tsunekawa, A., Tsubo, M., Haregeweyn, N. and Tegegne, F.: Evaluation of kinetic energy and erosivity potential of simulated rainfall using Laser Precipitation Monitor. Catena, **137**: 237-243 (Feb., 2016)
- 58) Li, R., Tsunekawa, A. and Tsubo, M.: A Comparison of agricultural practices used to mitigate drought in northern China based on a crop model. Sand Dune Research, **62**(3): 79-96 (Feb., 2016)
- 59) 神田隆志・田村憲司・浅野真希・乌云娜・恒川篤史・中村徹：ユーラシアステップにおける表層土壌の土壌有機炭素量に及ぼす気候および粘土含量の影響。日本砂丘学会誌, **62**(3): 97-105 (2016年2月)
- 60) Saito, T., Yasuda, H., Sakurai, M., Acharya, K., Sueki, S., Inosako, K., Yoda, K., Fujimaki, H., Abd Elbasit, M.A.M., Eldoma, A.M. and Nawata, H.: Monitoring of stem water content of native and invasive trees in arid environments using GS3 soil moisture sensors. Vadose Zone Journal, **15**(3), doi: 10.2136/vzj2015.04.0061 (Mar., 2016)
- 61) Iwasaki, T., Kuroda, S., Saito, H., Tobe, Y., Suzuki, K., Fujimaki, H. and Inoue, M.: Monitoring Infiltration process seamlessly using array ground penetrating radar, Agricultural & Environmental Letters, doi: 10.2134/aerl2016.01.0002 (Mar., 2016)
- 62) 中川啓・長浦善之・細川土佐男・齋藤雅彦・安田裕：植生の吸水が土壌中の化学種分布に及ぼす影響, 土木学会論文集 B1 (水工学), **72**(4): I_259-I_264 (2016年3月)
- 63) Yuan, Y., Hao, Z., Berndtsson, R., Jiang, P. and Yasuda, H.: The Mass Balance of Glacier No. 1 at the Headwaters of the Urumqi River in Relation to Northern Hemisphere Teleconnection Patterns. Water 2016, **8**(3): 100, doi: 10.3390/w8030100. 11 (Mar., 2016)
- 64) Kinugasa, T., Hozumi, Y., Nishizima, H., Ishitobi, A. and Miyawaki, M.: Germination characteristics of early successional annual species after severe drought in the Mongolian steppe. Journal of Arid Environments, **130**: 49-53 (Mar., 2016)
- 65) Saito, T., Yasuda, H., Suganuma, H., Inosako, K., Abe, Y. and Kojima, T.: Predicting soil infiltration and horizon thickness for a large-scale waterbalance model in an arid environment. Water 2016, **8**(3): 96, doi: 10.3390/w8030096 (Mar., 2016)
- 66) Nagashima, K., Suzuki, Y., Irino, T., Nakagawa, T., Tada, R., Hara, Y., Yamada, K. and Kurosaki, Y.: Asian dust transport during the last century recorded in Lake Suigetsu sediments. Geophysical Research Letters, **43**: 2835-2842, doi: 10.1002/2015GL067589 (Mar., 2016)

- 67) 籠津杏奈・齊藤忠臣・河合隆行・西本貴之・糟谷哲史・猪迫耕二・安田裕・塩崎一郎：鳥取砂丘におけるオアシス発生・消滅と地下水位の変動. 応用水文, **28**: 21-30 (2016年3月)
- 68) Gorafi, Y.S.A., Eltayeb, A.E. and Tsujimoto, H.: Alteration of vernalization requirement by alien chromosome-mediated transposition of MITE. *Breeding Science*, **66**: 181-190 (Mar., 2016)

その他

- 1) 齊藤忠臣：私のビジョン「海外の現場で感じたこと・学んだこと・考えたこと」. 農業農村工学会誌, **83**(7): 90-92

【島根大学】

著 書

- 1) 佐藤邦明・若月利之・増永二之：多段土壌層法における通水性の改良と水質浄化 (ISBN: 9784540993558) 農業技術大系土壌施肥編 3 (追録第 27 号), 農文協, 東京, pp. 76 の 2-15 (2016年3月)

論 文

- 1) Latrach L, Masunaga, T., Ouazzani N., Hejjaj A., Mahi, M. and Mandi, L.: Removal of bacterial indicators and pathogens from domestic wastewater by the multi-soil-layering (MSL) system. *Soil Science and Plant Nutrition*, **61**(2): 337-346 (Apr., 2015)
- 2) Marques Fong J. D., Masunaga, T. and Sato, K.: Control of Micronutrients Availability in Soil and Concentration in Rice Grain through Field Water Management. *Journal of Agricultural Science*, **7**(5): 163-174, doi: 10.5539/jas.v7n5p163 (May, 2015)
- 3) 鶴田博人・山田智・田辺ひろ子・嘉本早織・益崎望・梁銀麗・猪迫耕二・増永二之・藤山秀保：乾燥ストレス条件下のキュウリにおけるアスコルビン酸輸送と抗酸化応答の関係, 日本砂丘学会誌, **62**(1): 11-20 (2015年6月)
- 4) 佐藤邦明・吉木沙耶香・岩島範子・若月利之・増永二之：多段土壌層法における地域資源の活用による土壌の通水性改良と水質浄化能との関係. 水環境学会誌, **38**(5): 127-137 (2015年9月)
- 5) Kim, D., Ichinohe, T., Choi, K., Oda, S., Hagino, A. and Song, S.: Relationship between nutrient supply to muscle and adipose tissues and nitrogen retention in growing wethers fed forage based diets with different forage sources. *Journal of Korean Society of Grassland and Forage Science*, **35**: 238-244 (Sep., 2015)
- 6) 鶴田博人・山田智・梁銀麗・猪迫耕二・増永二之・藤山英保：ハウスキュウリ栽培における灌水量削減が成長, 栄養吸収および果実品質に及ぼす影響. 日本砂丘学会誌, **62**(2): 55-66 (2015年11月)
- 7) Kim, D.H. Choi, K.C. Ichinohe, T. and Song, S.H.: Effect of different roughage sources and feeding levels on adipogenesis of ovine adipocytes. *Animal Science Journal*, **86**: 943-951 (Nov., 2015)

- 8) Marques Fong J. D., Masunaga T. and Sato, K.: Assessment of the influence of water management on yield component and morphological behavior of rice at post-heading stage. *Paddy and Water Environment*, **14**: 211-220 (Jan., 2016)
- 9) Kim, D.H., Choi, K.C., Song, S.H. and Ichinohe, T.: Effect of grass forage species and long-term period of low quality forage diet feeding on growth performance, nutrient utilization and microbial nitrogen yield in growing wether lambs. *Animal Science Journal*, **87**: 202-208 (Feb., 2016)

その他

- 1) 静間愛樹・海田真帆・平川愛・佐藤邦明・増永二之：島根県産堆肥の特性評価．島根大学生物資源科学部研究報告，**20**: 15-20（2015年9月）
- 2) 宋 相憲：体組織由来の未分化培養細胞を用いた親子放牧黒毛和種牛の肥育生産性評価．島根大学生物資源科学部ミッション研究課題成果報告書2015，**46**（2016年3月）

【山口大学】

論文

- 1) Miyoshi, T., Ibaraki, Y. and Sago, Y.: Development of an Android-tablet-based system for analyzing light intensity distribution on a plant canopy surface. *Computers and Electron in Agriculture*, **122**: 211–217 (Mar., 2016)
- 2) Suzuki, K., Munechika, N., Nakagawa, K., Yamaguchi, K. and Nakakita, E.: Simultaneous measurements of a stratiform cloud by multipoint videosonde launchings, *SOLA*, **12**: 12-16, doi: 10.2151/sola.2016-003 (Jan., 2016)

第2章 招待講演

1 生物生産科学専攻

1) 農業生産学連合講座

【鳥取大学】

【島根大学】

国際学会等

- 1) Matsumoto, T.* and Niino, T.: The History and Evolution of Cryopreservation for Plant. Seminar of preservation of plant genetic resources. Sunchon National University. Sunchon, Korea (Oct., 2015)

国内学会等

- 1) 小林伸雄：起源地霧島山からのキリシマツツジの全国各地への伝搬。第2回全国キリシマツツジサミット in 霧島（鹿児島県霧島市）（2015年4月）
- 2) 小林伸雄：花卉資源に関する海外との研究交流—アルゼンチン、イタリアの事例とスリランカの展望—。第1回アジア遺伝資源利用促進小集会～アジアにおける遺伝資源のポテンシャルとその育種利用～（平成27年度園芸学会秋季大会）（徳島大学）（2015年9月）
- 3) 小林伸雄：ツツジ類における育種の歴史、現状および課題。平成27年度園芸学会秋季大会シンポジウム；Ⅲ 花木類の育種と現状と課題（徳島大学）（2015年9月）
- 4) 小林伸雄：DNA解析による「のとキリシマツツジ」の品種発達と伝播経路。のとキリシマツツジ「深紅の戸籍簿」調査報告会（石川県能登町）（2015年10月）
- 5) 小林伸雄：島根の伝統野菜。食べておいしさを知る野菜の学校2015「日本の伝統野菜・地方野菜」講座（東京都千代田区）（2015年12月）
- 6) 小林伸雄：日本のツツジ遺伝資源の評価と活用。のとキリシマツツジシンポジウム～園芸文化の保護と育成～，神代植物公園（東京都調布市）（2016年3月）

【山口大学】

国際学会等

- 1) Shigyo, M.*, Hirata, S., Abdelrahman, M., Ariyanti, N.A. and Yamauchi, N.: A New “OMICS” platform technology for applied cytogenetics and implications for germplasm enhancement in *Allium*. 7th International Symposium on Edible Alliaceae. Nigde, Turkey (May, 2015)
- 2) Shigyo, M.: New breeding tools in Japan. MAFF Japan project workshop at AVRDC - The World Vegetable Center, East and Southeast Asia, Research & Training Station, Kasetsart University, Kamphaeng Saen, Thailand (Jul., 2015)

国内学会等

- 1) 執行正義：アジアにおける野菜育種に資する遺伝資源と人的資源ネットワークの構築。第1回アジア遺伝資源利用促進小集会（園芸学会平成27年度秋季大会）～アジアにお

- ける遺伝資源のポテンシャルとその育種利用～（徳島大学徳島市）（2015年9月）
- 2) 執行正義：光環境制御による機能性成分の含有量向上. 情報機構 植物工場セミナー：植物工場における機能性農産物の栽培法とビジネスチャンス～高付加価値の野菜・ハーブを作るには？～（東京都品川区）（2015年6月）

2) 森林資源学連合講座

【鳥取大学】

国内学会等

- 1) 日置佳之*・佐野文俊・石田浩之・中住朋裕：緑道の立地環境区分，日本景観生態学会第25回北九州大会講演要旨集，p36，北九州（2015年6月）
- 2) 小川大介*・日置佳之：津黒高原湿原の自然再生，日本景観生態学会第25回北九州大会講演要旨集 p47，北九州（2015年6月）

【島根大学】

国際学会等

- 1) 伊藤勝久：「過疎地域振興に関わる外部からの応援隊と地域住民—地域おこし協力隊・集落支援員・Iターン者と地域住民意識—」，第13回島根大学・寧夏大学国際共同研究所国際学術セミナー，寧夏大学（中国）（2015年10月15日～16日）
- 2) Katsuhisa, I.: Forest Owners' Management Behavior in delayed plantation area of Japan. The 12th Workshop on Social Capital and Development Trends in the Swedish and Japanese Countryside, Takayama, Gifu (23th May, 2016)

国内学会等

- 1) 久保満佐子：隠岐諸島の自然と人の営み～ジオパークと天然スギ～. 屋久島学ソサエティ第3回大会テーマセッション1 黒潮がつなぐ古代杉の世界（鹿児島県屋久島町）（2015年11月）
- 2) 小菅良豪*・伊藤勝久：「森林経営計画策定の推進要因と民間林業事業体の計画策定参入の意義と可能性」，林業経済学会2015秋季大会，和歌山大学（2015年11月15日）
- 3) 伊藤勝久・王広金・栗畑恭介・王鉄億・王国慶・董小煥・曹志涛：「中国寧夏農村の社会関係資本(Social Capital)賦存状況の地域差に関する考察—寧夏都市近郊農村と南部山区農村との比較から—」，立命館大学社会システム研究所国際学術交流研究会・経済学会経済セミナー「東アジアの土地・住宅と農業・農村問題」，立命館大学（草津）（2016年1月15日）
- 4) 伊藤勝久：「新旧島民の社会的関係性と幸福感—離島におけるソーシャル・キャピタルと幸福要素の計測—」，現代世界経済セミナー，島根大学（2016年2月14日）

3) 経済・経営学連合講座

【鳥取大学】

国内学会等

- 1) 万里：周辺諸国の青果物流通と国産無等級青果物販売の実践，鳥取大学大学院連合農学研究科・日中韓合同国際シンポジウム（鳥取県鳥取市）（2015年10月）
- 2) Tanaka, J.*, Yasunobu, K. and Siliphouthone, I: Roles and Constraints of Community Rice Seed Center in Thailand-A case study from Ubon Ratchathani and Khon Kaen provinces. Annual meeting on rice research and development in Northeast Thailand, Northeastern Cluster of Rice Research Centers of Thailand (Mar., 2016)

【島根大学】

国内学会等

- 1) 伊藤康宏：島根大学の取り組み：しまだい COC 事業．第 57 回地域漁業学会広島大会ミニシンポジウム（広島大学）（2015年10月）
- 2) 伊藤康宏：松江藩と島根県の「漁場図」：歴史学・水産史からのアプローチ．第 19 回常民文化研究講座：シンポジウム『漁場図』を読む（神奈川大学日本常民文化研究所）（2015年12月）

2 生物環境科学専攻

1) 生産環境工学連合講座

【鳥取大学】

国内学会等

- 1) 緒方英彦：冬期積雪が低木街路樹の損傷に及ぼす影響，農村道路，農村道路研究部会報，**25**: 23-28（2015年11月）
- 2) 緒方英彦：凍害が生じているコンクリート開水路の診断と対策工法，材料と施工，材料施工研究部会報，**54**: 43-50（2016年1月）

【島根大学】

国内学会等

- 1) 武田育郎：水路底質の堆積と剥離が水田流域からの年間負荷流出に及ぼす影響．日本水環境学会シンポジウム（長野県長野市）（2015年9月）
- 2) 武田育郎：高齢化社会における豊かな農山村の創造と水環境—現状と課題—．島根大学生物資源科学部ミッション農山村の生活・環境部門公開シンポジウム『汽水域の環境管理と地域活性化に向けて』（島根県松江市）（2015年12月）
- 3) 佐藤利夫：「国立大学法人島根大学の地域志向人材の育成に向けた取組」．第 23 回 地域を活かす科学技術政策研修会—地方創生に向けた地域の科学技術資産の活用—．（松江市）（2016年2月）

2) 環境科学連合講座

【鳥取大学】

国際学会等

- 1) Shimomura, N.: Recent research about mushroom cultivation technology in Japan. The 1st International Workshop on Edible Mushroom Cultivation Technology in Indonesia. IPB International Convention Center, Bogor, Indonesia (Nov., 2015)

国内学会等

- 1) 一柳 剛 : LPS/LOS の酸性コア糖鎖の化学合成研究. 日本農芸化学会中四国支部創立 15 周年記念第 19 回若手研究者シンポジウム (第 7 回農芸化学の未来開拓セミナー) (岡山県岡山市) (2015 年 5 月)

3 生物資源科学専攻

1) 生物機能科学連合講座

【鳥取大学】

国際学会等

- 1) Azuma, M.: Physiology of aquaporins in lepidopteran caterpillars. Entomology 2015, 63rd Annual Meeting of the Entomological Society of America, Minneapolis, USA (Nov., 2015)

国内学会等

- 1) 有馬二郎 : ペプチド分解酵素のアミノリシスによるペプチド結合の形成とその応用, 2015 年度日本農芸化学会中四国支部例会, 鳥取 (2015 年 6 月)
- 2) 上中弘典*・山口勝司・井田喜子・三柴啓一郎・岩瀬剛二・西村幹夫・重信秀治・真野昌二 : ツツジ科植物の比較解析から見えてきた菌従属栄養植物の適応進化と無葉緑化. 日本植物学会第 79 回大会・シンポジウム「複合適応形質の進化」(新潟県新潟市) (2015 年 9 月)
- 3) 上中弘典 : 菌類に寄生して生きる植物の菌根共生メカニズムと進化. 鳥取大学ポストグローバル COE プログラム公開シンポジウム「菌根—その多様性・生態・進化—」(東京都・台東区) (2016 年 3 月)

【鳥根大学】

国際学会等

- 1) Ozoe, Y.*, Nomura, K., Kita, T. and Ozoe, F.: Molecular pharmacology of homomeric UNC-49B channels from southern root-knot nematodes. 250th American Chemical Society National Meeting, Boston, USA (Aug., 2015)
- 2) Kawamukai, M.: Biosynthesis of CoQ10 in fission yeast. The 8th international CoQ10 association, Bologna, Italy (Oct., 2015)

国内学会等

- 1) 児玉有紀：繊毛虫ミドリゾウリムシと緑藻クロレラとの細胞内共生．昆虫共生酵母研究会主催公開シンポジウム「生物の共生進化を考える」（島根県松江市）（2015年6月）
- 2) 戒能智宏：分裂酵母におけるコエンザイム Q の機能～欠損株の性質と抗酸化～．日本農芸化学会中四国支部創立 15 周年記念第 20 回若手研究者シンポジウム「若手研究者による農芸化学の将来の展望」（島根県松江市）（2015年10月）
- 3) 石川孝博：ミドリムシが燃料になる！？—ミドリムシのバイオ燃料としての可能性について—．日本農芸化学会中四国支部第 26 回市民フォーラム（愛媛県高松市）（2015年11月）
- 4) 石川孝博：微細藻類ユーグレナによるバイオ燃料生産基盤技術の開発．中国地域バイオマス利用研究会，広島大学バイオマスプロジェクトセンターシンポジウム（広島県広島市）（2016年3月）
- 5) 川向誠*・戒能智宏：コエンザイム Q10 の生合成と微生物生産．日本農芸化学会 2016 年度大会シンポジウム「身近で多様なイソプレノイドの生合成“薬品，香料，バイオ燃料から天然ゴムまで”」（北海道札幌市）（2016年3月）

【山口大学】

国内学会等

- 1) 真野純一：活性酸素は細胞にどう作用するのか．京都植物バイテク談話会 第 39 回植物バイテクシンポジウム，京都（2015年7月21日）
- 2) 高坂智之*・櫻田朋子・加藤舜・白丸優希・吉田咲紀・山下舞子・中島康之・松谷峰之介・村田正之・山田守：*Zymomonas mobilis* の耐熱性と耐熱化；2015 微生物生態学会（大会シンポジウム）茨城県土浦市（2015年10月20日）
- 3) 真野純一：野菜の新規な抗酸化機能性．千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議平成 27 年度シーズ発表会「バイオテクノロジー研究の動向—食品，バイオマスから育種まで—」（千葉）（2016年1月29日）

2) 資源利用化学連合講座

【鳥取大学】

国内学会等

- 1) 藪田行哲：植物における光酸化的ストレス応答のシグナル伝達に関する研究．日本農芸化学会中四国支部 支部創立 15 周年記念第 42 回講演会（例会）（鳥取県鳥取市）（2015年6月）
- 2) 岩崎崇：新しい細胞膜透過ペプチド『ポリヒスチジン』．日本農芸化学会中四国支部第 19 回若手シンポジウム（岡山県岡山市）（2015年5月）

【島根大学】

国際学会等

- 1) Yamamoto, T.*, Uemura, S., Noothalapati, H., Ohshima, N., Kinoshita, Y., Ando, M. and Hamaguchi, H.: Development of new medical diagnostic techniques by Raman spectroscopy, Third Taiwan International Raman Spectroscopy, Nichigetsutan, Taiwan (Jun., 2015)
- 2) Yamamoto, T.*, Uemura, S., Noothalapati, H., Ohshima, N., Kinoshita, Y., Ando, M. and Hamaguchi, H.: New development of a Raman diagnosis for Eosinophil Esophagitis, Biomedical Molecular Imaging 2015, Xitou, Taiwan (Nov., 2015)

国内学会等

- 1) 横田一成：山陰地域の生物資源に由来するポリフェノール類による脂質代謝制御，平成27年度油化学会シンポジウム in 出雲～健康・美容に貢献する油化学～（出雲）（2015年7月）
- 2) 上村魁・ヘマンス ヌータラパティ・大嶋直樹・安藤正浩・浜口宏夫・木下芳一・山本達之*：マン分光法を用いた好酸球性食道炎の非生検的診断の試み，第13回医用分光学会研究会年会（東京都市ヶ谷）（2015年12月）

【山口大学】

国際学会等

- 1) Ozaki, S.*, Hino, T. and Nagano, S.: Heme transport and metabolism in Yersinia pseudotuberculosis. International Chemical Congress of Pacific Basin Societies. Honolulu, USA (Dec., 2015)
- 2) Iuchi, Y.: Functionality of edible insects. 14th Annual Meeting of Society for Free Radical Research- India 2016. Kalyani, India (Jan., 2016)

4 国際乾燥地科学専攻

国際乾燥地科学連合講座

【鳥取大学】

国際学会等

- 1) Kinugasa, T.: Toward restoration of the grassland vegetation damaged by vehicle track formation in Mongolia. International Symposium on Preparedness for Dust Hazard, Tottori, Japan (Sep., 2015)
- 2) Tsujimoto, H.: Wheat prebreeding to enhance the germplasm for the next generation. 2nd International Plant Breeding Congress. Antalya, Turkey (Nov., 2015)
- 3) Yamada, S.: Development of Aquaponics Combined with Open Culture Adapting to Arid Regions for Sustainable Food Production. International Symposium of SATREPS-programs on Sustainable Aquatic Bioresources, Tokyo, Japan (Dec., 2016)

- 4) Yasuda, H.: The role of Mesquite on desertification control. The First International Environment Conference on the Implementation of Green Belt Khartoum State. Khartoum, Sudan (Mar., 2016)

国内学会等

- 1) 木村玲二：気象メッシュの基本と活用. 鳥取県農業気象研修会（鳥取県北栄町）（2014年6月）※前年度未掲載分
- 2) 木村玲二：鳥取砂丘の風と砂移動. 乾燥地研究センター一般公開（2015年8月8日）
- 3) 木村玲二：鳥取砂丘から世界の乾燥地へ—砂丘農業と乾燥地研究の生い立ち—. 中四国南北軸交流懇談会鳥取交流会（鳥取市）（2016年1月22日）
- 4) 木村玲二：2012年～2014年までの鳥取砂丘の風向・風速の特徴. ふしぎ発見！鳥取砂丘—鳥取砂丘調査研究報告会（鳥取市）（2016年1月23日）
- 5) 木村玲二：鳥取県における地表面温度とコメの品質との関係. 九州沖縄農業試験研究推進会議生産環境部会（熊本県合志市）（2016年2月2日）
- 6) Akashi, K.: Jatropha biomass energy production in the frost- and drought-prone regions around Kalahari Desert in Botswana. SATREPS 新企画ワークショップ, 大阪（2016年3月22日）

【鳥取大学】

国内学会等

- 1) 増永二之：熱帯アジア・アフリカ地域の稲作の安定化と拡大におけるケイ酸の役割. 第28回環境工学連合講演会「Future earth：工学が果たす役割について」日本学術会議土木工学・建築委員会学際連携分科会（東京都）（2015年5月）

第3章 学術賞等の受賞

1 生物資源科学専攻

1) 農業生産学連合講座

【島根大学】

- 1) 中務 明：日本食品保蔵科学会 奨励賞（2015年6月25日）
- 2) 小林 和弘：日本作物学会論文賞（2016年3月28日）

2 生物環境科学専攻

1) 生産環境工学連合講座

【鳥取大学】

- 1) 緒方 英彦：平成27年度農業農村工学会優秀技術賞（2015年9月1日）

2) 環境科学連合講座

【鳥取大学】

- 1) 霜村 典宏：医学生物学電子顕微鏡技術学会 学会賞（応用部門）（2015年6月19日）

3 生物資源科学専攻

1) 生物機能科学連合講座

【鳥取大学】

- 1) 東 政明：平成27年度 日本蚕糸学会賞（2015年9月26日）
- 2) 上中 弘典：日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞」（2015年7月1日）
- 3) 上中 弘典：日本食品工学会第16回年次大会「インダストリアルプラザ優秀賞」（2015年8月10日）
- 4) 有馬 二郎：日本農芸化学会中四国支部奨励賞（2015年6月13日）

【島根大学】

- 1) 川向 誠：日本コエンザイムQ研究会奨励賞（2016年2月）

4 国際乾燥地科学専攻

国際乾燥地科学連合講座

【鳥取大学】

- 1) 辻本 壽：日本育種学会賞（2016年3月21日）

【島根大学】

- 1) 宋 相憲：日本畜産学会優秀論文賞（2016年3月28日）

第4章 研究助成

1 生物生産科学専攻

1) 農業生産学連合講座

【鳥取大学】

科学研究費

田村 文男	基盤研究 (C)	温暖化後も栽培可能な少低温要求性ニホンナシの育種と休眠主動遺伝子の同定計
山口 武視	基盤研究 (C)	塩生植物アッケシソウのバイオ燃料生産能と環境修復能の実証試験による評価
田中 裕之	基盤研究 (C)	小麦粉品質の多様性拡大に向けた野生種染色体の微細領域導入による新規育種素材の開発

その他

田村 文男	奨学寄附金：2件，受託研究：1件，共同研究：1件
田中 裕之	受託研究：1件
近藤 謙介	奨学寄附金：3件，共同研究：2件

【島根大学】

科学研究費

小葉田 亨	挑戦的萌芽研究 基盤研究 (B)	プロフィール灌漑システムによる作物の水分吸収機能評価 高温に対する子実成長の低反応性と高炭酸同化機能に着目したイネの高温登熟耐性
小林 伸雄	基盤研究 (B)	日本から海外に渡ったツツジ園芸品種の遺伝的選抜と栽培環境適応に関する研究
松本 真悟	基盤研究 (C)	代替カリ資源としてのバイオマス発電燃焼灰および乾燥海藻の肥料化とその活用
江角 智也	若手研究 (B)	フロリゲン・アンチフロリゲン遺伝子群から探るサクラの花序形態形成の多様性

その他

板村 裕之	共同研究 1件
浅尾 俊樹	奨学寄附金：1件，受託研究：1件，共同研究：6件
小林 伸雄	奨学寄附金：1件，共同研究：1件
松本 真悟	受託研究：3件，共同研究：2件
松本 敏一	奨学寄附金：1件，受託研究：1件
小林 和弘	受託研究：1件

【山口大学】

科学研究費

山本 晴彦	基盤研究 (B) (海外学術)	中国東北部の冷帯稲作地帯における気象・水資源の 100 年変動に基づく生産リスク予測
執行 正義	基盤研究 (B)	ネギ属バイオリソースを用いたオミクス統合解析のタマネギ育種への応用
	挑戦的萌芽研究	新規植物育成技術「Shigyo 法」の原理解明：赤青の交互照射に対する植物の応答
荒木 英樹	基盤研究 (B)	タンザニア水稲の水利用効率改善技術と農民間普及アプローチによる技術普及法開発
	基盤研究 (C)	コムギの枯れ熟れ様登熟不良の原因を解明し、改良施肥法で症状を緩和させる

その他

山本 晴彦	奨学寄附金：1 件，受託研究：4 件，共同研究：1 件
執行 正義	奨学寄附金：1 件，受託研究：2 件，共同研究：4 件
高橋 肇	受託研究：1 件
細井 英嗣	受託研究：1 件，共同研究：1 件
荒木 英樹	受託研究：2 件

2) 森林資源学連合講座

【鳥取大学】

科学研究費

日置 佳之	挑戦的萌芽研究	緑道の計画手法に関する研究
長澤 良太	基盤研究 (C)	リモートセンシングと Web-GIS を用いた動的土地利用図作成手法の検討
藤本 高明	基盤研究 (C)	異なる水分環境で生育した樹木の木材性質変動解析

その他

日置 佳之	奨学寄附金：1 件
-------	-----------

【島根大学】

その他

伊藤 勝久	受託研究：2 件
-------	----------

3) 経済・経営学連合講座

【鳥取大学】

科学研究費

松田 敏信 基盤研究 (C) ビッグデータによる原子力発電所事故の食料需要への影響分析

その他

古塚 秀夫 共同研究 1 件

【島根大学】

科学研究費

森 佳子 若手研究 (B) リレーションシップバンキングを基軸とした農業金融の手法と金融機関連携の研究

その他

伊藤 康宏 共同研究 : 2 件

井上 憲一 受託研究 : 1 件

2 生物環境科学専攻

1) 生産環境工学連合講座

【鳥取大学】

科学研究費

猪迫 耕二 基盤研究 (C) 乾燥地・半乾燥地に展開する農地の持続的利用のための除塩・防塩システムの構築

その他

緒方 英彦 奨学寄附金 : 2 件

猪迫 耕二 奨学寄附金 : 1 件

野波 和義 受託研究 : 2 件, 共同研究 : 1 件

【島根大学】

科学研究費

谷野 章 外国人特別研究員奨励費

基盤研究 (C) 日伊温室に適用する半透過型太陽電池温室屋根材の開発
受光角度を自律制御するエネルギー自給型の温室用半透過太陽電池ブラインドシステム

宗村 広昭 基盤研究 (C) 渡鳥コハクチョウのもつ営農コスト削減ポテンシャルの検証と湖沼流域への負荷削減効果

その他

谷野 章 受託研究：1件，共同研究：1件

石井 将幸 奨学寄附金：1件

2) 環境科学連合講座

【鳥取大学】

科学研究費

會見 忠則	基盤研究 (C)	きのこは、なぜアルコール発酵できないのか？
中桐 昭	基盤研究 (C)	微好気培養法による未知水生菌類の探索と培養株の収集・保存
霜村 典宏	基盤研究 (C)	海岸林・山林復旧を目的とした耐塩性および強増殖性シロウロ菌の開発
一柳 剛	基盤研究 (C)	ヒト抗体が認識する LPS/LOS 内部コア糖鎖の合成とエピトープ解析
早乙女 梢	若手研究 (B)	「エサの喰い方」の多様化から見た木材腐朽性きのこ類の進化の解明

その他

霜村 典宏 奨学寄附金：1件，受託研究：2件

一柳 剛 共同研究：1件

児玉基一朗 奨学寄附金：2件，受託研究：2件

松本 晃幸 受託研究：1件

【島根大学】

科学研究費

國井 秀伸	基盤研究 (B)	DPSIR モデルによる宍道湖における突発的な水草の分布拡大の評価と対策
山口 啓子	挑戦的萌芽研究	メダカを利用した耳石微量試料の酸素同位体比による回遊履歴解読手法の開発
桑原 智之	基盤研究 (C)	三元素系複合含水酸化物を用いた地下水からの有害陰イオンの除去
木原 淳一	基盤研究 (C)	糸状菌の紫外線センシング：紫外線受容体の解明に向けた多面的アプローチ
堀之内正博	基盤研究 (B)	造成海草藻場動物群集の種多様性や個体密度をより高めるためには？—タイ沿岸の環境修復—

その他

佐藤 利夫 共同研究：3件
國井 秀伸 受託研究：1件
上野 誠 奨学寄附金：1件，受託研究：2件，共同研究：3件
山口 啓子 奨学寄附金：1件，受託研究：1件
堀之内正博 奨学寄附金：1件
桑原 智之 奨学寄附金：2件，共同研究：3件
泉 洋平 奨学寄附金：1件，受託研究：1件

【山口大学】

科学研究費

伊藤 真一	基盤研究 (C)	タマネギ乾腐病菌のエフェクター
竹松 葉子	基盤研究 (C)	木材害虫ヤマトシロアリ属の日本における分類および分布と防除への応用
柳 由貴子	基盤研究 (C)	アルミニウム-腐植複合体の微生物分解に対する安定性

その他

伊藤 真一 奨学寄附金：1件，受託研究：1件，共同研究：3件
横山 和平 奨学寄附金：1件，共同研究：1件
竹松 葉子 奨学寄附金：1件，受託研究：1件，共同研究：2件
柳 由貴子 奨学寄附金：1件

3 生物資源科学専攻

1) 生物機能科学連合講座

【鳥取大学】

科学研究費

東 政明	基盤研究 (C)	昆虫の膜脂質特性を与えたりポソームを用いた溶質輸送調節の解析
有馬 二郎	基盤研究 (C)	新奇物質探索ツール構築に向けたセリンペプチダーゼの構造生物学的解析
上中 弘典	挑戦的萌芽研究	ラン科植物の「菌寄生性共生」の成立には相利共生の共通共生経路の遺伝子群が必要か？
中 秀司	基盤研究 (C)	配偶行動の解析を基盤とした難防除ノメイガ類性誘引剤の創製とその応用

その他

東 政明 共同研究：1 件
上中 弘典 奨学寄附金：2 件，受託研究：3 件，共同研究：1 件
中 秀司 受託研究：1 件，共同研究：3 件
岡 真理子 共同研究 1 件

【島根大学】

科学研究費

澤 嘉弘	基盤研究 (C)	銅含有アミノキシダーゼから各種アミノキシダーゼの創成
尾添 嘉久	基盤研究 (B)	創薬ターゲットとしてのリガンド作動性陰イオンチャネルに関する研究
石川 孝博	基盤研究 (B)	ソース・シンク器官におけるアスコルビン酸プールサイズ制御機構の解明
	挑戦的萌芽研究	大規模探索系による植物アスコルビン酸輸送体の同定
川向 誠	基盤研究 (B)	真核生物のコエンザイム Q 生合成反応の解明
中川 強	基盤研究 (C)	植物生殖器官の発達に関わる細胞内商用輸送の機能解析
松崎 貴	基盤研究 (C)	表皮バリア機能発達過程解析をモデルにしたオボッサム皮膚への遺伝子導入法の開発
赤間 一仁	基盤研究 (C)	様々な環境ストレスに応答するイネ GABA 経路の機能解明と分子育種への展開
戒能 智宏	基盤研究 (C)	コエンザイム Q が関与するシステイン代謝における酸化ストレス制御機構の解析
児玉 有紀	若手研究 (B)	細胞内共生成立の分子機構と細胞内共生の進化的意義の解明
舞木 昭彦	若手研究 (B)	生物群集における種間相互作用多様性の役割の理論的解明
古田賢次郎	若手研究 (B)	昆虫の脱皮変態を制御する幼若ホルモン拮抗阻害剤の創製とその作用発現機構の解明

その他

澤 嘉弘 奨学寄附金：1 件
尾添 嘉久 奨学寄附金：3 件
石川 孝博 受託研究：1 件
川向 誠 受託研究：1 件，共同研究：1 件
松崎 貴 奨学寄附金：2 件，共同研究：3 件
赤間 一仁 奨学寄附金：1 件，受託研究：1 件
秋吉 英雄 共同研究：1 件
児玉 有紀 共同研究：1 件
松尾 安浩 受託研究：1 件

【山口大学】

科学研究費

真野 純一	基盤研究 (C)	酸化シグナルによる植物細胞傷害プロセス解明: 活性カルボニル種の作用とインパクト
阿座上弘行	基盤研究 (C)	オートインデューサーの変換による新たな口腔細菌間コミュニケーションの解明と応用
小林 淳	基盤研究 (B)	東～南アジアの野蚕 NPV の防除と利用に役立つ比較ゲノム研究
	挑戦的萌芽研究	逆遺伝学的アプローチによる不均一な蛹期間による両賭け戦略のメカニズム検証

その他

真野 純一 共同研究 : 1 件

2) 資源利用化学連合講座

【鳥取大学】

科学研究費

渡邊 文雄	基盤研究 (C)	食品に含まれる擬似ビタミン B12 群が生体に及ぼす影響の精密解析
河野 強	基盤研究 (B)	線虫の休眠打破機構に関する化学生物学的研究
藪田 行哲	基盤研究 (C)	12-オキシフィトジエン酸が関わるレトログレードシグナルの解明
岩崎 崇	若手研究 (B)	細胞膜透過ペプチド: ポリヒスチジンを利用した高効率な分子輸送技術の開発

その他

渡邊 文雄 奨学寄付金 : 2 件, 受託研究 : 2 件, 共同研究 : 3 件

河野 強 受託研究 : 1 件

岩崎 崇 奨学寄付金 : 2 件

【島根大学】

科学研究費

横田 一成	基盤研究 (C)	異なるライフステージでの脂肪細胞のアラキドン酸カスケード反応経路の発現調節と役割
	特別研究員奨励費	プロスタグランジン D ₂ と J ₂ シリーズの生合成と脂肪細胞形成と肥満での多様な作用

山本 達之	基盤研究 (B)	ラマン分光法を用いた、好酸球性食道炎の非生検診断法の開発
	挑戦的萌芽研究	ミドリゾウリムシークロレラ共生系の PV 膜分化機構のラマン分光法による解明

その他

横田 一成 受託研究：1 件
吉清 恵介 受託研究：1 件

【山口大学】

科学研究費

小崎 紳一	基盤研究 (C)	ヘム要求性歯周病菌の「ヘム取り込み機構の解明」および「生育阻害剤の探索」
藤井 克彦	基盤研究 (C)	微生物を活用した、環境調和型 Waste-to-Energy プロセスの構築
井内 良仁	挑戦的萌芽研究	昆虫食の機能性評価

その他

赤壁 善彦 共同研究：3 件
藤井 克彦 受託研究：2 件

4 国際乾燥地科学専攻

国際乾燥地科学連合講座

【鳥取大学】

科学研究費

辻本 壽	基盤研究 (B)	高温耐性育種のためのコムギ野生植物変異の開拓
恒川 篤史	基盤研究 (A)	国際河川・青ナイル川流域における土壌侵食・土壌流亡緩和のための土地管理」
山中 典和	基盤研究 (B)	黄砂発生域における草原生態系の菌根共生とグロマリン蓄積
安田 裕	基盤研究 (B)	乾燥環境下における外来植種の排他的侵入特性と地下水文系のヘテロ性との関連
木村 玲二	基盤研究 (B)	東アジア黄砂発生監視システムの開発
清水 克之	基盤研究 (C)	中国・黄土高原における天水農地の塩類集積とそのメカニズムの解明
安 萍	基盤研究 (C)	根の細胞壁の化学・物理特性と作物の耐塩性の関係の解明
黒崎 泰典	基盤研究 (B)	ゴビ砂漠の詳細観測に基づく黄砂-地表面過程モデルの構築

齊藤 忠臣 若手研究 (B) 土壌・樹体内水分モニタリングと水の安定同位体比分析による乾燥地樹木の生存戦略解明

その他

辻本 壽 奨学寄附金：1件，受託研究：6件

藤巻 晴行 共同研究：4件

安田 裕 奨学寄付金：1件

木村 玲二 共同研究：2件

明石 欣也 受託研究：1件，共同研究：1件

西原 英治 受託研究：10件，共同研究：1件

山田 智 受託研究：1件，共同研究：1件

衣笠 利彦 共同研究：2件

木村 玲二 共同研究：2件 ※前年度未掲載分

【島根大学】

科学研究費

宋 相憲 若手研究 (B) 反芻動物の筋組織発達におけるケメリンおよびその受容体の作用究明

その他

一戸 俊義 共同研究：1件

増永 二之 共同研究：3件

佐藤 邦明 受託研究：2件

【山口大学】

科学研究費

荊木 康臣 基盤研究 (B) 苗生産における光環境制御による病害防除
挑戦的萌芽研究 光強度の時間変動を利用した植物の抗酸化能の増強

その他

鈴木 賢士 受託研究：1件，共同研究：1件

第5章 その他の教育研究活動

1 生物生産科学専攻

1) 農業生産学連合講座

【鳥取大学】

田中 裕之

- ・ 上中弘典・伊福伸介・河毛真由美・竹村圭弘：バイオナノファイバーにより穀物粉生地強度を高める技術．特願 2015-130228（特開 2016-027795）

【島根大学】

小葉田 亨

小林 伸雄

松本 真悟

- ・ 挑戦的萌芽研究の実験として西オーストラリア大学と CSIRO との共同研究
- ・ のとキリシマツツジ育成講習会講師．石川県立能登産業技術専門校（石川県能登町）（2015年5月）
- ・ 平成27年度島根県農業技術センター試験検討会議外部専門委員（2015年7月）
- ・ 平成27年度島根県農業技術センター重点研究（有機畑作野菜）の中間検討会議外部専門員（2015年9月）
- ・ J A やすぎ地区本部土壌・肥料研修会（2015年11月）
- ・ 春日純子：島根大学研究機構汽水域研究センター第23回新春恒例汽水域研究発表会．宍道湖・中海から回収される海藻・水草の有機質肥料としての利用可能性（2016年1月）
- ・ 海藻農法普及セミナー「森林資源を農業に活かす」（2016年2月）
- ・ 国土交通省出雲河川事務所委託研究成果勉強会講師（2016年3月）
- ・ 浜田市・島根大学生物資源科学部連携企画人材養成講座「浜田市の果樹を用いた特産品開発の可能性」浜田市（2016年3月）

【山口大学】

執行 正義

- ・ 植物の新しい可能性を引き出す SHIGYO 法栽培．第一回 昭和電工植物工場セミナー（東京都港区）（2015年10月）

2) 森林資源学連合講座

【鳥取大学】

日置 佳之

- ・ 持続的過疎社会形成研究費
- ・ 鳥取大学地域貢献支援事業
- ・ 鳥取大学地（知）の拠点整備事業）

【島根大学】

久保満佐子

・「理数科校外研修 フィールドワーク研修（植生調査）」講師. 岡山県立倉敷天城高等学校（鳥取県江府町）（2015年7月31日）

伊藤 勝久

・小池浩一郎・米康充・山下多聞・高橋絵里奈：「拡大造林地域における循環的林業を志向する「積極的森林経営」の担い手育成プロジェクト」. 平成27年度文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業，島根大学職域プロジェクト「地域版学び直しプログラム」の開発・実証

・「2015年度水と緑の県民税アンケート」島根県との共同研究

3) 経済・経営学連合講座

【島根大学】

井上 憲一

・一般農業情勢，農業・農村地域の実態. JA 島根ユースカレッジ，松江市（2015年4月）

・組織マネジメント. JA 戦略型中核人材育成研修，松江市（2015年10月）

2 生物環境科学専攻

1) 生産環境工学連合講座

【鳥取大学】

緒方 英彦

・農業農村工学会 研究委員会委員，プログラム編成小委員会委員長，材料施工研究部会幹事，農村道路研究部会幹事

・コンクリート中の気泡の役割・制御に関する研究委員会（TC141A）副委員長

・農業水利施設機能総合診断士試験講習会（農業土木事業協会）講師

・鳥取県河川委員会（鳥取県県土整備部河川課）委員

・鉱山跡措置技術委員会（独立行政法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター）委員

・東伯地区国営施設機能保全事業調整協議会（農林水産省中国四国農政局中国土地改良調査管理事務所）委員

・無機系表面被覆工法試験工事の検討会（農林水産省中国四国農政局中国土地改良技術事務所）委員

・農業水利施設の機能保全の手引き（工種別編）の改訂に係わる検討会（農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室・水資源課施設保全管理室）委員

・（財）日本水土総合研究所 客員研究員

猪迫 耕二

- ・鳥取農業大学校非常勤講師
- ・JICA 集団研修「乾燥地における持続的農業のための土地・水資源の適性管理」の代表および講師

【鳥根大学】

武田 育郎

- ・日本水環境学会中国四国支部長
- ・環境技術学会「環境技術」編集委員
- ・Editorial Board (The Open Hydrology Journal)

宗村 広昭

- ・物理系科目「基礎水理学」への反転授業の導入と課題（特集 反転授業を導入した授業改革の取り組み），大学教育と情報，1，13-17.（2015年6月）

谷野 章

- ・Università degli Studi di Sassari, Dipartimento di Agraria 客員教授（2015年11月，イタリア）

2) 環境科学連合講座

【鳥取大学】

中桐 昭

- ・公開講座（大学開放推進事業）牛島秀爾，前川二太郎，中桐 昭(運営)「里山きのご観察講座～楽しいきのこ狩りと顕微鏡観察～」とっとり出会いの森および鳥取大学農学部附属菌類きのご遺伝資源研究センター（2015年7月18日）
- ・鳥取大学ビジネス交流会 講師「鳥取大学が保有する世界最大級のきのこ資源とその活用研究」，CIC 東京（2015年10月16日）
- ・鳥取大学サイエンスアカデミーイン米子 講師「世界最大級のきのこ遺伝資源の収集保存とその活用」米子市立図書館（2015年10月24日）
- ・(企画運営)「菌類きのごポストグローバル COE プログラム一般公開シンポジウム」“きのこを創る—品種開発と多面的活用—”，鳥取県立博物館講堂（2015年11月8日）
- ・(企画運営)「菌類きのごポストグローバル COE プログラム一般公開シンポジウム」“菌根—その多様性，生態，進化—”，国立科学博物館講堂（2016年3月5日）

霜村 典宏

- ・仲野翔太：特許出願 2015-154250「耐塩性シヨウロ菌株」（2015年8月4日）
- ・“知と創造” 農学セミナー「きのこの栽培について」但馬農業高等学校（2015年10月）

石原 亨

- ・鳥取大学サイエンスアカデミー「きのこの人工栽培に関する取り組みについて」米子市図書館（2015年11月）
- ・鳥取大学公開講座「地方創成に大学を生かす，地域と連携した薬用植物エキナセアの研究」（2015年9月12日）

【島根大学】

佐藤 利夫

- ・日本本防菌防黴学会評議員
- ・日本海水学会評議員
- ・島根県雇用対策推進会議委員
- ・島根県ヘルスケア産業推進協議会委員
- ・島根県生活環境部環境影響評価技術審査会委員
- ・島根県生活環境部グリーン製品認定委員会委員
- ・島根県宍道湖流域下水道発生活泥処理検討委員会委員

國井 秀伸

- ・第5期第1回中海自然再生協議会勉強会「自然再生推進法について」講師，島根県庁会議室（2015年6月27日）
- ・ラムサール条約登録10周年シンポジウム「中海・宍道湖の賢明な利用」パネリスト. 主催: 中国環境パートナーシップオフィス, くにびきメッセ (2015年11月23日)
- ・国交省出雲河川事務所委託研究「宍道湖における水草の繁茂に関する研究」成果発表（出雲河川事務所大会議室）（2016年3月10日）

荒西 太士

- ・島根大学研究機構水産資源管理プロジェクトセンター長（平成25～30年度）
- ・大学開放事業（島根大学汽水域研究センター）神話と汽水域—古代から汽水域は人々の営みの場であった，「汽水域の魚類と漁業」（2015年11月13日）

堀之内正博

- ・Rajamangala University of Technology Srivijaya Trang Campus, Faculty of Science and Fisheries Technology, Lecture title “Seagrass Bed Functions”, Sikao, Trang, Thailand (30 Nov., 2015)

桑原 智之

- ・特願 2015-243961：底質改善用構造物
- ・日本水環境学会中国・四国支部幹事長

【山口大学】

横山 和平

- ・長門市自然栽培研究協議会の委員
- ・長門市との共同研究
- ・山口大学農学部オープンセミナー（2015年8月7日）
- ・サイエンスリーダーズキャンプ（2015年8月17日～20日）

3 生物資源科学専攻

1) 生物機能科学連合講座

【鳥取大学】

東 政明

- ・昆虫共生酵母研究会第1回シンポジウム講演「昆虫の水分調節とその細胞生理」（島根大学 生物資源科学部（2015年6月1日）

上中 弘典

- ・三浦千裕・山本樹稀・古井佑樹：「ラン科植物の発芽と共生を促進する技術」，

特願 2015-196787 (2015 年 10 月)

- ・ 田中裕之・伊福伸介・河毛真由美・竹村圭弘：バイオナノファイバーにより穀物粉生地強度を高める技術。特願 2015-130228 (特開 2016-027795)
- 中 秀司 ・ 鱗翅類フェロモン研究の最前線：生態から分子まで。日本昆虫学会第 76 回大会・第 60 回日本応用動物昆虫学会合同大会，大阪府立大学中百舌鳥キャンパス (2016 年 3 月)
- ・ 情報倫理に関する啓発作品コンテスト審査委員 (2015 年 7 月～8 月)

【島根大学】

- 川向 誠 ・ 第 56 回日本生化学会中国・四国支部例会 主催 松江 (2015 年 5 月 29 日～30 日)
- 中川 強 ・ ひらめき☆ときめきサイエンス (日本学術振興会) 実施
- 西川 彰男 ・ 浜田市・島根大学生物資源科学部連携企画人材育成講座「生および干物カレイのコラーゲンの電気泳動による分析」(ポスター発表)，浜田市 (2016 年 3 月)
- 古田賢次郎 ・ 浜田市・島根大学生物資源科学部連携企画人材育成講座「浜田市産干しカレイの高付加価値化を目指したうま味成分分析」(島根県浜田市) (2016 年 3 月)
- 林 蘇娟 ・ 隠岐の植物多様性。2015年度日本植物分類学会野外研修会(隠岐)。講演。(2015年10月)
- ・ 文部科学省サイエンスインカレ審査委員会委員 第5回 (2015)

【山口大学】

- 真野 純一 ・ Mano, J. and Biswas, S.: Glutathione in plant cells is constitutively consumed by acrolein, a lipid peroxide-derived highly toxic aldehyde. The 12th International POG Conference Reactive Oxygen and Nitrogen Species in Plants, イタリア, ヴェローナ市 (2015 年 6 月 24 日～26 日)
- ・ Biswas, S. and Mano, J.: Oxylin carbonyls are involved in the auxin signalling to initiate lateral root formation in *Arabidopsis thaliana*. The 12th International POG Conference Reactive Oxygen and Nitrogen Species in Plants, イタリア, ヴェローナ市 (2015 年 6 月 24 日～26 日)
- ・ Biswas, S., Fukaki, H. and Mano, J.: Oxylin carbonyls are involved in the auxin signalling to initiate lateral root formation. 日本植物学会第 79 回大会, 新潟 (2015 年 9 月 6 日)
- ・ Biswas, S. and Mano, J.: 酸化シグナル因子である活性カルボニル種が植物プログラム細胞死を引き起こすしくみ。第 57 回 日本植物生理学会年会, 盛岡 (2016 年 3 月 19 日)

- Biswas, S., Mano, J. and Fukaki, H.: Involvement of oxylipin carbonyls in the auxin-dependent lateral root formation. 第 57 回 日本植物生理学会年会, 盛岡 (2016 年 3 月 19 日)

2) 資源利用化学連合講座

【鳥取大学】

岩崎 崇

- 品川松美・小竹彩香・河野強：特願 2015-150709 「ポリヒスチジン修飾リポソーム」(2015 年 7 月 30 日)

【島根大学】

山本 達之

- 島根大学公開講座「新しい医療診断技術「ラマン分光法」とは何か？」企画実施（島根県松江市）(2015 年 7 月)
- JICA 派遣アフリカ教員研修講演「ラマン分光法」（島根県松江市）(2015 年 10 月)
- JST の教育事業「さくらサイエンスプラン」により，バナラス・ヒンドゥー大学（インド）からの 5 名の学生に，医療ラマンに関する実験や講義を 5 日間行った。（島根県松江市）(2016 年 1 月)

【山口大学】

赤壁 善彦

- 山口県食品開発推進協議会委員
- 山口市森林セラピー協議会委員
- 樫野川流域の魚食文化を普及する会委員
- 山口ユネスコ協会公開講座「山口の香り」(2015 年 4 月)
- 山口大学公開講座「香りを科学する」(2015 年 9 月)
- 山口市森の案内人養成講座「森林の香り」(2015 年 9 月)

4 国際乾燥地科学専攻

国際乾燥地科学連合講座

【鳥取大学】

恒川 篤史

- 国際乾燥地研究教育機構推進室長
- 日本学術振興会 学術研究センター主任研究員

山本 定博

- 日南町生涯学習講座 にちなん町民大学「グローバル化時代を生きる」日南町総合文化センター（鳥取県日南町）(2015 年 6 月 26 日)

- 西原 英治
- ・鳥取大学・鳥取銀行連携セミナー講演「耕作放棄地を利用した機能性作物の栽培技術確立およびその事業化に向けた取組み」(2015年9月28日)
 - ・ウガンダ共和国夏期短期研修(全学)
- 安 萍
- ・放送大学面接授業「乾燥地の農業」第3－4回, 乾燥地研究センター(2016年1月)
- 齊藤 忠臣
- ・第4回山陰海岸ジオパークガイド交流会講習会・平成26年度山陰海岸ジオパーク学術研究奨励事業発表会「鳥取砂丘における湧水・オアシスの発生活消滅メカニズムと地下水動態の解明」岩美町立渚交流館(2015年11月19日)

【島根大学】

- 一戸 俊義
- ・中国青海省青海大学, 陝西省西北農林科技大学動物科技学院と畜産学研究についての学術交流(2015年6月)
- 佐藤 邦明
- ・「土壌研修会」講師, 出雲市樹医センター, 松江市(2015年9月2日)

【山口大学】

- 柳 由貴子
- ・宮崎県環境影響評価専門委員会委員

第3部 組織・運営

第3部 組織・運営

第1章 主指導教員の教育研究分野一覧

平成28年3月1日現在

専攻	連合講座	主指導教員氏名	所属大学	教育研究分野		
				名称	内容	
生物生産科学	農業生産学	浅尾 俊樹	島根大学	園芸生産学	野菜・花卉の生産技術に関する研究	
		板村 裕之	島根大学	果実成熟生理学	果実の成熟に伴う生理的变化に関する研究	
		小葉田 亨	島根大学	作物生産生態学	作物の生産改善のための生理・生態的研究	
小林 伸雄		島根大学	園芸育種学	植物遺伝資源の評価と育種利用		
執行 正義		山口大学	園芸作物遺伝育種学	染色体工学的手法を用いた園芸作物の改良		
許 東河		※ 鳥取大学	植物遺伝資源学	作物の環境ストレス耐性に関する遺伝的研究		
高橋 肇		山口大学	作物学	作物の省力・低投入型栽培体系の確立に関する研究		
田村 文男		鳥取大学	園芸学	ニホンナンの自発休眠制御に関する研究		
中田 昇		鳥取大学	作物改良技術学	遠縁交雑による作物の改良		
中務 明		島根大学	園芸分子育種学	園芸作物における有用形質関連遺伝子の解析と育種利用		
福田 善通	※ 鳥取大学	作物遺伝育種学	イネ農業形質の多様性、分化、遺伝様式に関する遺伝育種学研究			
松本 真悟	島根大学	土壌・作物栄養学	土壌肥沃度に対応した作物の養分獲得機構の解明			
松本 敏一	島根大学	果樹園芸学	果樹栽培と加工品に関する研究			
山内 直樹	山口大学	園芸利用学	園芸作物の収穫後生理学			
山本 晴彦	山口大学	環境情報科学	光学的計測法による植物の生育診断			
生物生産科学	森林資源学	伊藤 勝久	島根大学	森林政策学	森林・林業政策及び条件不利地域対策に関する実証的研究	
		小池浩一郎	島根大学	森林科学	森林と社会との物質代謝、バイオエネルギー	
		長澤 良太	鳥取大学	景観生態学	中山間地域における自然、人文、社会環境の景観生態学的研究	
日置 佳之		鳥取大学	生態系保全・復元計画学	生物多様性の保全と復元のための生態学的な計画と技術		
藤本 高明		鳥取大学	木材理学	木材性質変動の解析および計測評価手法の開発		
山本 福壽	鳥取大学	樹木生理学	樹木の生殖と成長の生理機構			
生物生産科学	経済・経営学	伊藤 康宏	島根大学	漁業史	日本漁業の近現代史研究	
		内田 和義	島根大学	農業史	日本における近代農学成立の研究	
		小林 誠一	鳥取大学	農業経営学	農業経営発展と経営情報システム	
能美 誠		鳥取大学	地域産業計画学	地域農業計画・分析手法の開発および適用		
万 里		鳥取大学	流通情報解析学	農産物の流通経路と市場情報の計量経済分析		
古塚 秀夫		鳥取大学	農業会計学	農業会計原則と農産物生産費計算の確立		
松田 敏信	鳥取大学	消費者行動学	計量経済学による消費者行動の研究、特に食料需要の実証分析			
生物環境科学	生産環境工学	猪迫 耕二	鳥取大学	水環境保全学	水環境の保全と再生ならびに持続可能な利用に関する研究	
		緒方 英彦	鳥取大学	水利施設工学	水利構造物の建設材料と構造成能の評価	
		喜多威知郎	島根大学	水緑利用学	合理的な水資源利用計画と管理および緑化による環境改善	
		宗村 広昭	島根大学	流域環境工学	湖沼流域の水環境保全と開発との調和に関する研究	
		武田 育郎	島根大学	水質水文学	集水域における面源汚濁の評価と制御	
		長束 勇	島根大学	施設機能工学	水利施設ストックマネジメントのための機能評価	
	谷野 章	島根大学	生物環境電気工学	生物環境関連技術への電気工学の適用		
	生物環境科学	環境科学	會見 忠則	鳥取大学	微生物生産科学	微生物による食料及び有用物質生産の生化学・分子生物学
			荒瀬 榮	島根大学	植物病理学	植物病原菌の宿主選択的感染機構
			荒西 太士	島根大学	遺伝生態学	水域生物資源の進化、生態および保全に関する分子遺伝学研究
石原 亨			鳥取大学	天然物化学	植物・微生物が合成する代謝産物の機能、生理活性、合成に関する研究	
一柳 剛			鳥取大学	有機化学	合成化学的アプローチによる生物活性化合物の機能解明	
井藤 和人			島根大学	環境微生物学	農薬分解菌の遺伝生態	
伊藤 真一			山口大学	植物病理学	植物病原体ゲノムの構造と機能	
上野 誠			島根大学	植物病理学	植物一病原菌の相互作用における抵抗性発現に関する研究	
木原 淳一			島根大学	植物病理学	植物病原糸状菌の光環境応答	
國井 秀伸			島根大学	植物生態学	水生大型植物の生活史戦略の解明と保全に関する研究	
児玉基一郎			鳥取大学	植物病理学	植物-微生物相互作用と植物耐病性の分子機構	
佐藤 利夫			島根大学	環境衛生工学	排水の高度処理や環境水の浄化・保全のための新技術や機能性材料の開発	
霜村 典宏			鳥取大学	菌類育種栽培	きのこ類遺伝資源の育種・栽培に関する研究	
竹松 葉子			山口大学	昆虫生態学	シロアリの多様性と生態に関する研究	
中桐 昭	鳥取大学	菌類多様性学	水生環境に生息する菌類の分類・生態・適応進化			
中島 廣光	鳥取大学	応用環境微生物学	糸状菌のつくる植物毒とマイコキシンの化学			
前川二郎	鳥取大学	菌類分類生態学	きのこ類の種多様性と生態的機能に関する研究			
松本 晃幸	鳥取大学	菌類遺伝資源学	菌類遺伝資源が持つ有用遺伝子の単離・解析とその活用			
宮永 龍一	島根大学	昆虫生態学	野生ハナバチ類の生態と管理に関する研究			
横山 和平	山口大学	土壌微生物学	土壌あるいは地圏の窒素循環に関与する微生物群の生態学的解析と活性制御			

専攻	連合講座	主指導教員氏名	所属大学	教育研究分野	
				名称	内容
生物資源科学	生物機能科学	赤間 一仁 阿座上弘行 東 政明 有馬 二郎 石川 孝博 尾添 嘉久 川向 誠 小杉 昭彦 小林 淳 澤 嘉弘 中川 強 西川 彰男 松崎 貴 真野 純一	島根大学 山口大学 鳥取大学 鳥取大学 島根大学 島根大学 島根大学 ※鳥取大学 山口大学 島根大学 島根大学 島根大学 島根大学 島根大学 山口大学	植物分子生物学 分子微生物学 分子昆虫学 生命機能科学 植物分子生理学 化学生物学 遺伝子工学 応用微生物学 分子昆虫学 酵素科学 植物分子遺伝学 動物発生生物学 発生生物学 植物生産生理学	植物のtRNAの発現制御機構とγ-アミノ酪酸の生理機能の解明 バクテリアの宿主表面への定着の分子メカニズム 昆虫細胞の特異的機構の解明とその有効利用 微生物・酵素の新奇機能探索とメカニズムの解明、及びその利用 光合成生物における抗酸化物質合成と活性酸素代謝機構 神経伝達物質受容体とイオンチャネルの生体分子シグナリング機構 真核生物情報伝達系と細胞周期の制御、コエンザイムQの生合成 微生物機能を用いたバイオマス資源利用技術の開発 ゲノム情報を応用した昆虫利用・管理技術開発 アミノ酸代謝関連酵素の構造と機能 植物の発達メカニズムの解明と植物遺伝子解析技術の開発 両生類を用いた細胞増殖、分化、細胞死、形態形成に関する研究 皮膚および付属器の発生ならびに再生機構 植物の環境ストレス耐性機構の解明と応用
	資源利用化学	赤壁 善彦 井内 良仁 小崎 紳一 河野 強 中原 和彦 藤井 克彦 右田たい子 山本 達之 横田 一成 渡邊 文雄	山口大学 山口大学 山口大学 鳥取大学 ※鳥取大学 山口大学 山口大学 島根大学 島根大学 鳥取大学	有機化学 食品機能化学 生体反応化学 生物有機化学 応用微生物学 環境微生物学 生物無機化学 生物物理化学 細胞生命化学 食品科学	天然生物活性物質の探索と合成 老化メカニズムの解明と抗老化食品成分の探索 金属含有酵素の機能と構造の解明 環境応答による休眠・代謝・寿命の制御機構 微生物及び植物由来天然化合物の生理活性に関する研究 炭素循環に関わる微生物の機能解析 金属酵素の物質代謝における金属イオンの役割と酵素反応機構 蛋白質や包接化合物の分子分光学的研究 食品・医薬品関連物質と生体との相互作用に関する分子細胞生物学的研究 食品に含まれるビタミンB12関連化合物の化学的性質と栄養評価に関する研究
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	明石 欣也 一戸 俊義 荊木 康臣 木村 玲二 辻本 壽 恒川 篤史 藤巻 晴行 増永 二之 安田 裕 山中 典和 山本 定博	鳥取大学 島根大学 山口大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学	分子細胞生物学 家畜飼養学 生物環境調節工学 境界層気象学 分子育種学 保全情報学 土壌保全学 土壌圏生態工学 乾地環境システム工学 乾地緑化学 環境土壌学	耐乾性植物のストレス分子応答および環境耐性植物の分子育種 反すう家畜の栄養と生産システムの評価 環境制御型植物生産システムに関する研究 乾燥地における熱収支・水収支の解明に関する研究 遺伝子および染色体工学的的手法による乾燥乾性作物系統の育種 乾燥地における植物生産および生態系変化のモニタリングとモデリング 乾燥地における塩類集積および土壌侵食の防止と修復技術の開発 土壌の環境維持・修復機能および植物生産機能の制御と利用 乾燥地における水圏環境システムの定量的評価 乾燥地における樹木の生態学的研究 乾燥地における土壌環境の保全と農耕地の持続的利用に関する研究

※協力機関（JIRCAS）との連携

第2章 委員会

1 研究科委員会

(1) 委員

平成28年3月1日現在

専攻	連合講座	鳥取大学		島根大学		山口大学	
		教授	准教授	教授	准教授	教授	准教授
生物生産科学	農業生産学	中田 昇 田村 文男 山口 武視		板村 裕之 浅尾 俊樹 小林 伸雄 松本 真悟 松本 敏一	中務 明 江角 智也 門脇 正行	山内 直樹 山本 晴彦 執行 正義 高橋 肇	細井 栄嗣 荒木 英樹
	森林資源学	山本 福壽 長澤 良太 日置 佳之	藤本 高明	小池浩一郎 伊藤 勝久	川口 英之 久保満佐子		
	経済・経営学	小林 一 能美 誠 古塚 秀夫 松田 敏信 安延 久美	万 里	内田 和義 井上 憲一			
生物環境科学	生産環境工学	猪迫 耕二 緒方 英彦		喜多威知郎 長東 勇	宗村 広昭 石井 将幸 鈴木 美成		
	環境科学	中島 廣光 前川二太郎 児玉基一朗 會見 忠則 松本 晃幸 石原 亨 霜村 典宏 一柳 剛		荒瀬 榮 佐藤 利夫 國井 秀伸 井藤 和人 宮永 龍一 山口 啓子 上野 誠	桑原 智之	伊藤 真一 横山 和平 竹松 葉子	
生物資源科学	生物機能科学	東 政明	有馬 二郎	澤 嘉弘 尾添 嘉久 川向 誠 中川 強 石川 孝博 松崎 貴 赤間 一仁 西川 彰男	戒能 智宏 ▲古田賢次郎	小林 淳 真野 純一 阿座上弘行	
	資源利用化学	渡辺 文雄 河野 強	藪田 行哲 ▲岩崎 崇	横田 一成 山本 達之	地阪 光生 ▲吉清 恵介	赤壁 善彦 右田たい子 小崎 紳一	井内 良仁
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	辻本 壽 恒川 篤史 山中 典和 山本 定博 藤巻 晴行	安田 裕 木村 玲二 山田 智 西原 英治 明石 欣也 清水 克之 △齊藤 忠臣	一戸 俊義 増永 二之	▲佐藤 邦明 ▲宋 相憲	荊木 康臣	
計		29	12	30	15	14	3
合計		103					

△は講師、▲は助教、◆はJIRCAS（協力）の客員教員を示す。

(2) 審議事項等

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項 等
平成27年8月21日 (金)	<p>第74回研究科委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度外国人留学生特別プログラム入学予定者について ・入学試験採点表について ・学生の異動について (追認・協議) ・指導教員等の変更について (追認・協議) ・平成27年度予算配分について ・「鳥取大学大学院連合農学研究科教員の資格再審査に関する基準の運用に関する申合せ」の改正について ・平成27年度入学者選抜試験 (10月入学) 合格者の決定について ・平成27年度入学予定者 (10月入学) に係る指導教員等について ・「鳥取大学大学院連合農学研究科学位論文に関する細則」の改正について ・「鳥取大学大学院連合農学研究科早期修了の要件に関する申合せ」について ・学位論文の合否決定について ・博士学位論文の全文に代えて要約を公表する申立について ・連合農学研究科教員の資格審査について ・学生の懲戒について ・農学特論Ⅰ (連合一般ゼミナール (日本語)) の実施について ・農学特論Ⅱ (連合一般ゼミナール (英語)) の実施について ・各専攻特論の実施について ・科学コミュニケーション (研究セミナー) の実施について
平成28年2月19日 (金)	<p>第75回研究科委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度入学者選抜試験合格者の決定について ・平成28年度入学予定者に係る指導教員等について ・学位論文の合否決定について ・学位論文の全文に代えて要約を公表する申立について ・連合農学研究科教員候補者の選考について ・山口大学大学院改組等に伴う規則等の改正について ・平成28年度連合農学研究科予算配分基本方針 (案) について ・渡日前入試について ・代議委員会委員及び専攻長の選出について ・指導教員等の変更について (追認・協議) ・教員資格審査規則及び教員資格再審査規則の改正について ・教員の資格判定に関する基準の改正について ・教員資格審査調書の改正について ・学位論文提出の資格となる基礎論文2編のあり方について ・既修得単位の認定について ・学位論文提出の手引の一部改正について ・平成28年度「年度計画」について ・学生の異動について ・平成28年度連合農学研究科年間スケジュールについて ・平成27年度科学コミュニケーション (研究セミナー) の実施について ・平成27年度農学特論Ⅱ (連合一般ゼミナール (英語)) の実施について ・授業科目の成績評価に関する申合せに係る「成績評価確認願」(別紙様式) の修正について ・「未来を拓く地方協奏プラットホーム」イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラムにおける長期インターンシップ派遣について

2 代議委員会

(1) 委員

所属専攻名等	所属連合講座名	氏名(所属大学)	任期
研究科長		前川二太郎(鳥取大学)	平成27年4月1日～平成29年3月31日
副研究科長		児玉基一郎(鳥取大学)	平成26年6月1日～
生物生産科学	農業生産学	<u>山本 晴彦(山口大学)</u>	平成27年4月1日～平成29年3月31日
	森林資源学	長澤 良太(鳥取大学)	〃
	経済・経営学	能美 誠(鳥取大学)	〃
生物環境科学	生産環境工学	喜多威知郎(島根大学)	〃
	環境科学	<u>井藤 和人(島根大学)</u>	平成27年4月1日～平成28年3月31日
生物資源科学	生物機能科学	<u>中川 強(島根大学)</u>	平成27年4月1日～平成29年3月31日
	資源利用化学	右田たい子(山口大学)	平成27年4月1日～平成28年3月31日
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	<u>山中 典和(鳥取大学)</u>	平成27年4月1日～平成28年3月31日

※下線は専攻長

(2) 審議事項等

年月日(曜日)	審議事項等
平成27年 4月10日(金)	<p>第322回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書について ・平成27年度農学特論Ⅰ(前期連合一般ゼミナール)(日本語)について ・平成27年度各専攻特論講義担当講師について ・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について(報告) ・学生の異動について ・学生の交通事故について ・学位論文受理の可否について ・平成27年度学生募集要項(10月入学)について ・特別リサーチ・アシスタントの決定について ・鳥取大学大学院連合農学研究科早期修了の要件に関する申合せについて ・鳥取大学大学院連合農学研究科学位論文に関する細則第11条第6項の取扱いに関する申合せについて ・教員資格審査の日程について ・平成27年度鳥取大学大学院連合農学研究科学生及び指導教員等一覧並びに鳥取大学大学院連合農学研究科有資格教員名簿について ・平成26年度連合農学研究科「大山会」決算報告について

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項 等
平成27年 5月22日(金)	<p>第323回代議委員会 (於山口大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度各専攻特論について ・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について (協議・報告) ・入学者選抜試験合格判定 (生物資源・環境科学留学生特別プログラム編入学生：私費留学生)について ・入学者選抜試験合格判定 (留学生のための乾燥地農学特別プログラム編入学生：私費留学生)について ・教員資格審査委員会委員の選出について ・学位論文審査委員会委員の選出について ・平成27年度予算配分 (案) について ・国際学会等発表学生への援助について ・教員資格再審査について ・学位論文審査における学外者の取扱いについて ・学位論文提出の資格となる基礎論文2編のあり方について ・渡日前の入試について
平成27年 6月16日(火)	<p>第324回代議委員会 (TV会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について (報告) ・指導教員等の変更について ・入学者選抜試験合格判定 (留学生のための乾燥地農学特別プログラム編入学生：私費留学生) について ・学生の異動について ・学位論文審査における学外者の取扱いについて ・学位論文提出の資格となる基礎論文2編のあり方について ・渡日前の入試について
平成27年 7月 3日(金)	<p>第325回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願資格認定審査について ・学位論文受理の可否について ・学位論文審査委員会の設置及び委員の決定について ・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について (協議・報告) ・「鳥取大学大学院連合農学研究科教員の資格再審査に関する基準の運用に関する申合せ」について ・教員資格再審査について ・長期インターンシップへの派遣について ・平成27年度 (第1回) 全国連合農学研究科長会議について
平成27年 8月21日(金)	<p>第326回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学試験採点表について ・平成27年度入学者選抜試験 (10月入学) 合否判定について ・2016年度留学生のための乾燥地農学特別プログラム (博士後期課程) 学生募集要項 (国費留学生用) について ・学生の異動について ・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加等について (協議・報告) ・渡日前入試について ・学位論文提出の資格となる基礎論文2編のあり方について ・第74回研究科委員会について ・学生の懲戒処分について ・教員資格再審査について ・平成27年度科学コミュニケーション (研究セミナー) の実施について ・平成27年度農学特論Ⅱ (連合一般ゼミナール) (英語) について ・教員資格審査日程について

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項 等
平成27年 9月11日(金)	<p>第327回代議委員会 (TV 会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 転専攻について ・ 学生の異動について ・ 長期履修申請について ・ 教員資格再審査について ・ 教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について (報告)
平成27年10月 9日(金)	<p>第328回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の異動について ・ 指導教員の変更について ・ 平成28年度学生募集要項 (案) について ・ 連合農学研究科の教員組織について ・ 教員資格審査用学術雑誌リストからの削除について ・ 教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について (報告) ・ 教員資格再審査の結果について ・ 平成27年度国際学会・国際研究集会発表学生援助 (第2次) について
平成27年10月30日(金)	<p>第329回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導教員等の変更について ・ 留学生のための乾燥地農学特別プログラム (博士後期課程) 進学者の選考について (追認・協議) ・ 教員資格再々審査にかかる取扱いについて ・ 多地点制御遠隔講義システムの納入について
平成27年12月 4日(金)	<p>第330回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度「年度計画」(案) について ・ 平成28年度年間スケジュール (案) について ・ 教員資格審査委員の選出について ・ 教員資格審査用学術雑誌リストについて (追加・削除) ・ 山口大学大学院改組に伴う規則の変更について ・ 渡日前入試について ・ 教員資格審査規則の改正について ・ 教員の資格判定に関する基準の改正について ・ 平成27年度国際学会・国際研究集会発表学生援助 (第2次) の選考について ・ 連大教員資格審査に係わる学術雑誌リスト追加 (協議事項) 事前検討委員会 (仮称) の設置について ・ 平成27事業年度に係る業務の実績に関する報告書 (中間報告) について ・ 教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について (報告) ・ 平成27年度農学特論II (連合一般ゼミナール) (英語) について ・ 平成28年度代議委員について ・ 教員資格審査調書の改正に係る資料配布について

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項 等
平成28年 1月 6日(水)	<p>第331回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学位論文受理の可否について ・学位論文審査委員会の設置及び委員の選出について ・次期代議委員会委員の選出について ・平成28年度予算配分方針(案)について ・山口大学大学院改組等に伴う規則の改正について ・教員資格審査規則及び教員資格再審査規則の改正について ・渡日前入試について ・既修得単位の認定について ・学位論文提出の手引の一部改正について ・教員資格審査調書の改正について ・第2期中期目標期間評価に係る「研究業績説明書」について ・平成27年度第2回全国連合農学研究科長会議について ・全国連大専任教員会議について
平成28年 2月19日(金)	<p>第332回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度入学者選抜試験合否判定について ・学業優秀による平成28年度入学料免除(半額免除)候補者の推薦について ・次期代議委員会委員の選出について ・専攻長の選出について ・平成28年度国際学会・国際研究集会発表学生援助(第1次)の募集について ・予算配分方針について ・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について(協議・報告) ・学術交流協定の廃棄について ・平成28年度年度計画について ・第75回研究科委員会への提出議題について ・授業科目の成績評価に関する申合せに係る「成績評価確認願」(別紙様式)の修正について
平成28年 3月11日(金)	<p>第333回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本学生支援機構第一種奨学金返還免除者の決定及び推薦選考基準について ・指導教員等の変更について ・平成28年度各専攻特論講義担当講師について ・2016年度鳥取大学大学院連合農学研究科乾燥地農学特別プログラム(博士後期課程)編入学生(私費留学生)募集要項(案)について ・2016年度鳥取大学大学院連合農学研究科生物資源・環境科学留学生特別プログラム(博士後期課程)編入学生(私費留学生)募集要項(案)について ・外国人留学生特別入試(渡日前入試)募集要項(案)について ・学生の異動について ・長期履修申請について

第3章 平成27年度 連合農学研究科教員

1 有資格教員（教授・准教授・講師・助教）一覽

平成28年3月1日現在

専攻	連合講座	鳥取大学			島根大学			山口大学		
		教授	准教授	助教	教授	准教授	助教	教授	准教授	助教
生物生産科学専攻	農業生産学	中田 昇 ○ ※田村 文男 ○ ◆福田 善通 山口 武視 ◆許 東河	田中 裕之 △ 近藤 謙介		小葉田 亨 ○ 板村 裕之 ○ 浅尾 俊樹 ○ 小林 伸雄 ○ 松本 真吾 ○ 松本 敏一 ○	中務 明 ○ 江角 智也 ○ 小林 和広 ○ 門脇 正行 ○		山内 直樹 ○ ◎山本 晴彦 ○ 高橋 肇 ○ 執行 正義 ○	細井 栄嗣 ○ 荒木 英樹 ○	丹野 研一 ○
	森林資源学	◎山本 福壽 ○ ◎長澤 良太 ○ 日置 佳之 ○	藤本 高明 ○ 芳賀 弘和 ○		小池浩一郎 ○ 伊藤 勝久 ○	川口 英之 ○ 久保満佐子 ○	藤卷 玲路 ○			
	経済・経営学	◎小林 一 ○ ◎能美 誠 ○ 古塚 秀夫 ○ 松田 敏信 ○ 安延 久美 ○	万 里 ○		内田 和義 ○ 伊藤 康宏 ○ 井上 憲一 ○	赤沢 克洋 ○ 森 佳子 ○				
生物環境科学専攻	生産環境工学	猪迫 耕二 ○ 緒方 英彦 ○	野波 和好 ○	兵頭 正浩 ○	◎喜多威知郎 ○ 武田 育郎 ○ 長束 勇 ○ 谷野 章 ○	石井 将幸 ○ 宗村 広昭 ○ 鈴木 美成 ○				
	環境科学	★中島 廣光 ○ ☆前川二太郎 ○ ☆児玉基一朗 ○ 會見 忠則 ○ 松本 晃幸 ○ 中桐 昭 ○ 石原 亨 ○ 霜村 典宏 ○ 一柳 剛 ○	早乙女 梢 △ 大崎久美子 △ 上野 琴巳 △		荒瀬 榮 ○ 佐藤 利夫 ○ 國井 秀伸 ○ ◎井藤 和人 ○ 荒西 太士 ○ 宮永 龍一 ○ 木原 淳一 ○ 上野 誠 ○ 山口 啓子 ○	堀之内正博 ○ 桑原 智之 ○ 泉 洋平 ○	高原 輝彦 ○	伊藤 真一 ○ 横山 和平 ○ 竹松 葉子 ○	藤間 充 ○	柳 由貴子 ○
生物資源科学専攻	生物機能科学	◆東 政明 ○ 小杉 昭彦 ○	有馬 二朗 ○ 上中 弘典 ○ 岡 真理子 ○ 中 秀司 ○		※澤 嘉弘 ○ 尾添 嘉久 ○ 川向 誠 ○ ◎中川 強 ○ 石川 孝博 ○ 松崎 貴 ○ 赤間 一仁 ○ 西川 彰男 ○ 林 蘇娟 ○	秋吉 英雄 ○ 戒能 智宏 ○ 児玉 有紀 ○ 舞木 昭彦 ○ 丸田 隆典 ○	松尾 安浩 ○ 古田賢次郎 ○	小林 淳 ○ 真野 純一 ○ 阿座上弘行 ○		高坂 智之 ○
	資源利用化学	◆渡邊 文雄 ○ ◎中原 和彦 ○ 河野 強 ○	藪田 行哲 ○	岩崎 崇 ○	横田 一成 ○ 山本 達之 ○	地阪 光生 ○	吉清 恵介 ○	赤壁 善彦 ○ ◎右田たい子 ○ 小崎 紳一 ○	藤井 克彦 ○ 井内 良仁 ○	
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	◎辻本 壽 ○ 恒川 篤史 ○ ◎山中 典和 ○ 山本 定博 ○ 藤卷 晴行 ○	安田 裕 ○ 木村 玲二 ○ 明石 欣也 ○ 山田 智 ○ 安 淳 ○ 西原 英治 ○ 清水 克之 ○ 黒崎 泰典 ○ 遠藤 常嘉 ○ 谷口 武士 ○ △齊藤 忠臣 ○	衣笠 利彦 ○ 伊藤 健彦 ○	一戸 俊義 ○ 増永 二之 ○		佐藤 邦明 ○ 宋 相憲 ○	荊木 康臣 ○	鈴木 賢士 ○	
		計	34	25	4	37	20	7	14	6
合計		150								

(注) ★は研究科長, ☆は副研究科長, ※は学部長, ◎は代議委員, ◆は連携教員, ○は主指導教員, △は講師を示す。

2 担当教員を補助する教員（助教）一覧

平成28年3月1日現在

専攻	連合講座	鳥取大学	島根大学	山口大学
生物生産科学	農業生産学		田中 秀幸 城 惣吉 足立 文彦	丹野 研一
	森林資源学		高橋絵里奈	
	経済・経営学			
生物環境科学	生産環境工学	兵頭 正浩	佐藤 裕和	
	環境科学		林 昌平	
生物資源科学	生物機能科学		松尾 安浩	高坂 智之
	資源利用化学			
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	Eltayeb Habora Amin Elsadig 衣笠 利彦 吉岡 有美 岡本 昌憲	吉岡 秀和	
計		5人	8人	2人
合計		15人		

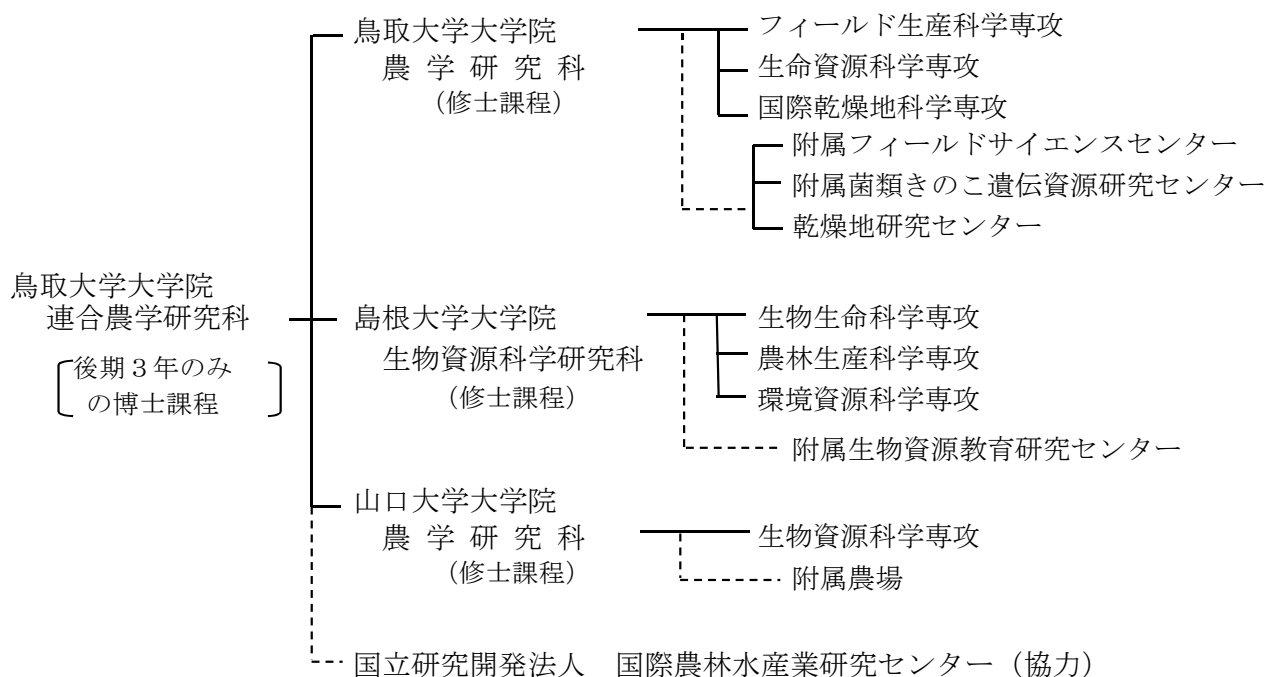
第4章 その他

1 組織

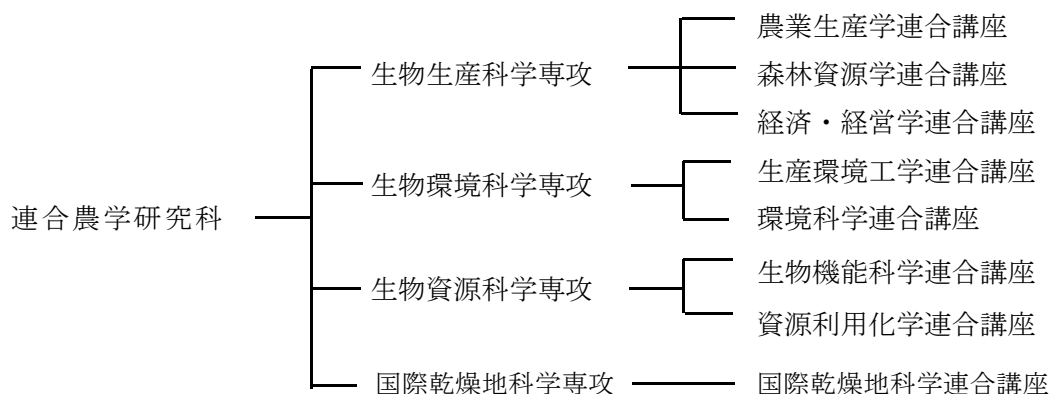
本連合農学研究科は、鳥取大学大学院農学研究科、島根大学大学院生物資源科学研究科及び山口大学大学院農学研究科（H28. 4. 1～大学院創成科学研究科）の修士課程の講座と附属施設を母体として編成されている。

各大学の研究科と密接な連携協力のもとに運営されているが、それぞれの研究科（修士課程）とは別の独立した研究科である。

連合農学研究科の母体組織



本研究科には、生物生産科学、生物環境科学、生物資源科学、国際乾燥地科学の4専攻の下に8連合講座を置いている。



* 生物機能科学連合講座は平成23年度新設、国際乾燥地科学専攻は平成21年度新

2 予 算 規 模

(千円)

事 項	配 分 額	内 訳		
		鳥取大学	島根大学	山口大学
当初予算配分	110,272	※50,099	37,975	22,198
ティーチング・アシスタント 経費	8,850	3,260	3,900	1,690
リサーチ・アシスタント 経費	9,661	4,729	3,635	1,297

※ 3大学に配分される研究科長裁量経費 5,300 千円を含む。

3 行 事

年 月 日 (曜日)	行 事
27年 4月10日 (金)	入学式, オリエンテーション
〃	第322回代議委員会
5月22日 (金)	第323回代議委員会 (於: 山口大学)
6月 8日 (月)	学位論文審査申請受付 (6/17まで, 前期修了予定者)
〃	学生募集要項発表 (後期入学)
6月16日 (火)	第324回代議委員会 (テレビ会議)
6月17日 (水)	農学特論Ⅰ (日本語) (6/19まで)
6月22日 (月)	出願資格認定申請受付 (後期入学) (6/26まで)
6月29日 (月)	第62回関係教員連絡会
7月 3日 (金)	325回代議委員会
〃	教員資格審査委員会
7月14日 (火)	入学願書受付 (後期入学) (7/17まで)
7月28日 (火)	各専攻特論 (7/31まで)
8月 7日 (金)	入試委員会 (持ち回り)
8月21日 (金)	入学者選抜試験 (後期入学)
〃	第326回代議委員会
〃	第74回研究科委員会
8月28日 (金)	合格者発表 (後期入学)
9月11日 (金)	第327回代議委員会 (テレビ会議)
〃	学位記授与式
10月 8日 (木)	教員資格再審査委員会
10月 9日 (金)	第328回代議委員会
〃	入学式, オリエンテーション
10月14日 (水)	科学コミュニケーション (10/16まで) (於: 大山)
10月30日 (金)	第329回代議委員会
11月 4日 (水)	学生募集要項発表
11月18日 (水)	農学特論Ⅱ (英語) (11/20まで)
12月 4日 (金)	第330回代議委員会 (於: 島根大学)
12月 7日 (月)	学位論文審査申請受付 (12/14まで, 後期修了予定者)
〃	出願資格認定申請受付 (12/14まで)
28年 1月 6日 (水)	第331回代議委員会
〃	教員資格審査委員会
1月12日 (火)	入学願書受付 (前期入学) (1/15まで)
1月29日 (金)	入試委員会
2月18日 (木)	入学者選抜試験 (2/19まで)
2月19日 (金)	第332回代議委員会
〃	第75回 研究科委員会
2月29日 (月)	合格者発表
3月11日 (金)	学位記授与式
〃	第333回代議委員会

第4部 在学生へのアンケート

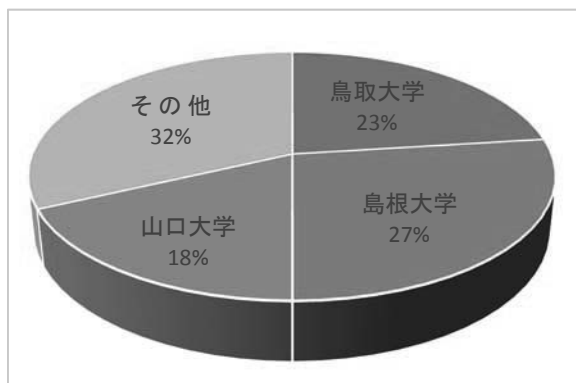
科学コミュニケーション

(平成27年10月14日～16日)において実施



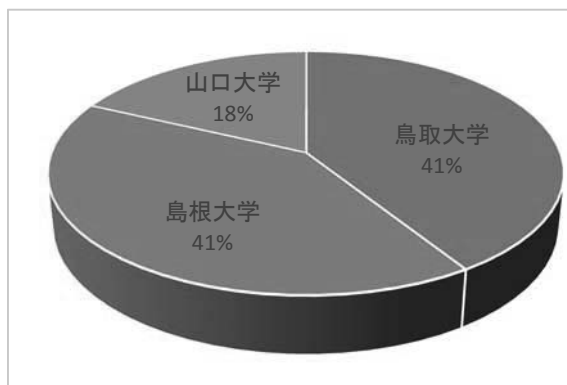
1. あなた自身についてお答え下さい

(1) 修士課程の出身大学



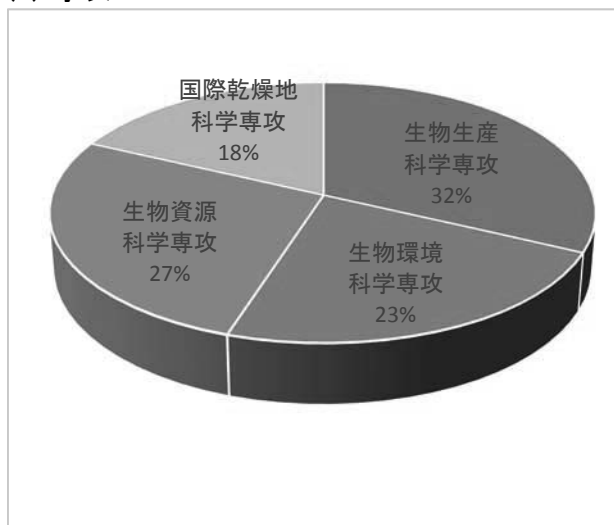
鳥取大学	5
島根大学	6
山口大学	4
その他	7
計	22

(2) 現在の配属大学



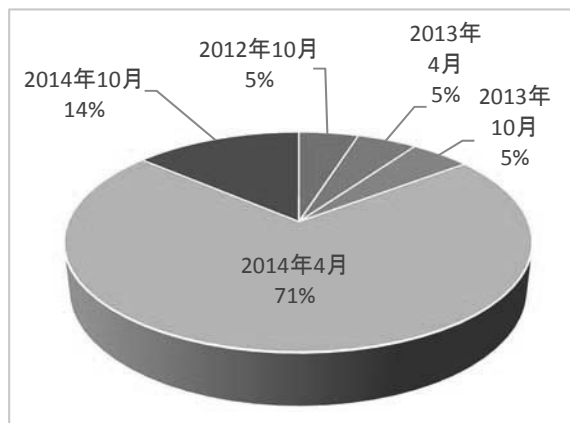
鳥取大学	9
島根大学	9
山口大学	4
計	22

(3) 専攻



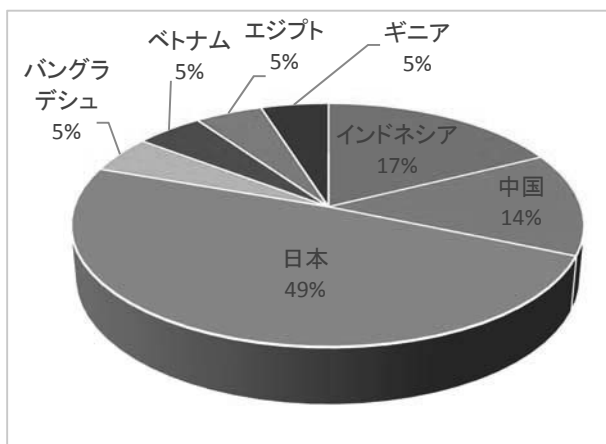
生物生産科学専攻	7
生物環境科学専攻	5
生物資源科学専攻	6
国際乾燥地科学専攻	4
計	22

(4) 入学年月



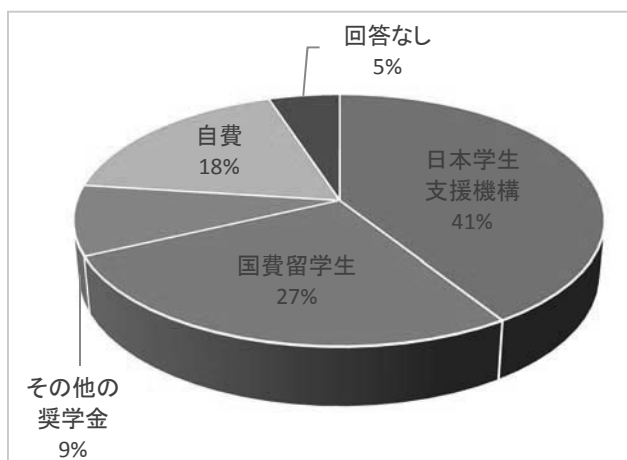
2012年10月	1
2013年4月	1
2013年10月	1
2014年4月	16
2014年10月	3
計	22

(5) 国籍



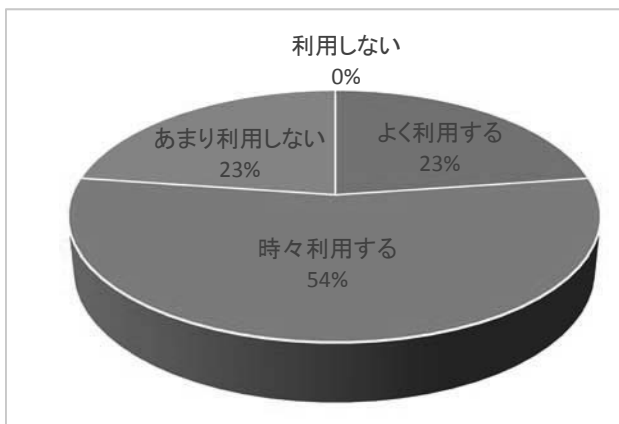
インドネシア	4
中国	3
日本	11
バングラデシュ	1
ベトナム	1
エジプト	1
ギニア	1
計	22

(6) 奨学金受給状況



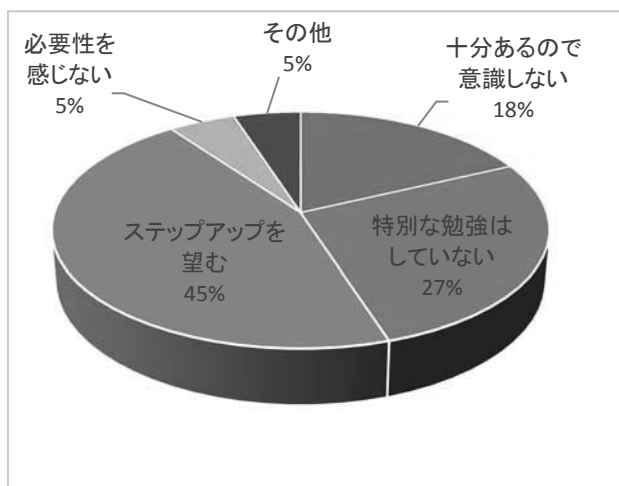
日本学生支援機構	9
国費留学生	6
その他の奨学金	2
自費	4
回答なし	1
計	22

(7) 連大ホームページ利用状況



よく利用する	5
時々利用する	12
あまり利用しない	5
利用しない	
計	22

(8) 英語力の維持・上達を行っていますか？



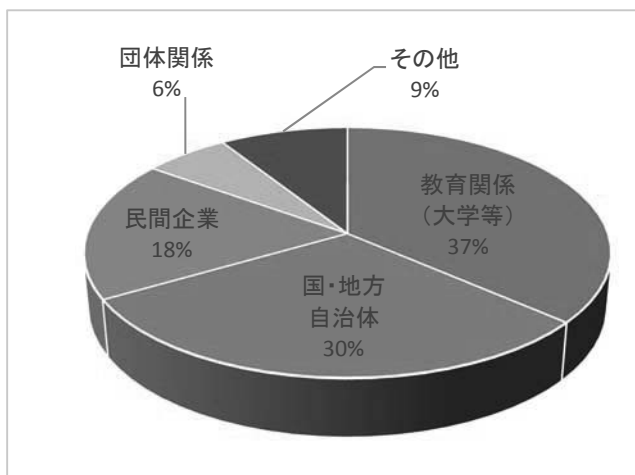
十分あるので意識しない	4
特別な勉強はしていない	6
ステップアップを望む	10
必要性を感じない	1
その他	1
計	22

コメント：

- ・英会話の教材を使い、また英文論文を読んで少しずつ上達している。
- ・ Do not have so much time to learn languages.

2. あなたの将来の志望についてお尋ねします

(1) 希望職種（複数回答可）

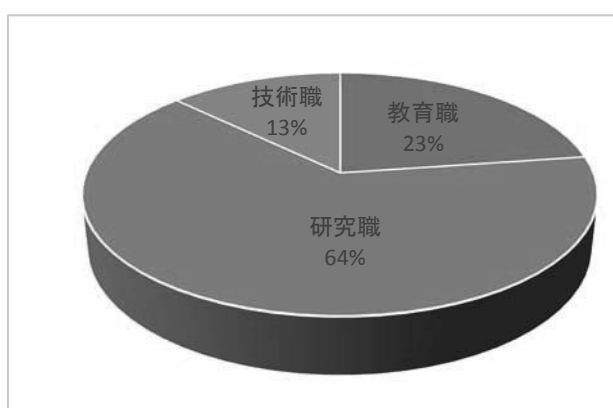


教育関係(大学等)	12
国・地方自治体	10
民間企業	6
団体関係	2
その他	3
計	33

■その他：

- ・ 社会人学生なので既に鳥取県に就職している。
- ・ I already work in my government.

(2) 希望する職務内容（複数回答可）



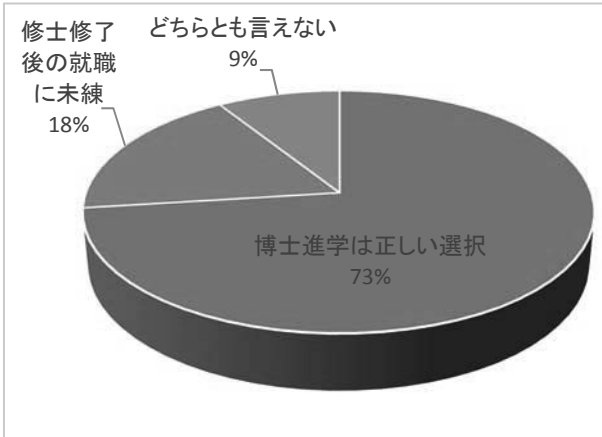
教育職	7
研究職	20
技術職	4
計	31

コメント：

- ・ 現在の研究職を続けたい。

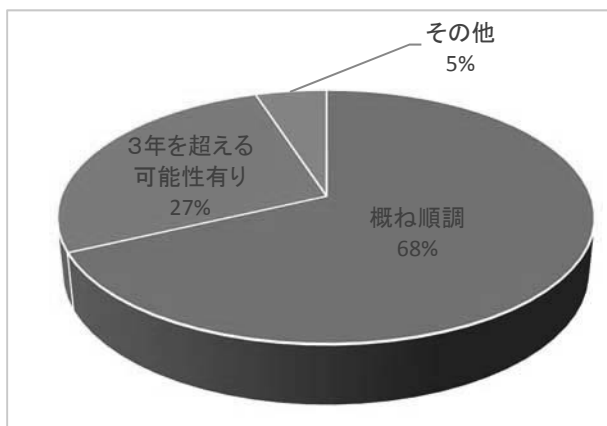
3. 鳥取連大の研究指導・教育についてお尋ねします

(1) 第一印象としての素直な気持ちは？



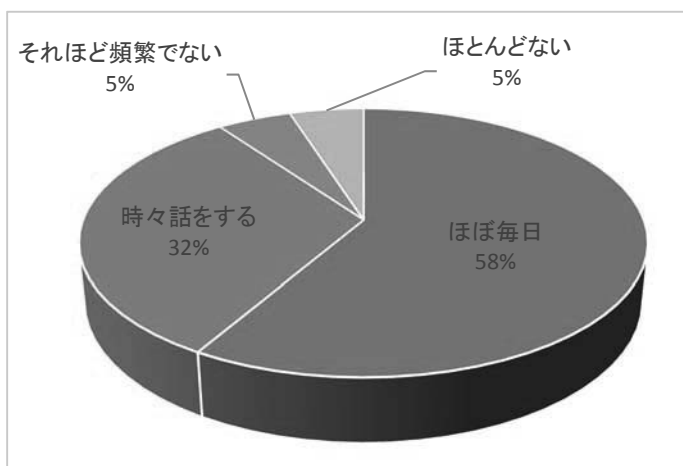
博士進学は正しい選択	16
修士修了後の就職に未練	4
どちらとも言えない	2
計	22

(2) 研究の進展は順調ですか？



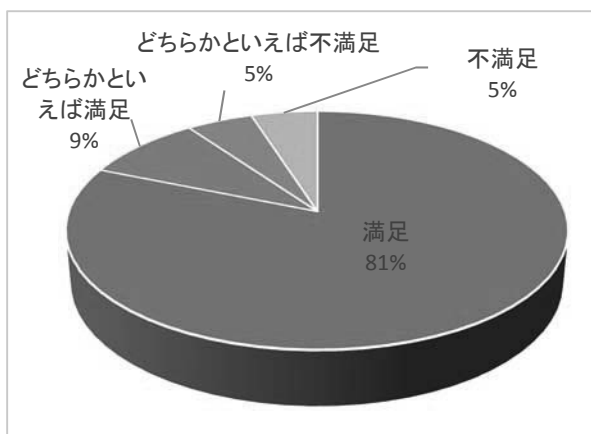
概ね順調	15
3年を超える可能性有り	6
その他	1
計	22

(3) 主指導教員と日常的に意思疎通できていますか？



ほぼ毎日	13
時々話をする	7
それほど頻繁でない	1
ほとんどない	1
計	22

(4) 主指導教員の指導に満足ですか？



満足	18
どちらかといえば満足	2
どちらかといえば不満足	1
不満足	1
計	22

■満足：

- ・時々しか会えないが、適切に助言をいただいている。
- ・実験等の相談に親身になって下さり、先生より学べることが多いため。
- ・適切なアドバイスを頂けます。
- ・十分なご指導を頂いています。
- ・ My supervisor is very open for discussion and always give me good advice on my research.
- ・ We have discussion every 2 weeks and my advisor give me many helpful suggestion.
- ・ I feel satisfied with my major supervisor, since he always guide and teach me regarding to my study. Apart from that, we also sharing each other due to my research.
- ・ Right assistance and guidance.
- ・ Because he gives me suggestions whenever I need. He is very helpful.
- ・ Because he gives me advice and information I need.
- ・ He is very kind. He always encourages and supports me.

■どちらかと言えば満足：

- ・ Ability of "self-thinking" is important in my Laboratory. Therefore, this thing make me better as a scientist.

■どちらかといえば不満足：

- ・先生が忙しく、深いディスカッションができていないため。

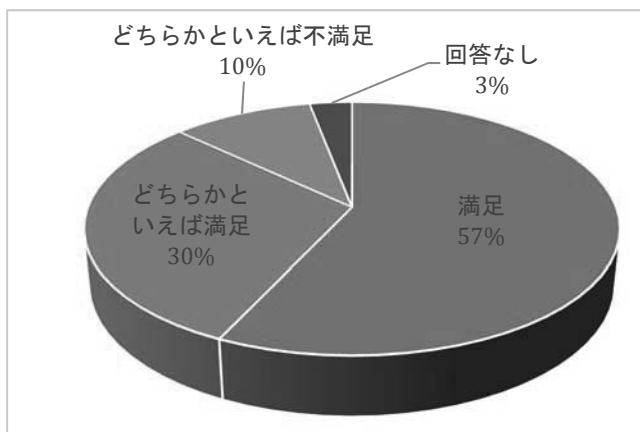
■不満足：

- ・指導が十分でないと感じます。

◎主指導教員へお願い

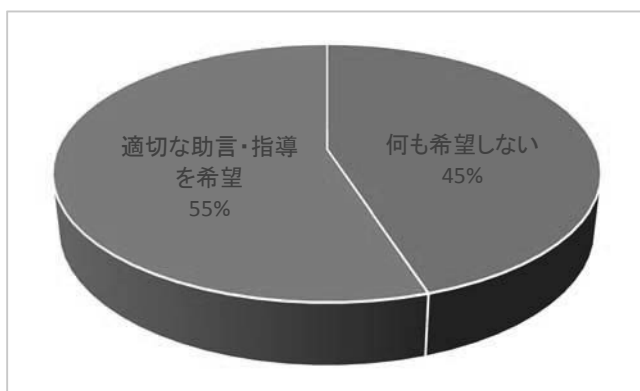
- ・色々お手数をおかけしますが今後ともよろしくお願ひいたします。
- ・ I'd like to know "carrier-path" as a scientist.
- ・ Nothing more than being grateful.
- ・ So far I don't have any request to my supervisor.

(5) 副指導教員の指導に満足ですか？



満足	16
どちらかといえば満足	4
どちらかといえば不満足	1
回答なし	1
計	22

(6) 副指導教員に何を希望しますか？



何も希望しない	10
適切な助言・指導を希望	12
計	22

コメント：

- ・他大学の副指導教官を外してほしい。指導を受けたことがなく、受ける必要がない。
- ・テクニクの相談もあまりできず、直前に困る。
- ・ A discussion time would be highly appreciated.

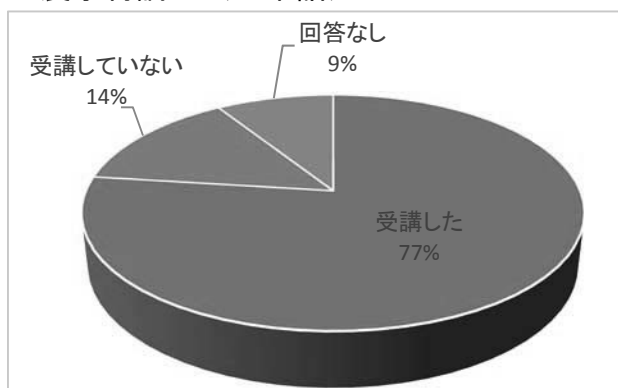
(7) 教員の指導で改善してほしい点

- ・博士課程だから任せるというのも一つの指導かもしれませんが、常にだと本当に困る。
- ・ So far is already good and helpful for me.

4. 鳥取連大の共通科目についてお尋ねします

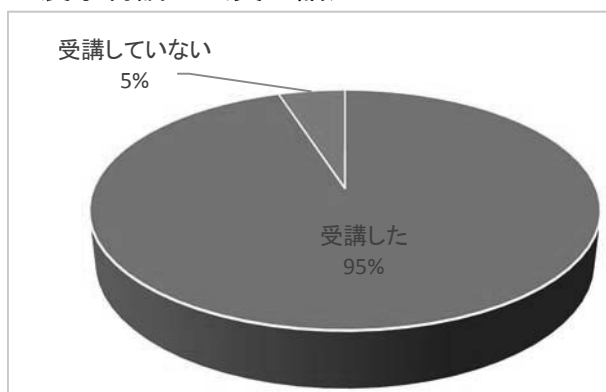
(1) 既に農学特論を受講しましたか

・農学特論Ⅰ（日本語）



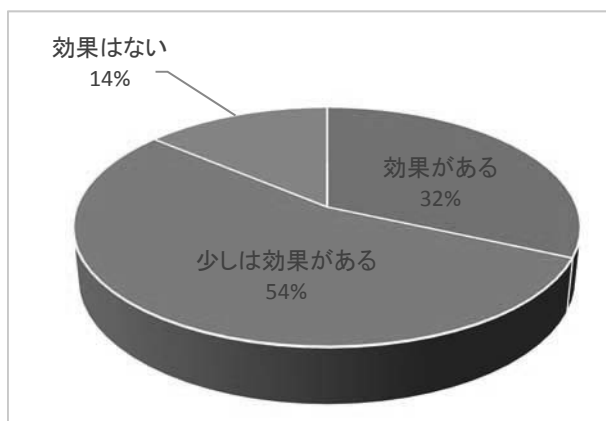
受講した	17
受講していない	3
回答なし	2
計	22

・農学特論Ⅱ（英語）



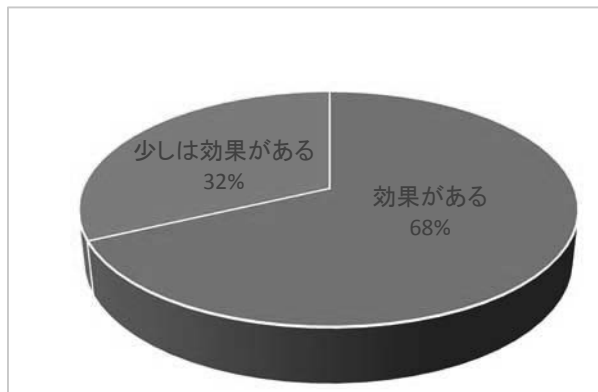
受講した	21
受講していない	1
計	22

(2) 農学特論は研究に効果があると思いますか



効果がある	7
少しは効果がある	12
効果はない	3
計	22

(3) 専攻特論はあなたの素養や能力を高める上で効果があると思いますか？

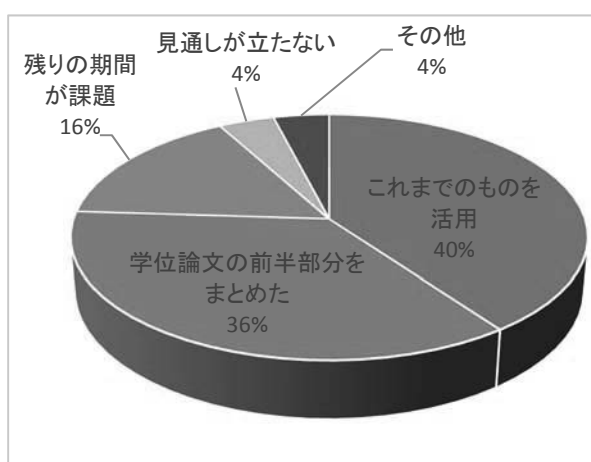


効果がある	15
少しは効果がある	7
計	22

(4) 農学特論 I・II, および各専攻特論の開講・運営方法について要望や改善策があれば書いてください。

- ・他のジャンルの話が聴けて刺激になる。
- ・他に仕事のない学生の視点からですが、1日の開講数を少なくして復習の余地を増やしていただければと思いました。
- ・遠隔授業は聞き取りにくい。島根の講義室は使いにくい。
- ・I hope in the future, we can get more verified subject related to agriculture.

(5) 科学コミュニケーションにおけるみなさん自身の中間発表の自己評価をお願いします。



これまでのものを活用	10
学位論文の前半部分をまとめた	9
残りの期間が課題	4
見通しが立たない	1
その他	1
計	25

(6) 特別講義の感想や印象をお願いします。

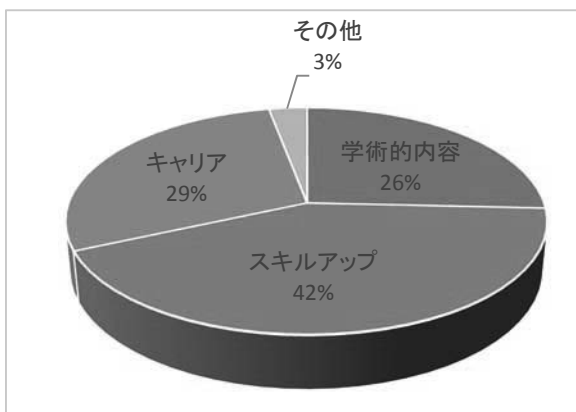
◆工藤 昭英 先生

- 内容も話法も大変おもしろかった。研究成果をどのように生かしていくかを考える上で不可欠である。
- 普段研究をしていると、ビジネス目線で物事を考えることをしていなかったのが、非常に勉強になりましたし、良い刺激になりました。
- 企業に就職して経験を積みたいと思った。
- 大変有益な内容であったと思います。
- The story of "Innovation" is very interesting for me. This is the first time that I learn about it. My vision to the "business" is changed!!
- The topic was very nice. He encouraged and gave us more idea about business world. I also think that researcher also can be a good businessman without quitting the research world so this hope is really good for us.
- The topic was very interesting.
- Very interesting and meaningful lesson for us. Let me know that the business mind do help to science research.
- Inspiring not only to be a scientific researcher but also think global.
- It was a really great lecture, lots of instinctive idea.
- Informative lecture.
- He is great and he encouraged me to do business as my second dream.

◆森岡 一 先生

- 興味深い内容である。遺伝資源の取扱いに係る取り決めが現時点で不十分であることが理解できた。
- 英語が苦手なので分からない単語もあり難しかったです。普段なかなか聞けない内容なので勉強になりました。
- 日頃は意識したことがなかったことを、丁寧に説明してもらえて、非常にためになった。
- 情報量が多く完全には理解できなかった。
- 専門的すぎる内容を英語で示されても実質を理解するには至らなかった。
- The presentation of Genetic-Bio-Resource is important for all sciences. So I'm glad to learn the very important information.
- I did not have much idea about the hope before, so it makes me more aware about the ABS.
- The topic was very nice and improved my knowledge.
- It broad my knowledge and view to the world wide field level. Let me know that every country is responsible for sharing the benefits of the science achievement.
- Improving my knowledge about genetic resources, especially the procedure.
- Very informative and important I have discussed.
- These lecture are very interesting. I learned a lot. Thank you very much for these special lecture.
- It was so interesting actually, but the slide was too many to deliver the information.

(7) 今後、セミナーなどの特別講義として聞いてみたい話題は何ですか？

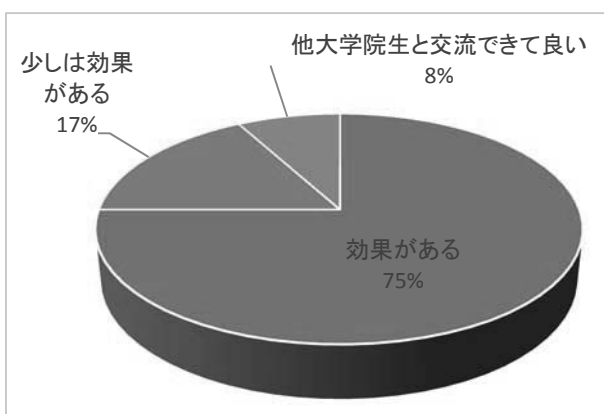


学術的内容	9
スキルアップ	15
キャリア	10
その他	1
計	35

■その他：

・苦勞話

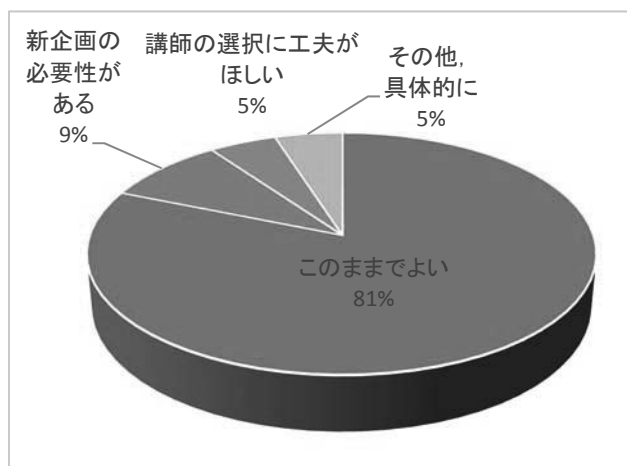
(8) 科学コミュニケーションは、あなたの研究にとって効果があると思いますか？



効果がある	18
少しは効果がある	4
他大学院生と交流できて良い	2
計	24

5. 科学コミュニケーション（研究セミナー）についてお尋ねします

内容や運営方法（研修所の設備を含む）についてさらなる改善策があれば書いて下さい。



このままでよい	18
新企画の必要性がある	2
講師の選択に工夫がほしい	1
その他, 具体的に	1
計	22

～意見～

■新企画の必要性：

- ・ 場所, 食事
- ・ rearrange the location

■その他：

- ・ 他の研究者と交流でき, 良い刺激になりました。
- ・ 交通費がかさむ。
- ・ I hope we can get the published paper about the lectures and good presentations.
- ・ Now I want to get the advice of professors or doctors about how to research effectively.

6. コメント（自由記入項目）

- ・ 個々の研究は孤独なものですが, 研究者は孤独ではないと感じました。
- ・ 3大学の様々な国の研究者, 研究内容に触れることができ, 知識が得られただけでなく, 研究に対する姿勢なども良い刺激になり, 参加できて良かったです。
- ・ 貴重な体験でした。
- ・ Dr. Akihito KUDOH and Dr. Hajimu MORIOKA's lessons are really helpful and meaningful for our research and other things beside research.
- ・ Please develop the advanced English website.

第5部 国際学会・国際研究集会
発表学生援助 報告集

国際学会・国際研究集会 発表学生援助制度

海外の学会で発表することによりプレゼンテーション能力を養い、最新の研究現場に接することで自らの研究力を培うことを目的として、連合農学研究科では、学生に対する外国旅費の支援制度を設置した（平成26年度より）。

●募集回数

2回（平成27年2月，9月）

●援助の範囲

国際学会で発表するために必要な移動費及び滞在費（上限：15万円）

●対象となる学会

平成27年度中に国外で開催される国際学会

●対象学生

連合農学研究科在籍の学生で、国際学会・国際研究集会において各人の研究テーマに関して、口頭発表またはポスター発表を行う者

●派遣先及び補助金額等の実績

地域	派遣国	人数	金額（円）
アジア	大韓民国	2	133,120
	フィリピン	2	182,200
	中国	2	175,560
	カンボジア	1	102,400
北米	アメリカ合衆国	2	240,000
ヨーロッパ	イタリア	1	120,000
合計		10	953,280

平成27年度 国際学会・国際研究会発表 採択者一覧(第1次、第2次)

氏名	入学年度	専攻	連合講座	配属	主指導	学会名	開催都市	開催日程	発表方法	発表のタイトル
1 丸山麻理弥	H24	生物資源	生物機能科学	鳥取	東 政明	The 4th Asia-Pacific Congress of Sericulture and Insect Biotechnology (APSERI2015)	釜山、大韓民国	4月23日 ～ 4月25日	ポスター	Insect water-specific aquaporins in developing ovarian follicles of the silk moth <i>Bombyx mori</i> : role in hydration during egg maturation
2 BISWAS MD. SANAUULLAH	H25	生物資源	生物機能科学	山口	真野 純一	12th International POG Conference on Reactive Oxygen and Nitrogen Species in Plants	ヴェローナ、イタリア共和国	6月24日 ～ 6月26日	口頭	Oxylipin carbonyls are involved in the auxin signalling to initiate lateral root formation in <i>Arabidopsis thaliana</i>
3 仲野 翔太	H25	生物環境	環境科学	鳥取	霜村 典宏	第10回国際菌根学会 (the 8th International Mycological Congress)	アリゾナ州、アメリカ合衆国	8月2日～ 8月10日	口頭	Toward production of a salt-tolerant hybrid strains of the ectomycorrhizal fungus <i>Rhizopogon roseolus</i> (= <i>R. rubescens</i>)
4 MOSTAFA AHMED ABOULELA MOHAMED	H26	生物資源	生物機能科学	鳥取	中川 強	The 9th International Conference on Bioinformatics and Biomedical Engineering (ICBBE 2015)	上海、中華人民共和国	9月17日 ～ 9月21日	口頭	Dual Site Gateway Binary Vectors Driven by a Moderate Constitutive Promoter (Nopaline Synthase) for Plant Transformation: an Application for Bimolecular Fluorescence complementation(BiFC) assay
5 BURAPAPOL KANSUMMA	H27	生物生産	森林資源学	鳥取	長澤 良太	The 6th International Wild Land Fire Conference	平昌、大韓民国	10月12日 ～ 10月16日	ポスター	Forest fire fighting using MODIS Hotspots in Thailand, Department of National parks, Wildlife and Plant Conservation
6 LISSA FAJRI YAYUSMAN	H26	生物生産	森林資源学	鳥取	長澤 良太	Asian Conference of Remote Sensing (ACRS)	マニラ市、フィリピン共和国	10月19日 ～ 10月23日	口頭	Smallholder's Oil Palm Plantations Detection using ALOS PALSAR(Study case: Southern Sumatra, Indonesia)
7 DANDY ADITYA NOVRESIANDI	H27	生物生産	森林資源学	鳥取	長澤 良太	Asian Conference of Remote Sensing (ACRS)	マニラ市、フィリピン共和国	10月19日 ～ 10月23日	口頭	Tropical Peatland Identification using L-Band Full Polarimetric ALOS PALSAR in Central Kalimantan, Indonesia
8 藤井 美希	H26	生物環境	環境科学	鳥取	兒玉基一朗	The 10th International Conference on the Plant Hormone Ethylene 2015	重慶、中華人民共和国	11月14日 ～ 11月18日	ポスター	DNA methylation analysis of the promoter region of ACC synthase(PpACS1)in pear fruit.
9 磯田 佳孝	H25	生物資源	生物機能科学	鳥取	有馬 二朗	環太平洋国際化学会議 PACIFICHEM2015	ハワイ州、アメリカ合衆国	12月16日 ～ 12月20日	ポスター	(D-Trp) ₃ -OMe-D-homo tripeptide constructed by enzymatic synthesis showed antibacterial activity against Gram-positive bacteria
10 SILIPHOUTHONE INPONG	H25	生物生産	経済・経営学	鳥取	古塚 秀夫	The 7th International Conference on Environmental Rural Development	バンペン市、カンボジア王国	1月16日 ～ 1月17日	口頭	Prevalence and Determinants of Household Food Security in Resettled Areas in Sekong Province, Lao PDR

氏名	丸山麻理弥
参加学会名	The 4th Asia-Pacific Congress of Sericulture and Insect Biotechnology 2015 (APSERI-2015, 第4回アジア太平洋蚕糸・昆虫バイオテクノロジー会議)
開催日程	平成27年4月23日～25日
開催都市	釜山, 大韓民国

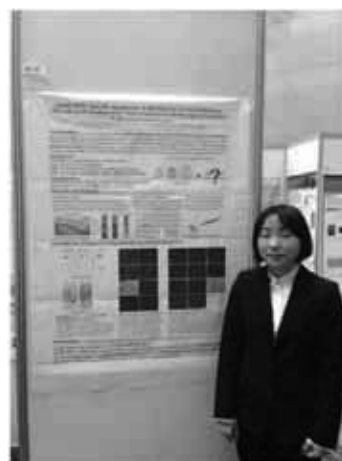
この度、国際学会・研究集会発表学生援助に採択して頂き、2015年4月23日から4月25日の間に韓国、釜山にて行われた The 4th Asia-Pacific Congress of Sericulture and Insect Biotechnology 2015（第4回アジア太平洋蚕糸・昆虫バイオテクノロジー会議）に参加いたしましたので報告させていただきます。この大会は主に韓国や中国とタイ、そして日本の蚕糸・昆虫科学関係の学会によって合同で開催され、各国の蚕糸技術や昆虫科学・利用について幅広く発表が行われます。

開催日前日に参加登録を済ませ、初日は朝から夕方までプレナリーセッションや分科会などで他国の昆虫科学や産業利用の動向について発表が行われました。1つのセッションに幅広い分野の発表が組み込まれており、普段の学会では時間が被っているために中々聞くことのできない他分野の発表についても聞くことができました。

学会2日目は一般講演が開催され、私はポスター発表を行いました。英語での発表は少々つまるところもありましたが、なんとか無事に説明を終えることができました。今回の学会では大学院生の参加者が多く、同世代の方々が自身の研究を発表する姿を見て、私も負けまいと頑張ろうとやる気が湧いてきました。その中でヒトの遺伝病の原因解明にカイコを利用する、という内容の発表があり、非常に興味を惹かれました。人と虫、姿形は全く異なれど、意外なところで共通点があるようです。発表の後は優れた口頭発表への授与式と閉会式を兼ねたバンケットが行われ、盛大な拍手の元、学会の幕は閉じました。

その翌日、飛行機に乗り遅れるという事態も発生しましたが、釜山港から船に乗り、無事に帰国の途につくことができました。今回の学会では自身の専門分野が他国でどのように発展しているかについて知ることができました。また国内外の先生方だけでなく同世代の方々とも交流する機会も多くあり、お互いの研究について話し合うこともできました。

今回は助成を通じてこのような意義の深い学会に参加する機会を与えてくださり、誠にありがとうございました。この場を借りてお礼を申し上げます。



氏 名	Md. Sanaullah Biswas
参加学会名	12th International Conference on Reactive Oxygen and Nitrogen Species in Plants: from model systems to field
開催日程	June 24-26, 2015
開催都市	Verona, Italy

This is a great pleasure for me to participate in the 12th International Conference on “Reactive Oxygen and Nitrogen Species in Plants: from model systems to field” which was hold at Verona, Italy from June 24-26, 2015.

Many world famous oxidative stress researcher including Japanese were participated in this biennial conference. The researchers have been presented their recent outcome of the researches and discussed the future development by oral and poster presentation in several groups.

In this conference I have presented a poster on the “Oxylipin carbonyls are involved in the auxin signalling to initiate lateral root formation in *Arabidopsis thaliana*”. My poster focused the signalling role of oxylipin carbonyls in the lateral root formation in Arabidopsis. Reactive oxygen species are involved in diverse signalling functions in plants. However, the signalling role of oxylipin carbonyls, downstream product of reactive oxygen species in lateral root formation is not studied yet. In this study we reported that H₂O₂ and its downstream products oxylipin carbonyls transmit the auxin signal for lateral root formation. Several Professors and students showed their interest to our research. We have also exchanged our experiences and knowledge about the research plan and possible outcome. Therefore, it can be said that this conference was successful for me that would direct my future research. The conference also created opportunity for international cooperation among researcher in the future.

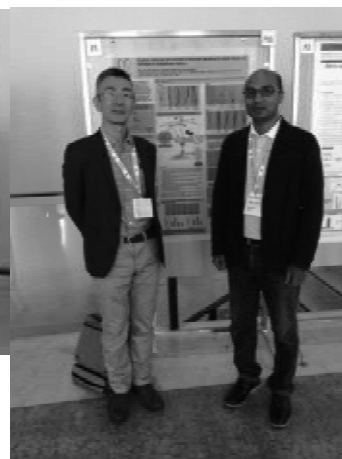
Finally, I would like to express my sincere gratitude to my Professor and The United Graduate School of Agricultural Sciences for giving me this opportunity to participate in this conference which was very related to my research.



Conference building



Poster presentation



Me with my Professor

氏名	仲野 翔太
参加学会名	The 8th International Conference on Mycorrhiza 2015 (ICOM8)
開催日程	平成 27 年 8 月 2 日～10 日
開催都市	アリゾナ州, アメリカ合衆国

平成 27 年 8 月 2 日から 7 日に High Country Conference Center (アリゾナ, アメリカ合衆国) において, 第 8 回国際菌根学会 (The 8th International Conference on Mycorrhiza 2015 (ICOM8)) が開催されました。同国際会議にて口頭発表を行う機会に恵まれ, 参加してきたので報告させていただきます。

国際菌根学会 (International Conference on Mycorrhiza) は, 菌根菌の分類学・生態学から遺伝学・分子生物学と, 菌根菌に関連するあらゆる学術分野の研究者が 4 年に 1 度, 一同に介し行われる国際会議です。第 8 回大会である本会議では, 150 編を超える口頭発表と 250 以上のポスター発表が行われました。私はこれまで, クロマツの根に菌根をつくり共生する外生菌根菌シロウロを対象に, 交配育種技術を用いたストレス耐性優良菌株 (耐塩性) の育成に関する研究を行ってきました。本会議ではその成果を” Toward production of a salt-tolerant hybrid strains of the ectomycorrhizal fungus *Rhizopogon roseolus* (= *R. rubescens*)” というタイトルで発表しました。当日は, 緊張のためか, 前日からの腹痛を抱えての発表となってしまいましたが, これまで取組んできた研究成果を多くの研究者に向けて発信することができました。また, 発表後の質疑応答では今後の研究の発展に繋がる貴重なアドバイスを頂くことができました。残念ながら発表時間内では, 英語力の未熟さから満足に返答することができませんでしたが, 懇親会の席で質問の続きをしてくださいました。様々な学術分野の菌根菌研究者との熱のこもったディスカッションを通して, 自身の今後の研究活動に繋がる貴重なご意見・ご指摘を頂くことができました。また, 菌根研究者を目指す多くの学生との交流を通じて, 自身の専門外の研究分野の動向を知るとともに, 同じ境遇で戦い励ましあう仲間を築くことができました。

さて, 国際会議に参加するうえで, ”観光”も一つの楽しみです。エクスカージョンでは, 世界遺産に登録されている“グランドキャニオン”に足を運び, 数億年という途方もない歳月が造り上げた自然の造形美を満喫しました。また, 様々な国の人達との交流の中で, 他国の文化を知るとともに, 日本文化の素晴らしさを再認識することができました。こちらも実りと想いで多い旅となりました。

最後に, 本会議に参加して大変多くの菌類研究者ならびに菌類研究者を目指す学生と知り合う機会に恵まれました。そして, 熱のこもったディスカッションを通して, 自身の今後の研究に繋がる大きなヒントを得ることができました。国際会議参加のために, 資金援助を頂いた鳥取大学大学院連合農学研究科に厚く御礼申し上げます。



氏 名	Mostafa Ahmed Aboulela
参加学会名	The 9th International Conference on Bioinformatics and Biomedical Engineering (iCBBE 2015) Shanghai, China.
開催日程	September 17-21, 2015
開催都市	Shanghai, China

iCBBE is an annual conference in China since 2007 till 2015. This year there were about 100 attendees from China and other foreign nationalities (Australia, India, Singapore, Syria, Egypt, USA, Korea and Saudi Arabia).

On the first day, there was only the registration for the conference and receiving the conference program guide and payment receipt.

On the second day, there have been quite a few experts giving 10 different plenary speeches. The content of these lecturers was interesting and much useful. They talk about many disciplines for the advance in gene network through sequence motifs and membrane proteins till the applications in biomedical approaches such as the ultrasound imaging and the novel mass spectrophotometry techniques.

On the third and last day, there were 6 technical sessions; 3 for biomedical engineering, 2 for bioinformatics and computational biology and one session for the physic-biochemistry in endocrinology and medicine. My session was belonging to the bioinformatics and computational biology and I did present my oral presentation on that day. I received some good questions and comments on my work and totally it was good experience for me.



氏 名	Burapapol Kansuma
参加学会名	The 6th International Wildland Fire Conference 2015 (IWFC)
開催日程	October 12-16, 2015
開催都市	Pyeongchang, Korea

This is great opportunity for me to participate the 2015 International Wildland Fire Conference (IWFC) (picture 1.), which was hold at Alpensia resort in Pyeongchang, Korea, October 12–16, 2015 and organized by United Nations Office for Disaster Risk Reduction (UNISDR). In this conference, there are many participants around the world from 80 countries i.e. professors, lectures, decision-makers, scholars, students and representatives of international organizations, governments, private sector, non-governmental organizations; experts (researchers and managers) of wildland fire science & management, fire history & social sciences, forestry, climate and meteorology, ecology, disaster management, human health and security.

The majorities of this conference were (i) discussion of (a)fire management strategies and policy (b) critical and global issues on wildland fire affecting human and ecosystem (b) global issues on wildland fire management for prevention of wildland fire damages and joint response to disastrous fires. (ii) Exchange arena of wildland fire knowledge, experience, technology, and resources among research institutes. (iii) Enhancement of international cooperation through reinforcement of the Global Wild land Fire Network and (iii) the presentation of researches of professors, lectures, experts, scientist and students on wildland fire.

I have prepared a poster presentation which the title is “Forest fire management in Thailand using MODIS hotspots detection.” The objective of this study is to validate the hotspots accuracy for identifying both areas of the active/occurred fire and false fire for the early forest fire detection and prevention that is an important key of detection processes for fire management in Thailand (picture 2.). More importantly, I really enjoyed the opportunity of networking with other professors, lectures and foreigner’s students. We have exchanged our experiences and knowledge about the research’s activities, in particular the field of forest fire. It can be said that this symposium shared knowledge and experience of fire management methodology and look for the strategy for further enhancement of international cooperation.

Finally, I would like to express my sincere appreciation to the United Graduate School of Agricultural Science for supporting the fund to participate this conference.



Picture 1; The 2015 International Wildland Fire Conference (IWFC), Alpensia resort in Pyeongchang, Korea.



Picture 2; My poster presentation, the title is “Forest fire management in Thailand using MODIS hotspots detection.”

氏名	Lissa Fajri Yayusman
参加学会名	The 36th Asian Conference on Remote Sensing (ACRS) 2015
開催日程	October 19-23, 2015
開催都市	Manila, Philippines

The Asian Conference on Remote Sensing (ACRS) is an annual event of remote sensing technology held by the Asian Association of Remote Sensing (AARS), Asia's largest society of remote sensing scientists and professionals. ACRS 2015 was participated by students, educator, professionals, and researchers from all over the world, who came to present and share their research results and information about any development of remote sensing technology and its application in various fields.

This event was consisted of oral and poster presentations, exhibitions, summer school, and also a student night party for fellow student participants. On the first day, I got an opportunity to present my result of study about 'Identification of Smallholders' Oil Palm Plantation using ALOS Data' in oral presentation session. This study was conducted in Sumatra Island of Indonesia to develop the methodology for detecting smallholders' oil palm plantations which are distributed very randomly surrounded by various vegetation covers. This research is believed to be very important to support the land management system and assess the environmental effect of oil palms expansion as one of the effort on realizing sustainable palm oil production in Indonesia. After my presentation, I got many suggestions from some researchers who do similar study with me, which is very helpful to improve my future research.

I also got to learn from a lot of interesting studies presented in poster presentation session. I think this kind of presentation is also very effective because I can read the explanation slowly and carefully, and I can ask any questions directly to the writer without much afraid with time limitation.

Since remote sensing is a technology that can be applied for many sectors, the sessions of presentations were divided based on the applications. I especially interested in agriculture, soil, and forest resource sessions where many researches tries to solve issues related to food security and agricultural land management, to measure land degradation, and even to monitor the global drought condition using remote sensing. In my study, I might only focus in developing the application of ALOS satellite data, but I can learn about the utilization of data derived from other sensors and satellites such as LIDAR, optical images, and other radar data here. It also helps me to think about the possibility of using another data types in order to improve my research.

In the exhibition session, many institutions from universities, research centers, data providers, and surveying companies showed their recent researches and products. Here, I got much information about the most recent available data and devices. Moreover, I could consult about my problem in data processing directly to the provider. I also enjoyed the chance to meet and discuss with fellow researchers and experts during this event.

I am very grateful for the opportunity to participate in this conference. I would like to express my sincere gratitude to The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University for the financial support. I believe this kind of event is very helpful for us to share and improve our knowledge about our field of study, and also to increase our networking opportunity.



氏名	Dandy Aditya Novresiandi
参加学会名	The 36th Asian Conference on Remote Sensing (ACRS) 2015
開催日程	October 19-23, 2015
開催都市	Manila, Philippines

The Asian Conference on Remote Sensing (ACRS) is an annual event pioneered by the Asian Association of Remote Sensing (AARS). The AARS is Asia's largest society of remote sensing scientists and professionals. The annual ACRS is one of its main activities of promoting Remote Sensing application. The first ACRS was organized in 1980 in Bangkok, Thailand. Since then, the ACRS conferences were conducted in many Asian cities with the voluntary participation of the host country and researchers, educators, professionals, and students coming from all over the world.

In this year, the 36th ACRS was organized in Quezon City, Philippines. This time, the ACRS was jointly organized by AARS and the Philippine Geosciences and Remote Sensing Society (PhilGRSS). The ACRS 2015 had bring together students, researchers, scientists, engineers, policy makers, professionals and practitioners from developed and developing countries from and around Asia (and also around the world) to share visions into the challenges and opportunities of Remote Sensing application and related geospatial technologies in building resiliency and encouraging economic growth and development in one, the dynamic Asia. The 36th ACRS was consist of more than 600 papers received from 38 countries and regions in 3 plenary, 6 sub-plenary, 75 technical parallel and 16 special sessions, together with three days of poster presentations.

In my case, the 36th ACRS was my first experience to attend a multi-national conference, and to be a presenter. Therefore I was eager to join this conference upon hearing my supervisor about the travel grant program supported by the United Graduate School of Agricultural Sciences (USGAS) of Tottori University. There were several expectations that I had to achieve on the 36th ACRS. First, I would like to make a contribution regarding to my research progress. Second, I would like to broaden my network between students, researchers, and experts. Third, I would like to observe the research trend in my field of study. These were the reasons why I had a high enthusiasm on this event.

Eventually, I got the opportunity to present my research which was entitled "TROPICAL PEATLAND IDENTIFICATION USING L-BAND FULL POLARIMETRIC ALOS PALSAR: A CASE STUDY IN CENTRAL KALIMANTAN, INDONESIA". This study was based on the phenomenon of global warming. The contribution of my research is to introduce a methodology for tropical peatland identification. The tropical peatland is acknowledged as the earth's largest carbon store. This study shows that Remote Sensing application could be advantageous for tropical peatland monitoring activity in response to the climate change mitigation scheme. I was selected to be a speaker in an oral presentation session on the first day of the conference. After I finished my presentation, I got one question and one suggestion from the audience. I have learned many things regarding to my field of study and also soft-skill from the 36th ACRS, such as new ideas of research, recent research trend, and presentation skill. Moreover, I got many new friends from students to experts on this conference.

In conclusion, in my opinion this kind of activity is very good to improve the knowledge and insight, especially for student. I hope I could get another opportunity to join such kind of activity. Lastly, I would like to express my sincere gratitude and appreciation for the United Graduate School of Agricultural Sciences (USGAS) of Tottori University for supporting the travel expense so I could join The Asian Conference on Remote Sensing (ACRS).



氏名	藤井 美希
参加学会名	The 10th International Conference on the Plant Hormone Ethylene 2015
開催日程	平成 27 年 11 月 14 日～11 月 18 日
開催都市	重慶, 中華人民共和国

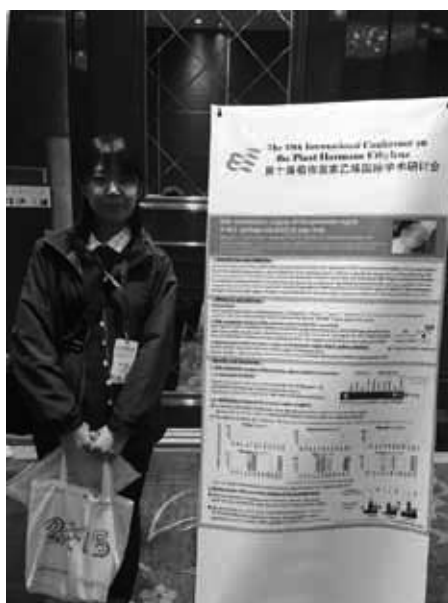
中国の重慶で開催された国際学会「The 10th International Conference on the Plant Hormone Ethylene 2015」に参加し「DNA methylation analysis of the promoter region of ACC synthase (PpACS1) in pear fruit」というタイトルで、ナン品種におけるエチレンの生合成に関与している遺伝子の発現制御メカニズムについてポスター発表を行った。発表内容については、これまでに発現制御機構が明らかにされていないエチレン生合成の律速段階である ACC 合成酵素遺伝子 *PpACS1* について、DNA のメチル化が発現制御に関与している可能性を考え、発現および非発現品種間におけるプロモーター領域中の果実由来 DNA のメチル化程度の差異を解析することで、*PpACS1* の発現制御と DNA のメチル化の関連性を検証し、その結果を発表した。

英語で発表を行うことはほぼ初めてであり、説明したい事を聞き手に正確に伝えることが大変難しく、必死に頭の中で英文を考えながら話し、紙にも書きながら伝え、かなり苦戦した。しかし、英語をもっと勉強して練習しないといけないことを改めて実感することができた良い機会にもなった。また、日本の学会ではあまり着目されなかった点を他国の研究者の方に指摘され、自分の研究に関してより考えが深まり、課題も見つけることが出来、大変勉強になった。

また、様々な国の方の研究発表を聞くことで、他国の研究のレベルの高さに触れることができ、新たな知見も多く得られた。英語の能力についても、英語圏ではない他国の院生はほとんどの方が流暢に英語を話しているのを目の当たりにし、日本と比べて英語力のレベルが高いことを実感し、このままではいけないという危機感を覚えた。今後研究を行っていく上で、日本に留まるのではなく、このように様々な国の方の研究に目を向け、実際に聞いてその雰囲気に触れることは非常に重要であると感じた。この経験を活かして、自分の研究に対する姿勢や勉強法を見直し改善していきたい。

さらに、研究や英語の勉強だけでなく、様々な国の研究者と色々な話をし、良い関係を築くことが出来た。特に、中国の方が皆さん大変優しくかったことに感動した。日本では、中国について悪いニュースを見かけることが比較的多いが、ニュースやインターネットの情報のみで国の印象を決めず、自分自身で調べてその国へ赴き、冷静に客観的に判断しないといけないと感じた。

今回の国際学会への参加を通して、研究、英語、国際交流と、大変貴重な経験をすることが出来た。次は国際学会で口頭発表ができるよう、今後より一層の努力をし、研究を進めていきたい。



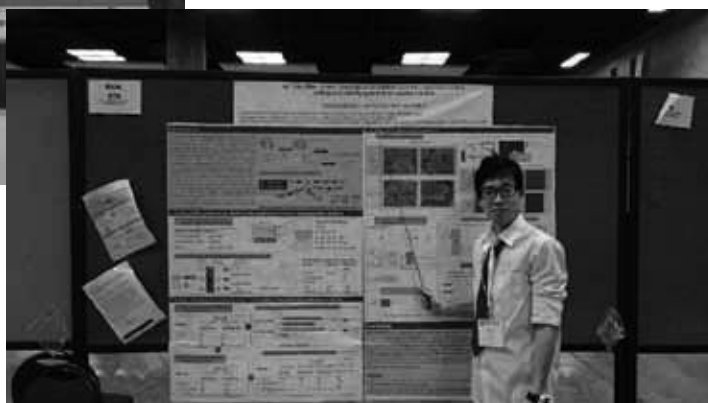
氏名	磯田 佳孝
参加学会名	2015 環太平洋国際化学会議 (PACIFICHEM 2015)
開催日程	平成 27 年 12 月 16 日～20 日
開催都市	ハワイ州ホノルル市, アメリカ合衆国

当学会は、1984年に第1回目が開催されて以後、5年に1度開催され、今年で7回目を迎える世界の化学界における一大イベントとなっている。前回の大会では約70ヶ国から13,644件の講演と約12,700名の参加があった。今回の大会は、2015年12月15日から6日間に渡り、米国ハワイ州ホノルル市内の複数の会場を使用して開催された。報告者は、12月17日から20日にかけて行われた口頭講演及びポスター講演を聴講すると共に、12月18日、午前10時から12時のセッションにおいて「(D-Trp)₃-OMe: D-homo tripeptide constructed by enzymatic synthesis showed antibacterial activity against Gram-positive bacteria」の講演タイトルで、これまでの研究成果発表をポスターにより行った。

初の国際発表だったため、報告者自身のポスター発表では英語に関する不安もあったが、無事に発表を終えることが出来た。ただ一つ心残りがあるとすれば、ディスカッションを行えたのが日本人だけで、海外の方とのディスカッションをする機会がなかったことである。ただし、ディスカッションは出来なかったが、海外の方に熱心に発表を聞いてもらうことが出来、用意していた資料を持って行って頂けたことは自身の研究に対する自信に繋がった。また、日本人の研究者とのディスカッションでも、自身の研究で不足していた重要なポイントについて御指摘、御助言を頂くことが出来た。

報告者は、自身が研究している機能性ペプチドに関する講演を多数聴講した。中でも、動植物などから新規機能性ペプチドを取得する戦略に関する発表、Drug Delivery Systemの改良と作用機序の解明に関する発表、抗体医薬に関する発表を中心に聴講した。特に興味深かった発表は、ポスター講演においては「抗体酵素の新規機能性に関する発表」、口頭講演においては「蛇毒から機能性ペプチドを単離、同定を行った」という研究発表であった。抗体酵素の新規機能性の発表では、抗体の軽鎖に抗腫瘍活性、アミダーゼ活性、DNase活性があることを見出し、さらに活性に重要な部分を部位特異的変異によって特定していくという研究内容である。発表において生理活性試験の手法や活性に重要な部位に関する情報は非常に興味深く、報告者の今後の研究の参考になるものであった。

学会全体を通して、これまで参加してきた日本国内の学会では得ることが出来なかった、より幅広い研究分野や最先端の研究成果に触れることが出来、自身の研究に対する情報収集をするとともに、モチベーションを向上させることが出来た。また、英語による発表を多数聴講する中で、研究における英語力の重要性を再認識するなど、大きく成長させられた学会であった。



氏名	Siliphouthone Inpong
参加学会名	The 7th International Conference on Environment and Rural Development
開催日程	January 16– 17, 2016
開催都市	Phnom Penh, Cambodia

It was my great chance to attend the 7th International Conference on Environment and Rural Development (7th ICERD), which has been held on 16 – 17 January 2016 in the Royal University of Agriculture in Phnom Penh, Cambodia. This conference has been organized by International Society of Environmental and Rural Development, Royal University of Agriculture (Cambodia), Institute of Environmental Rehabilitation and Conservation (Japan) in collaboration with Tokyo University of Agriculture (Japan), Bohol Island State University (Philippines), Khon Kaen University (Thailand) and Association of Environmental and Rural Development (Thailand). *Environmentally-friendly Agricultural and Rural Development* is the theme of the 7th ICERD. The main purpose of this conference is to discuss and develop the suitable and effective processes and strategies for sustainable rural development taking into account of agricultural and environmental aspects in developing countries. According to the summary of the conference’s committee, there are 84 oral presentations and 82 posters. The presentation program has been divided into three sections: 1) rural development and education for sustainable development, 2) agricultural systems and 3) environmental management.

The core objective for me in attending this conference is to present my research paper entitled “Prevalence and Determinants of Household Food Security in Resettled Areas in Sekong Province, Lao PDR. This study aims to investigate the incidence of household food insecurity in the resettled village and to identify the factors affecting household food security. Through evaluation from attending this conference, I have highly benefited not only for increasing my knowledge and ideas on environmental conservation and rural development but also many opportunities to exchange information relating to my study, especially on the issue of food security with other researchers and students from Southeast Asian counties, such as Thailand and Cambodia. Most importantly, the discussion after my presentation was very fruitful. All comments and suggestions given by chairman and lectures were constructive to improve my research paper.

In the second day of conference, I have been to visit rural development project in Chambok Commune of Sihanouk Province, about 3 hours by car from the central of Phnom Penh. This Chambok Community-based Ecotourism site was established in 2002 with the support from USAID. The main goal of this project is to strengthen natural conservation in the area and introduce alternative livelihoods for the community. At the excursion site, I have had many opportunities obtain new ideas and experience by visiting renewable energy program, handicraft making, agricultural activities (e.g., mango farm) and women group. I also obtained some knowledge on how this community will be sustainable in the future from many professors and students during the discussion with villagers.

Finally, I would like to express my gratitude to the United Graduate School of Agricultural Sciences (UGSAS), Tottori University for providing financial support, especially transportation and accommodation. Without this support, it would not have been possible for me to join this academic conference.



「学生及び教員の研究活動」の掲載基準

学生の研究活動

1. 平成27年度に在籍した学生の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの研究活動を掲載した。
2. 公表論文
著書，学会誌，大学・国公立研究機関の学術報告等に公表したものを掲載した。
なお，複数の連大学生による共著論文は，それぞれの学生が1編として掲載した。
3. 学会発表
国際及び国内学会等で口頭発表したものを掲載した。連名の場合は発表者に*印を付した。
なお，複数の連大学生による連名での発表は，それぞれの学生が1件として掲載した。
4. 学会等招待講演
国内及び国際学会等主催の講演会，シンポジウム等で招待講演したものを掲載した。連名の場合は発表者に*印を付した。
5. その他
上記項目以外で特筆すべきものがあれば掲載した。

教員の研究活動

1. 平成27年度における有資格教員の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの研究活動を掲載した。
なお，平成27年度に退職及び転出した教員の一部については除外した。
2. 公表論文
著書，論文，その他に区分し，連合講座ごとに著者の刊行月の古いものから順にまとめて掲載した。共著論文の場合には，関係教員をアンダーラインで示した。
なお，複数の連大教員による共著論文は，まとめて1編とした。
3. 招待講演
国際及び国内学会等における講演会，シンポジウム等での招待講演を連合講座ごとに講演年月順にまとめて掲載した。連名での講演には，関係教員をアンダーラインで示し，発表者に*印を付した。
なお，複数の連大教員による連名での講演は，まとめて1件とした。
4. 学術賞等の受賞
受賞者，賞の名称，受賞年月日を掲載した。
5. 研究助成金
科学研究費補助金は，研究代表者のみ掲載した。奨学寄附金等（奨学寄附金，受託研究，民間等との共同研究）は，受入教員名とその件数を記載した。

年 報 平成 2 7 年度

平成 2 8 年 9 月 発行

編 集 鳥取大学大学院連合農学研究科
編 集 委 員 会

発 行 鳥取大学大学院連合農学研究科

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4 丁目 101

☎ 0857-31-5445

